

令和 7 年度

第 2 回 市政モニターアンケート報告書

テーマ

1. 本市の緑と公園
2. 女性相談
3. 里親制度及び広報啓発活動
4. 上下水道局の取組
5. 広聴活動
6. 防災マップ閲覧方法・配架
7. 大阪 880 万人訓練
8. 自転車の利用環境

堺市 政策局 広報戦略部 市政情報課

目 次

■ 調査概要	1
■ 回答者属性	2
1. 本市の緑と公園	
調査結果の概要	3
(1) 本市の緑	4
(2) 堺市の公園	10
(3) 緑に関する取組	15
(4) 緑に関する市の施策	18
2. 女性相談	
調査結果の概要	19
3. 里親制度及び広報啓発活動	
調査結果の概要	26
4. 上下水道局の取組	
調査結果の概要	36
(1) 水道水の飲み方	37
(2) 水道水の安全性	38
(3) 水道水への不満	39
(4) 家庭での備蓄状況	40
(5) 災害・地震対策	41
(6) 内水ハザードマップ	42
(7) 下水道の使い方	43
(8) 上下水道局スマホアプリ「すいりん」	44
(9) 上下水道局の情報発信	46
(10) 料金	49
(11) 上下水道局のサービス	50
5. 広聴活動	
調査結果の概要	52
(1) 広聴	53
(2) 「市民の声」の公表	56
6. 防災マップ閲覧方法・配架	
調査結果の概要	58
(1) 防災への関心	59
(2) 防災マップ	60

(3) 防災マップの配架先.....	65
(4) 防災マップの啓発効果.....	66
7. 大阪 880 万人訓練	
調査結果の概要	68
(1) 事前周知.....	69
(2) 情報収集手段.....	70
(3) 情報の伝達	72
(4) 訓練参加促進のための取組	73
(5) 訓練参加.....	76
(6) 訓練内容.....	77
(7) 訓練不参加理由	78
(8) 災害情報の取得方法	79
(9) 災害情報の取得方法の評価	80
8. 自転車の利用環境	
調査結果の概要	82
(1) 都市魅力.....	83
(2) 利用促進.....	84
(3) 安全利用.....	91
(4) 通行環境.....	93
(5) 駐輪環境.....	96

■ 調査概要

1. アンケートテーマ・担当課

(1) 本市の緑と公園

(担当課：建設局 公園緑地部 公園緑地整備課)

(2) 女性相談

(担当課：子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども家庭課)

(3) 里親制度及び広報啓発活動

(担当課：子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども家庭課)

(4) 上下水道局の取組

(担当課：上下水道局 経営企画室 危機管理・広報広聴担当)

(5) 広聴活動

(担当課：政策局 広報戦略部 市政情報課)

(6) 防災マップ閲覧方法・配架

(担当課：危機管理室 防災課)

(7) 大阪 880 万人訓練

(担当課：危機管理室 危機管理課)

(8) 自転車の利用環境

(担当課：建設局 サイクルシティ推進部 自転車企画推進課・自転車環境整備課)

2. 調査期間

令和 7 年 12 月 2 日 (火) ～令和 7 年 12 月 15 日 (月)

3. 調査方法

(1) 対象

市内在住・在勤・在学の 18 歳以上の方で、公募による市政モニター

(2) 人数

468 人

(3) 調査方法

インターネットを通じたアンケート回答

(4) 回収率

調査対象者 496 人に対して、有効回収数 468 人 回収率 94.4%となった。

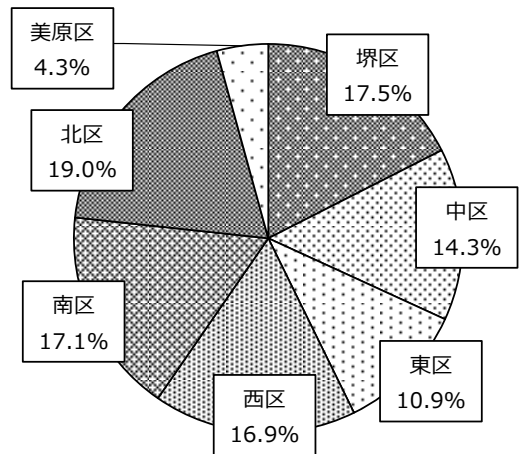
4. 報告書の見方

- (1) 本調査の集計分析対象とした調査票総数は 468 である。数表中の n は比例算出の基礎となる回答者総数を表している。
- (2) 個々の選択肢比率を合算する場合は、個々の回答数の合計を n で除して百分率を求め、小数点第 2 位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が 100%にならない場合がある。
- (3) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が 100%を超える。
- (4) 「その他記述」及び「自由回答」に関しては、紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載した。

■ 回答者属性

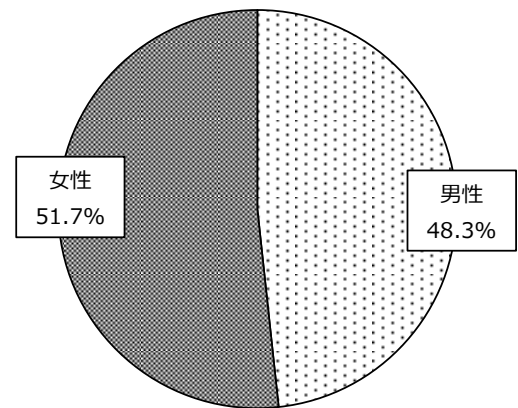
居住区別		回答数	構成比
1	堺区	82	17.5%
2	中区	67	14.3%
3	東区	51	10.9%
4	西区	79	16.9%
5	南区	80	17.1%
6	北区	89	19.0%
7	美原区	20	4.3%
計		468	100.0%

居住区別



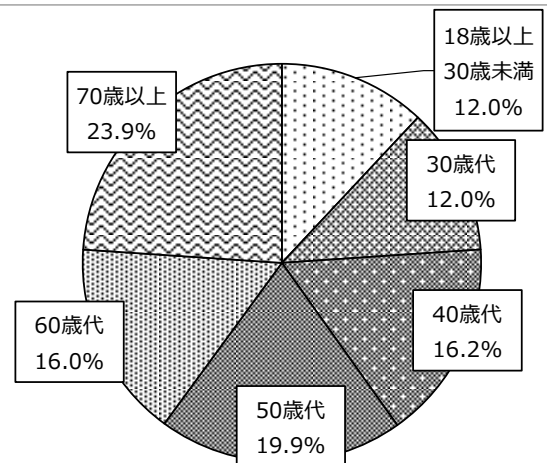
性別		回答数	構成比
1	男性	226	48.3%
2	女性	242	51.7%
計		468	100.0%

性別



年齢層別		回答数	構成比
1	18歳以上30歳未満	56	12.0%
2	30歳代	56	12.0%
3	40歳代	76	16.2%
4	50歳代	93	19.9%
5	60歳代	75	16.0%
6	70歳以上	112	23.9%
計		468	100.0%

年齢層別



1. 本市の緑と公園

調査結果の概要

テーマ	本市の緑と公園
担当課	建設局 公園緑地部 公園緑地整備課
設問数	15 問
趣旨・目的	<p>本市では、市民とともに緑地の保全と緑化の推進に関する取組を進めていくことを目的に、堺市緑の基本計画（以下「基本計画」という。）を策定し、取組を進めています。</p> <p>今回のアンケートは、堺市の緑に関する意識や意見を把握するために実施します。調査結果は、今後の事業運営や基本計画改定の基礎資料として活用するものです。</p>
調査結果	各設問のページを御覧ください。
調査結果に係る担当課の所見	<ul style="list-style-type: none">・問 2 では、お住まいの地域の緑に関して、「満足している」「ある程度満足している」と回答した方の合計が 76.3%でした。また、問 7 では、お住まいの地域の公園の量に対する満足度について、「満足している」「ある程度満足している」と回答した方の合計が 78.2%である一方、公園の質について同様の回答をした方の合計は 63.4%であり、公園の量に対する満足度と比較して低い結果でした。これらの結果から、お住まいの地域の緑に対して一定の評価が得られている一方で、公園については、量に比べて質の面で満足度が低い結果となったことから、目標設定や関連施策の検討など、計画改定の参考とします。・問 5 では、南部丘陵を「よく知っている」「少し知っている」と回答した方の合計が 27.7%でした。また、問 6 では、南部丘陵を知った手段として、「広報紙」と回答した方が 62.3%と最も多く、次に「現地へ行ったことがある」、「看板」が続きました。これらの結果を踏まえ、市の広報紙や啓発看板を引き続き活用し、また SNS 等の活用を一層強化するなど、多様な広報媒体により南部丘陵を情報発信します。さらに、緑地保全プロモーション事業である堺の森活や森の学校をテーマとした堺自然ふれあいの森の取組等を通じて、南部丘陵の認知度向上を図ります。

(1) 本市の緑

問1. お住まいの地域（市外在住の方は勤務先、在学先の地域）の緑の量が満足又はある程度満足と感じる場所はどこですか。 【複数選択可：いくつでも】

「公園」と回答した方が82.3%と最も多く、次いで「社寺、古墳周辺」と回答した方が43.6%であった。

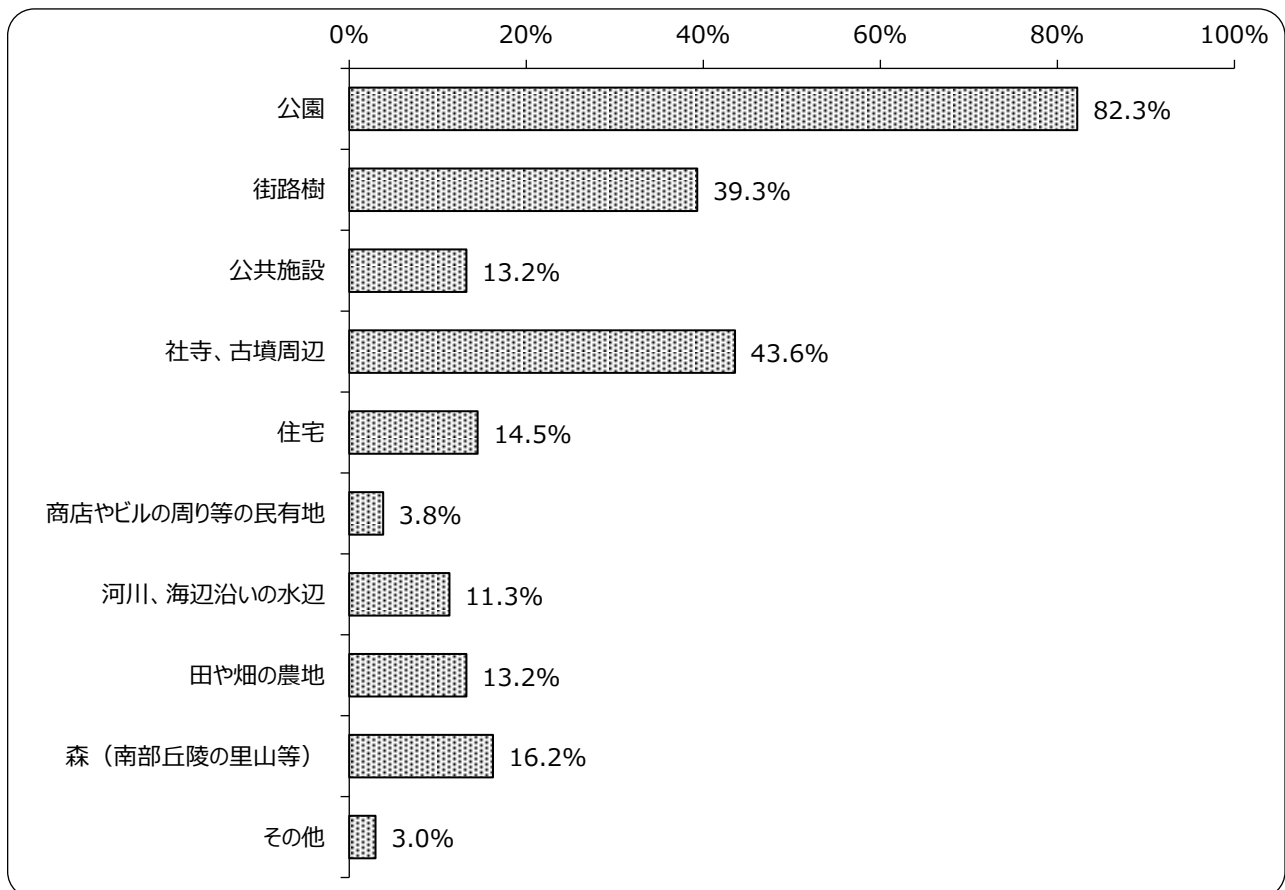
	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	公園	385	82.3%
2	街路樹	184	39.3%
3	公共施設	62	13.2%
4	社寺、古墳周辺	204	43.6%
5	住宅	68	14.5%
6	商店やビルの周り等の民有地	18	3.8%
7	河川、海辺沿いの水辺	53	11.3%
8	田や畑の農地	62	13.2%
9	森（南部丘陵の里山等）	76	16.2%
10	その他	14	3.0%

※「南部丘陵」とは、主に南区に広がる里山環境が残されたエリア

[10 その他]

【主な回答】

- 緑道
- 高齢者施設
- 会社
- 遠くに見える山並み



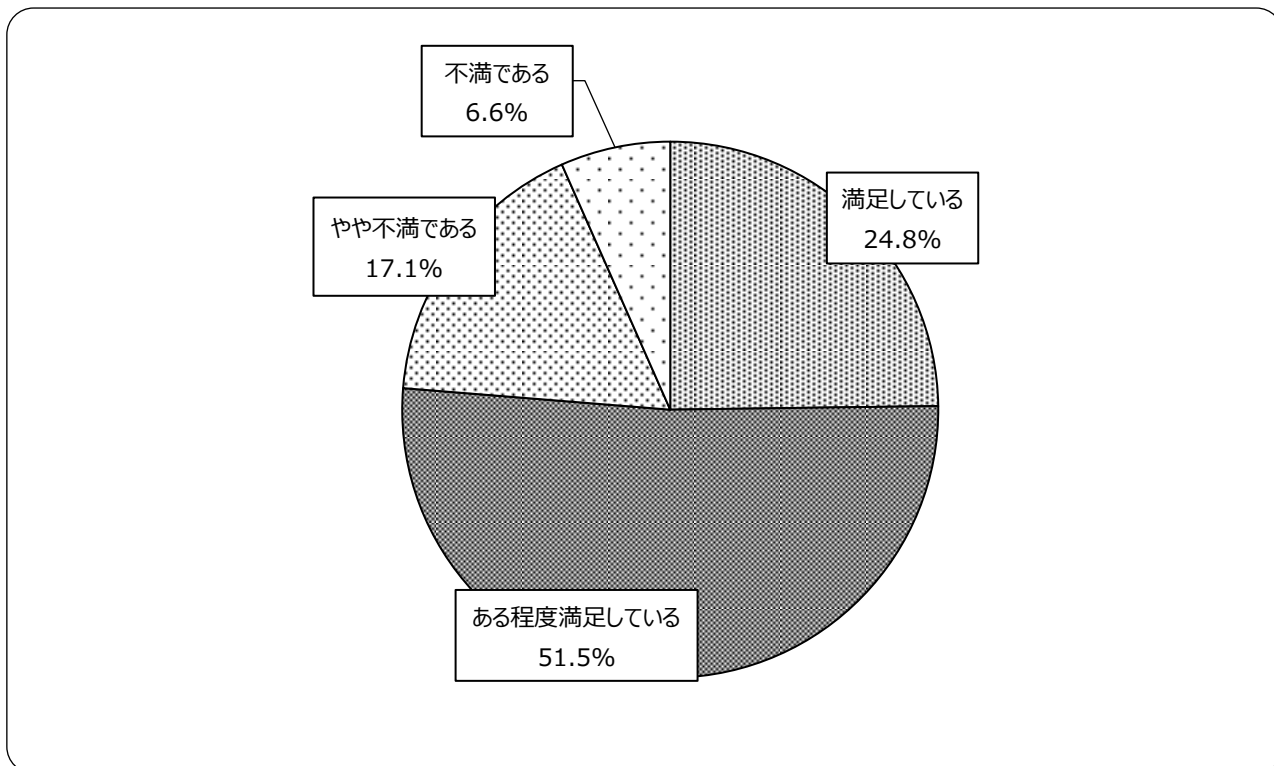
問 2. お住まいの地域（市外在住の方は勤務先、在学先の地域）の緑（公園、街路樹、水辺、農地、森（南部丘陵の里山等））の質※に満足していますか。

※「緑の質」とは緑による景観、季節感、維持管理の状況等

【1つ選択】

「満足している」「ある程度満足している」と回答した方の合計は76.3%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	満足している	116	24.8%
2	ある程度満足している	241	51.5%
3	やや不満である	80	17.1%
4	不満である	31	6.6%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 3. 問 2 で「1 満足している」「2 ある程度満足している」と回答された方に伺います。

お住まいの地域（市外在住の方は勤務先、在学先の地域）の緑の質が、満足又はある程度満足と感じる場所はどこですか。 【複数選択可：いくつでも】

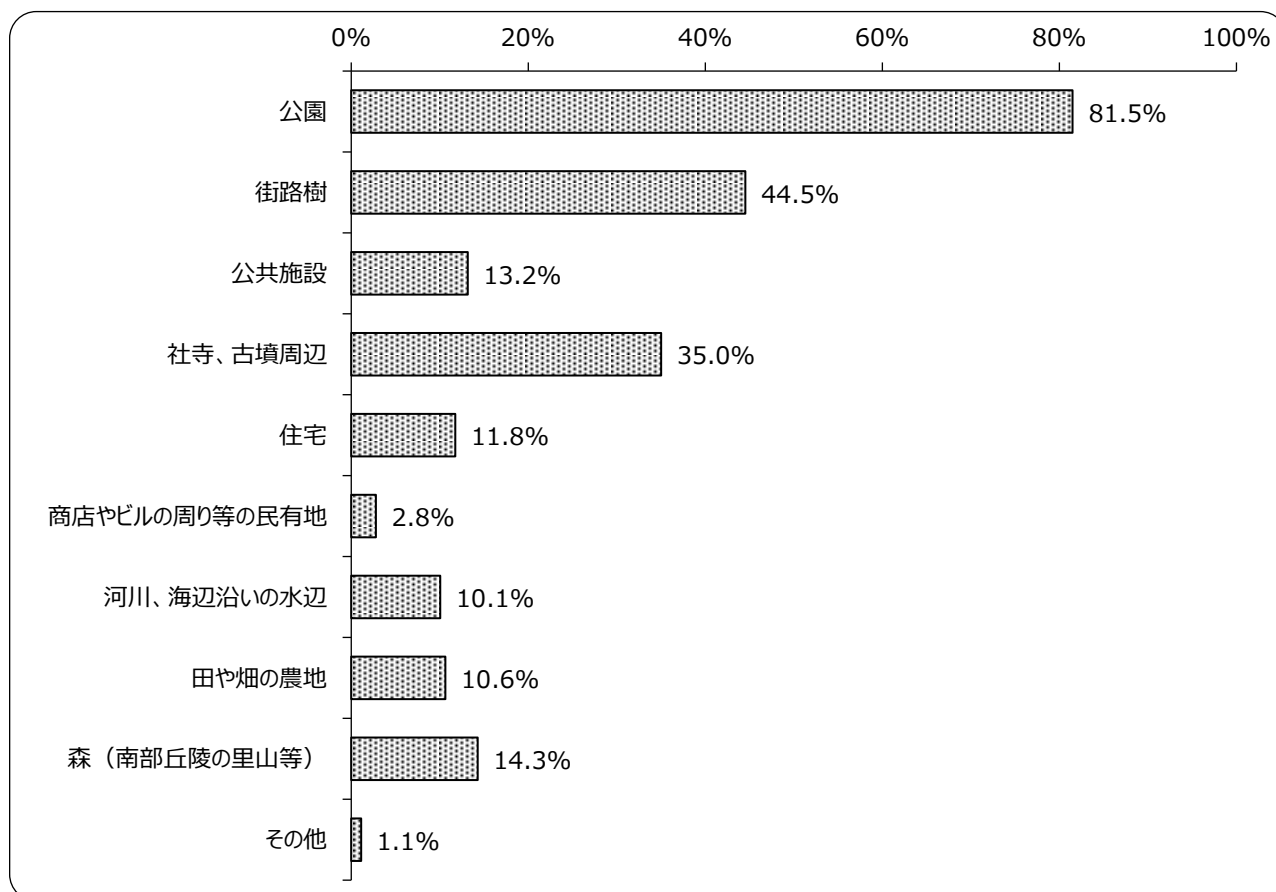
「公園」と回答した方が81.5%と最も多く、次いで「街路樹」と回答した方が44.5%であった。

	選択項目 (n=357)	回答数	回答数/n
1	公園	291	81.5%
2	街路樹	159	44.5%
3	公共施設	47	13.2%
4	社寺、古墳周辺	125	35.0%
5	住宅	42	11.8%
6	商店やビルの周り等の民有地	10	2.8%
7	河川、海辺沿いの水辺	36	10.1%
8	田や畑の農地	38	10.6%
9	森（南部丘陵の里山等）	51	14.3%
10	その他	4	1.1%

[10 その他]

【主な回答】

- 緑道
- 大仙公園日本庭園、堺市都市緑化センター（大仙公園内）



問 4. 暮らしの中で、緑にどのような役割・効果を実感していますか。

【複数選択可：いくつでも】

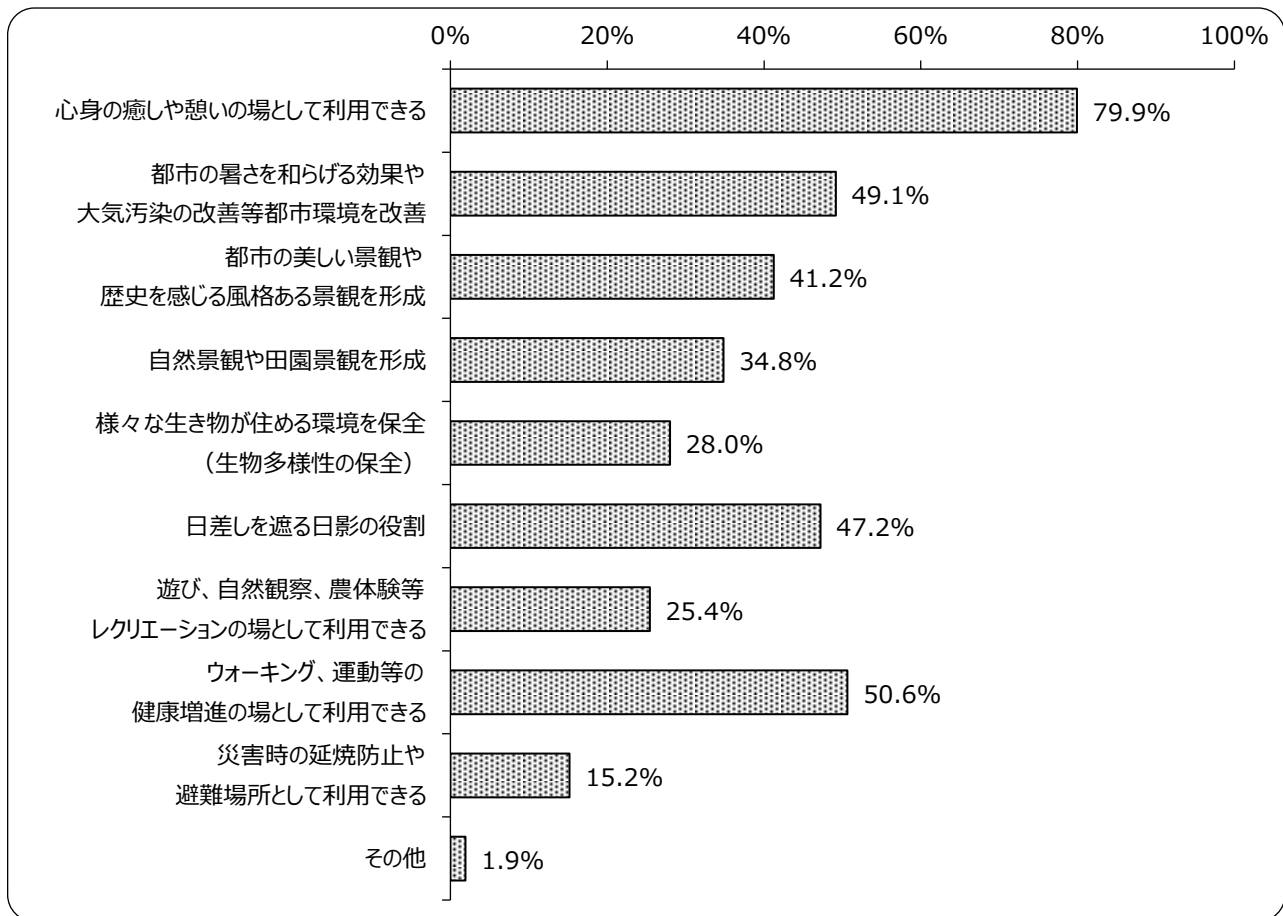
「心身の癒しや憩いの場として利用できる」と回答した方が79.9%と最も多く、次いで「ウォーキング、運動等の健康増進の場として利用できる」と回答した方が50.6%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	心身の癒しや憩いの場として利用できる	374	79.9%
2	都市の暑さを和らげる効果や大気汚染の改善等都市環境を改善	230	49.1%
3	都市の美しい景観や歴史を感じる風格ある景観を形成	193	41.2%
4	自然景観や田園景観を形成	163	34.8%
5	様々な生き物が住める環境を保全（生物多様性の保全）	131	28.0%
6	日差しを遮る日影の役割	221	47.2%
7	遊び、自然観察、農体験等レクリエーションの場として利用できる	119	25.4%
8	ウォーキング、運動等の健康増進の場として利用できる	237	50.6%
9	災害時の延焼防止や避難場所として利用できる	71	15.2%
10	その他	9	1.9%

[10 その他]

【主な回答】

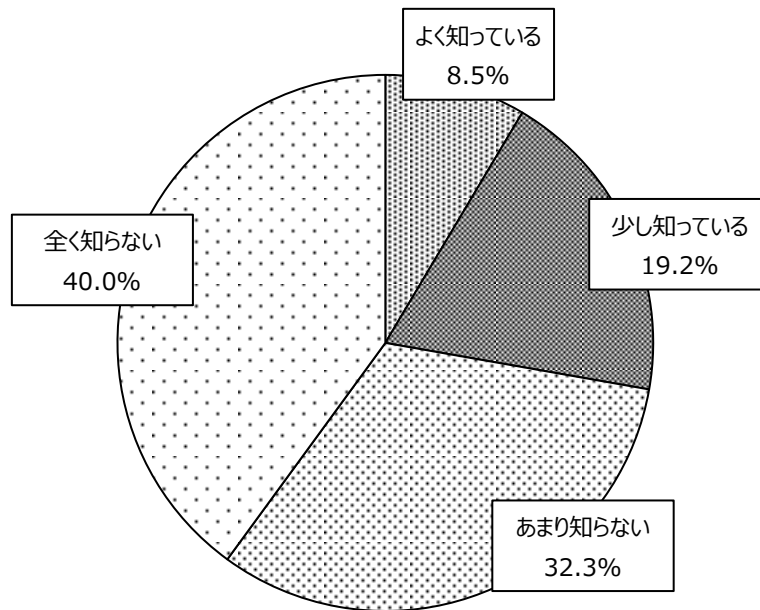
- 四季を感じることができる
- 季節を感じることで感性を養う
- こどもの興味、関心、教育



問 5. 堺市の南区に位置し、自然豊かで貴重な生態系を保全している南部丘陵を知っていますか。 【1つ選択】

「よく知っている」「少し知っている」と回答した方の合計は27.7%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	よく知っている	40	8.5%
2	少し知っている	90	19.2%
3	あまり知らない	151	32.3%
4	全く知らない	187	40.0%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 6. 問 5 で「1 よく知っている」「2 少し知っている」を選択された方に伺います。

南部丘陵をどのように知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

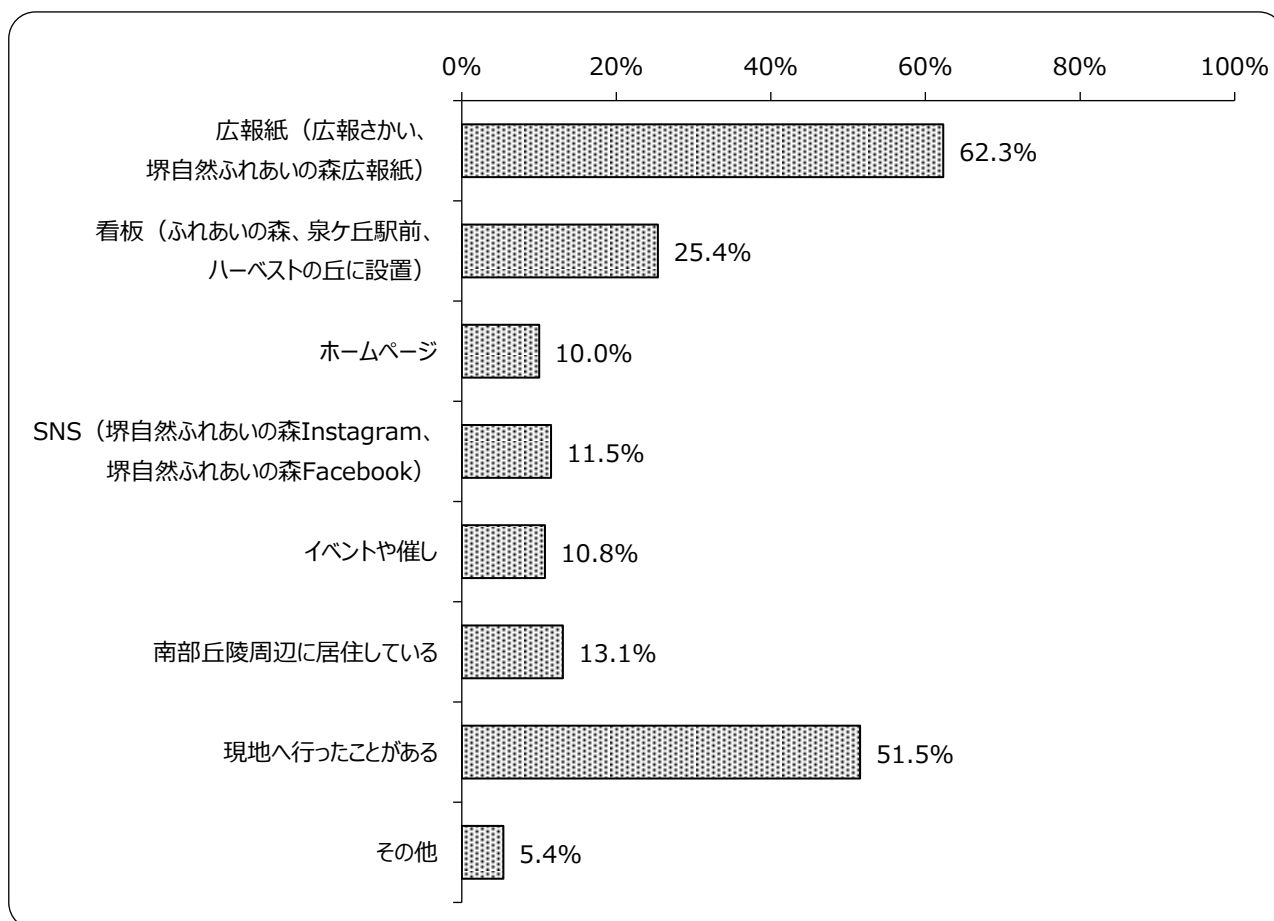
「広報紙（広報さかい、堺自然ふれあいの森広報紙）」と回答した方が62.3%と最も多く、次いで「現地へ行ったことがある」と回答した方が51.5%であった。

	選択項目 (n=130)	回答数	回答数/n
1	広報紙（広報さかい、堺自然ふれあいの森広報紙）	81	62.3%
2	看板（ふれあいの森、泉ヶ丘駅前、ハーベストの丘に設置）	33	25.4%
3	ホームページ	13	10.0%
4	SNS（堺自然ふれあいの森Instagram、堺自然ふれあいの森Facebook）	15	11.5%
5	イベントや催し	14	10.8%
6	南部丘陵周辺に居住している	17	13.1%
7	現地へ行ったことがある	67	51.5%
8	その他	7	5.4%

[8 その他]

【主な回答】

- おおさか健活マイレージ「アスマイル」得点イベント
- 里山ボランティア活動
- 過去に居住していた



(2) 堺市の公園

問7. お住まいの地域（市外在住の方は通勤、通学先の地域）の公園の量^{※1}と質^{※2}に満足していますか。
それぞれお答えください。

※1「公園の量」は、公園の広さ、数

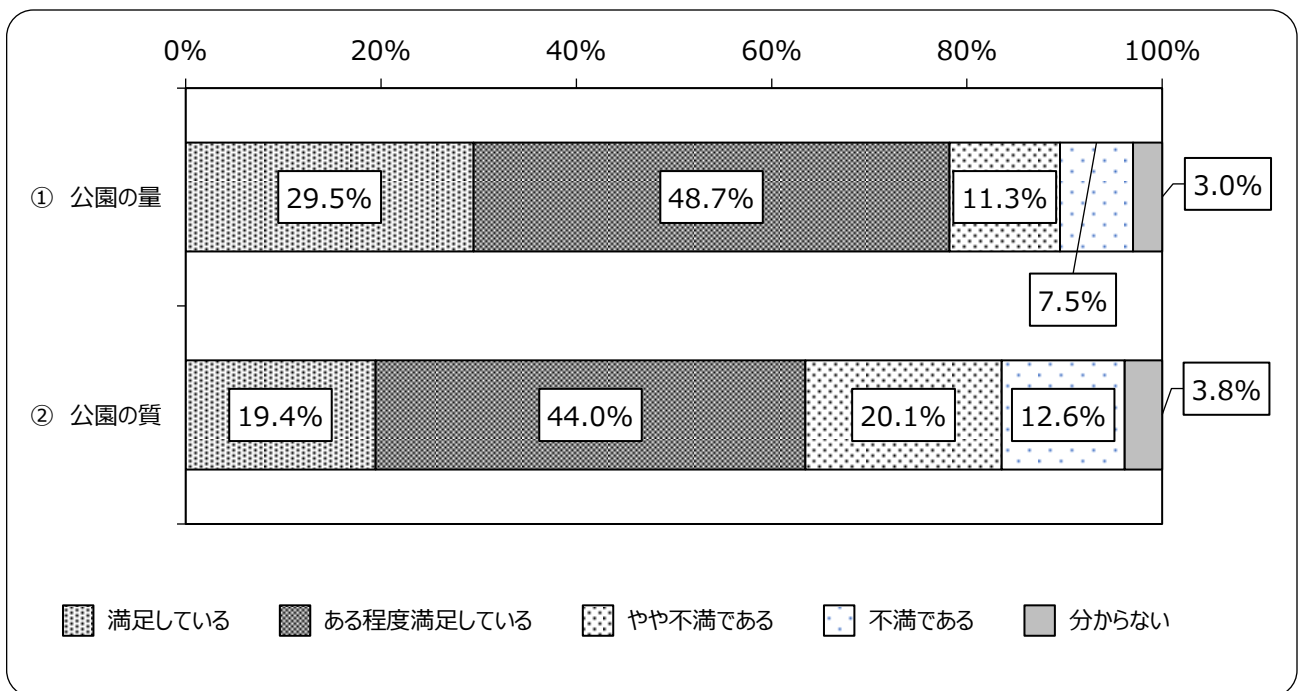
※2「公園の質」は、緑による景観・木陰、安全性、施設の整備、管理、運営状況等 【各項目:1つ選択】

①公園の量で「満足している」「ある程度満足している」と回答した方の合計は78.2%、②公園の質で「満足している」「ある程度満足している」と回答した方の合計は63.4%であり、②は①と比べて少なかった。

選択項目 (n=468)	満足している	ある程度満足している	やや不満である	不満である	分からない	合計
① 公園の量	138	228	53	35	14	468
	29.5%	48.7%	11.3%	7.5%	3.0%	100.0%
② 公園の質	91	206	94	59	18	468
	19.4%	44.0%	20.1%	12.6%	3.8%	100.0%

上段：回答数

下段：構成比



問8. 問7で公園の質について「1満足している」「2ある程度満足している」と回答された方に伺います。
 どのような面で満足していますか。 【複数選択可：いくつでも】

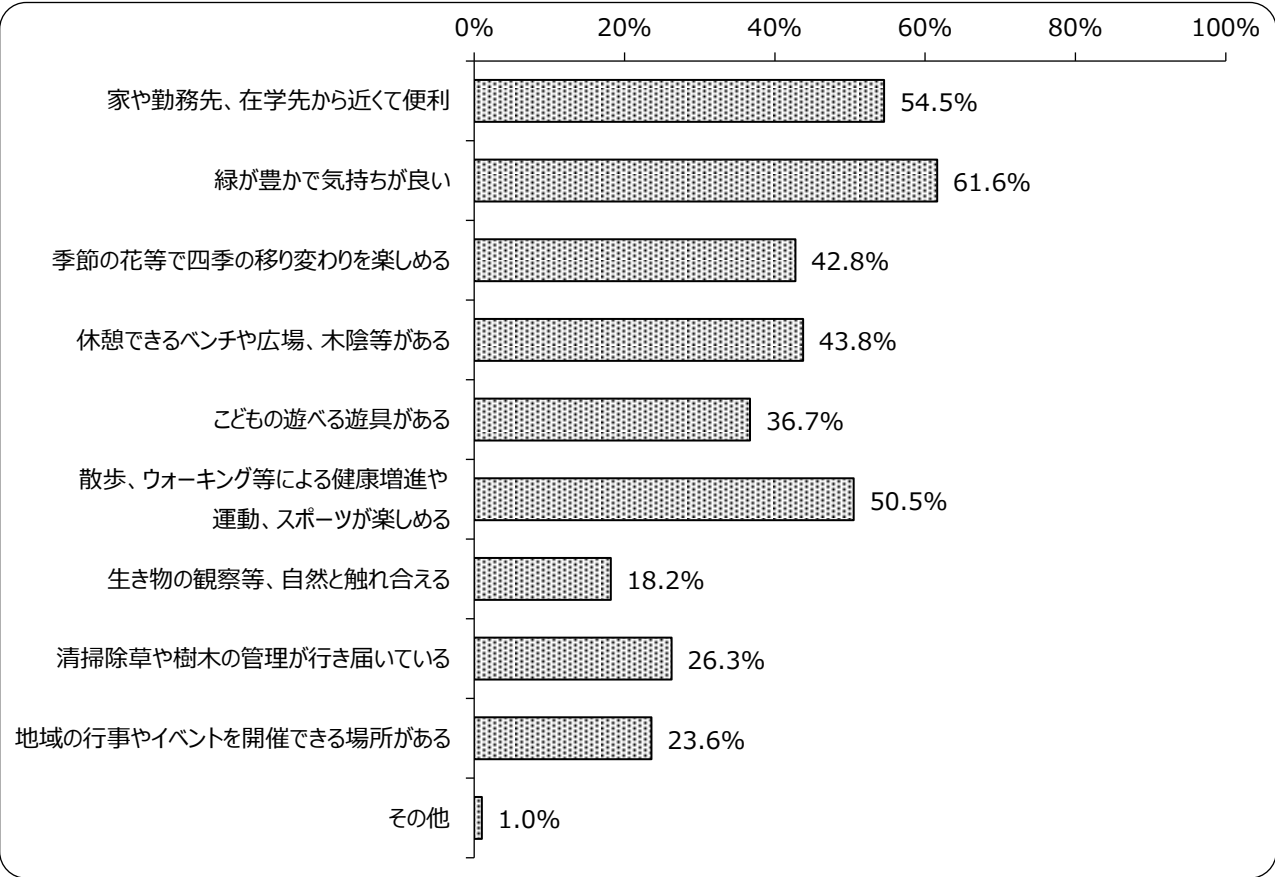
「緑が豊かで気持ちが良い」と回答した方が61.6%と最も多く、次いで「家や勤務先、在学先から近くて便利」と回答した方が54.5%であった。

	選択項目 (n=297)	回答数	回答数/n
1	家や勤務先、在学先から近くて便利	162	54.5%
2	緑が豊かで気持ちが良い	183	61.6%
3	季節の花等で四季の移り変わりを楽しめる	127	42.8%
4	休憩できるベンチや広場、木陰等がある	130	43.8%
5	こどもの遊べる遊具がある	109	36.7%
6	散歩、ウォーキング等による健康増進や運動、スポーツが楽しめる	150	50.5%
7	生き物の観察等、自然と触れ合える	54	18.2%
8	清掃除草や樹木の管理が行き届いている	78	26.3%
9	地域の行事やイベントを開催できる場所がある	70	23.6%
10	その他	3	1.0%

[10 その他]

【主な回答】

- 利用しないがあると安心



問9. お住まいの地域（市外在住の方は勤務先、在学先の地域）の公園、大規模な公園※それぞれの利用頻度についてお答えください。

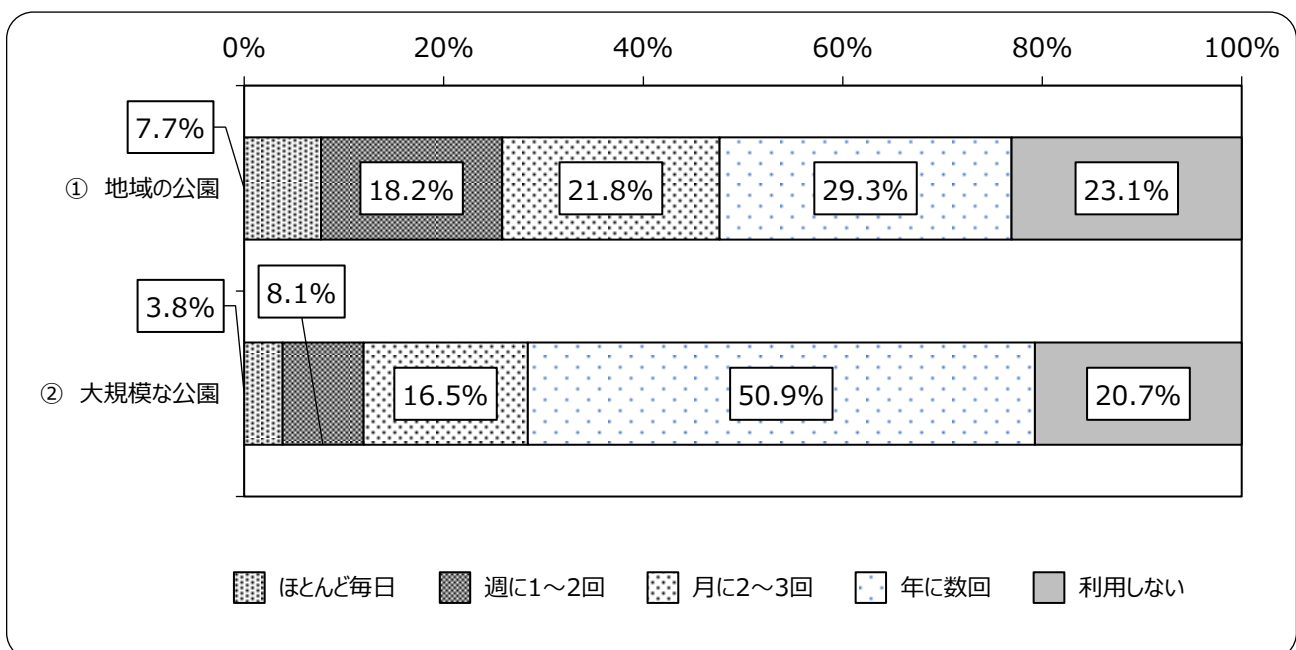
※大規模な公園：大浜公園、大仙公園、白鷺公園、荒山公園、鴨谷公園、舟渡池公園、金岡公園、原池公園、大蓮公園
【各項目:1つ選択】

①地域の公園、②大規模な公園ともに「年に数回」と回答した方が①が29.3%、②が50.9%と最も多かった。また、月に2回以上利用する方の割合は、①は47.7%、②は28.4%であった。

選択項目 (n=468)	ほとんど毎日	週に1~2回	月に2~3回	年に数回	利用しない	合計
① 地域の公園	36 7.7%	85 18.2%	102 21.8%	137 29.3%	108 23.1%	468 100.0%
② 大規模な公園	18 3.8%	38 8.1%	77 16.5%	238 50.9%	97 20.7%	468 100.0%

上段：回答数

下段：構成比



問10. お住まいの地域（市外在住の方は勤務先、在学先の地域）の身近な公園にどのようなことを望みますか。

【複数選択可：いくつでも】

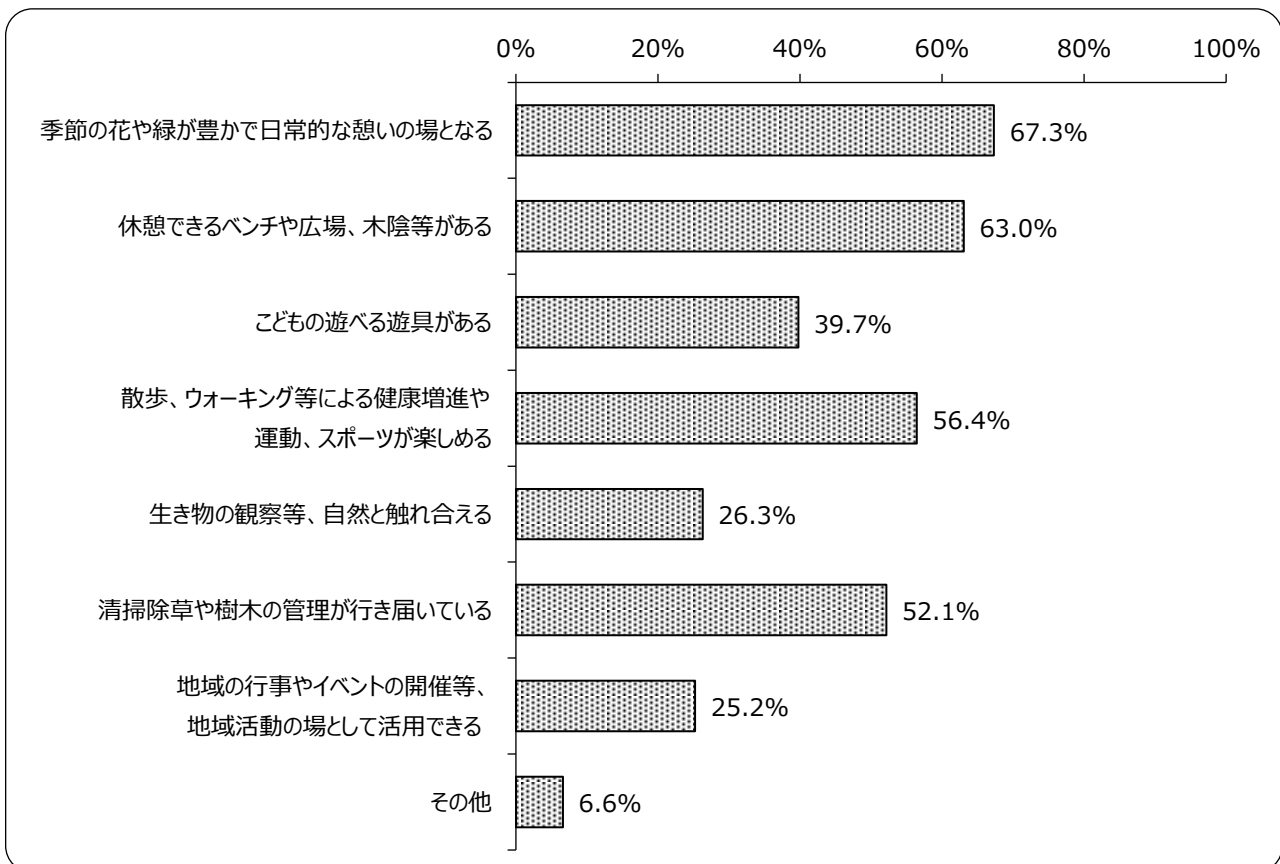
「季節の花や緑が豊かで日常的な憩いの場となる」と回答した方が67.3%と最も多く、次いで「休憩できるベンチや広場、木陰等がある」と回答した方が63.0%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	季節の花や緑が豊かで日常的な憩いの場となる	315	67.3%
2	休憩できるベンチや広場、木陰等がある	295	63.0%
3	こどもの遊べる遊具がある	186	39.7%
4	散歩、ウォーキング等による健康増進や運動、スポーツが楽しめる	264	56.4%
5	生き物の観察等、自然と触れ合える	123	26.3%
6	清掃除草や樹木の管理が行き届いている	244	52.1%
7	地域の行事やイベントの開催等、地域活動の場として活用できる	118	25.2%
8	その他	31	6.6%

[8 その他]

【主な回答】

- 安全であり、安心して利用できる（こどもの飛び出し防止、防犯面に配慮したトイレ、夜間も明るい）こと
- 利用のルールやマナーが守られている（喫煙、猫の餌やり禁止等）こと
- 災害時の避難場所や火事の延焼防御等防災機能があること
- トイレ、遊具、ベンチ等公園設備が綺麗に管理されていること
- トイレ、無料駐車場等がある



問11. 大規模な公園にどのようなことを望みますか。

【複数選択可：いくつでも】

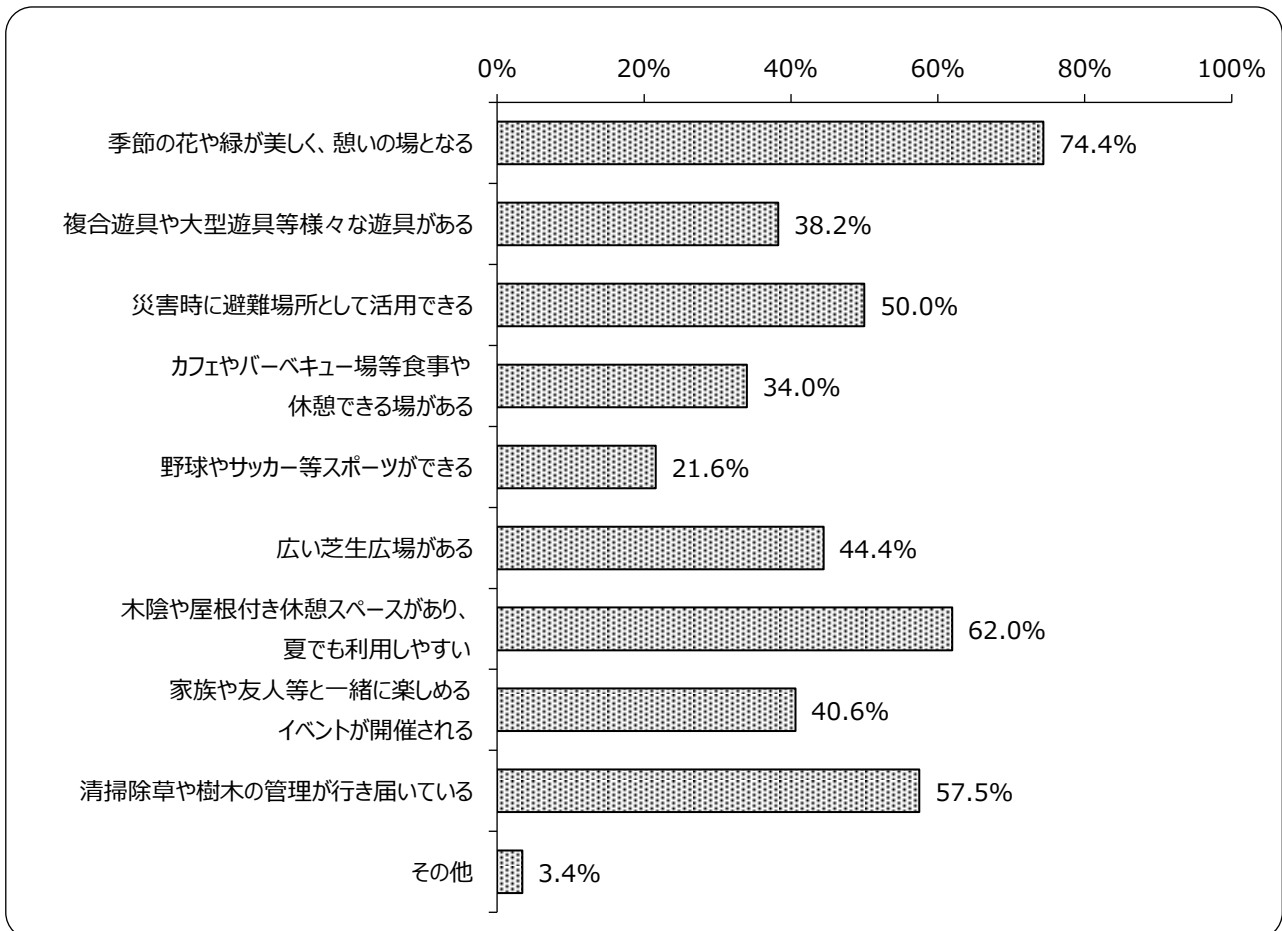
「季節の花や緑が美しく、憩いの場となる」と回答した方が74.4%と最も多く、次いで「木陰や屋根付き休憩スペースがあり、夏でも利用しやすい」と回答した方が62.0%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	季節の花や緑が美しく、憩いの場となる	348	74.4%
2	複合遊具や大型遊具等様々な遊具がある	179	38.2%
3	災害時に避難場所として活用できる	234	50.0%
4	カフェやバーベキュー場等食事や休憩できる場がある	159	34.0%
5	野球やサッカー等スポーツができる	101	21.6%
6	広い芝生広場がある	208	44.4%
7	木陰や屋根付き休憩スペースがあり、夏でも利用しやすい	290	62.0%
8	家族や友人等と一緒に楽しめるイベントが開催される	190	40.6%
9	清掃除草や樹木の管理が行き届いている	269	57.5%
10	その他	16	3.4%

[10 その他]

【主な回答】

- ニホントカゲ等在来生物が見られること
- 夜間も明るいこと
- トイレ等公園設備の管理が行き届いていること
- グリーンワーク、ウォーキングができること
- 駐車場の利用料金が無料又はワンコインであること
- 親水空間、給水設備があること
- 利用のルールやマナーが守られていること
- 屋内に誰でも弾けるピアノがあること
- バーベキューが気軽にできること
- 毎週イベントがあること



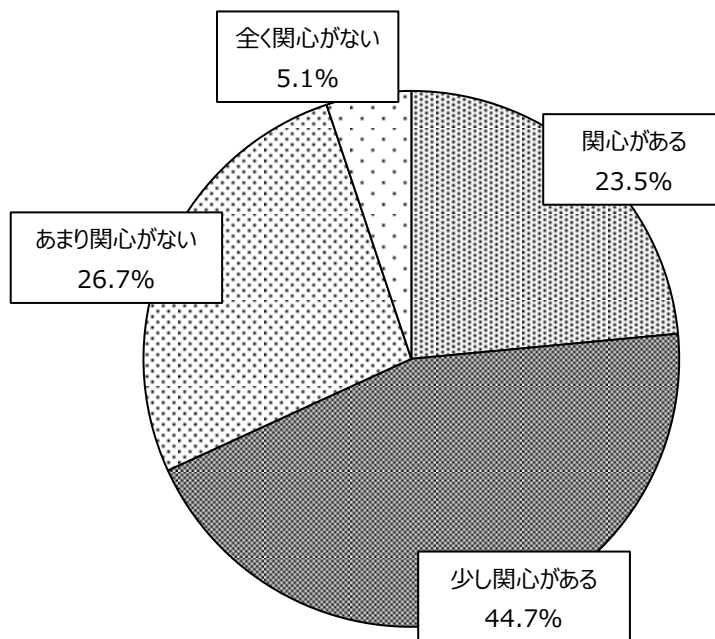
(3) 緑に関する取組

問12. 緑に関する取組[※]へ参加することに関心がありますか。

※緑に関する取組：公園等での清掃、花や樹木の手入れ等の維持管理、堺市緑化祭等の各種催し 【1つ選択】

「関心がある」「少し関心がある」と回答した方の合計は68.2%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	関心がある	110	23.5%
2	少し関心がある	209	44.7%
3	あまり関心がない	125	26.7%
4	全く関心がない	24	5.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%

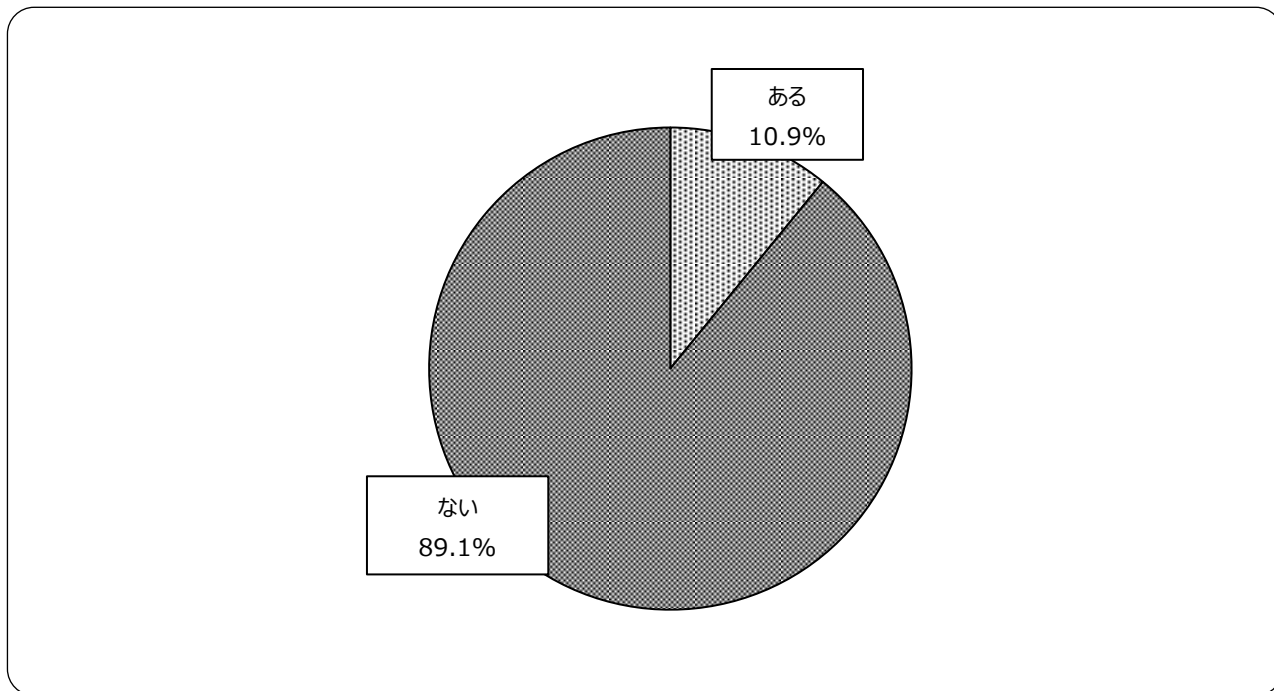


問13. 過去1年間に緑に関する取組に参加したことがありますか。

【1つ選択】

参加したことが「ある」と回答した方が10.9%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	ある	51	10.9%
2	ない	417	89.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問14. 今後参加してみたい取組はどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

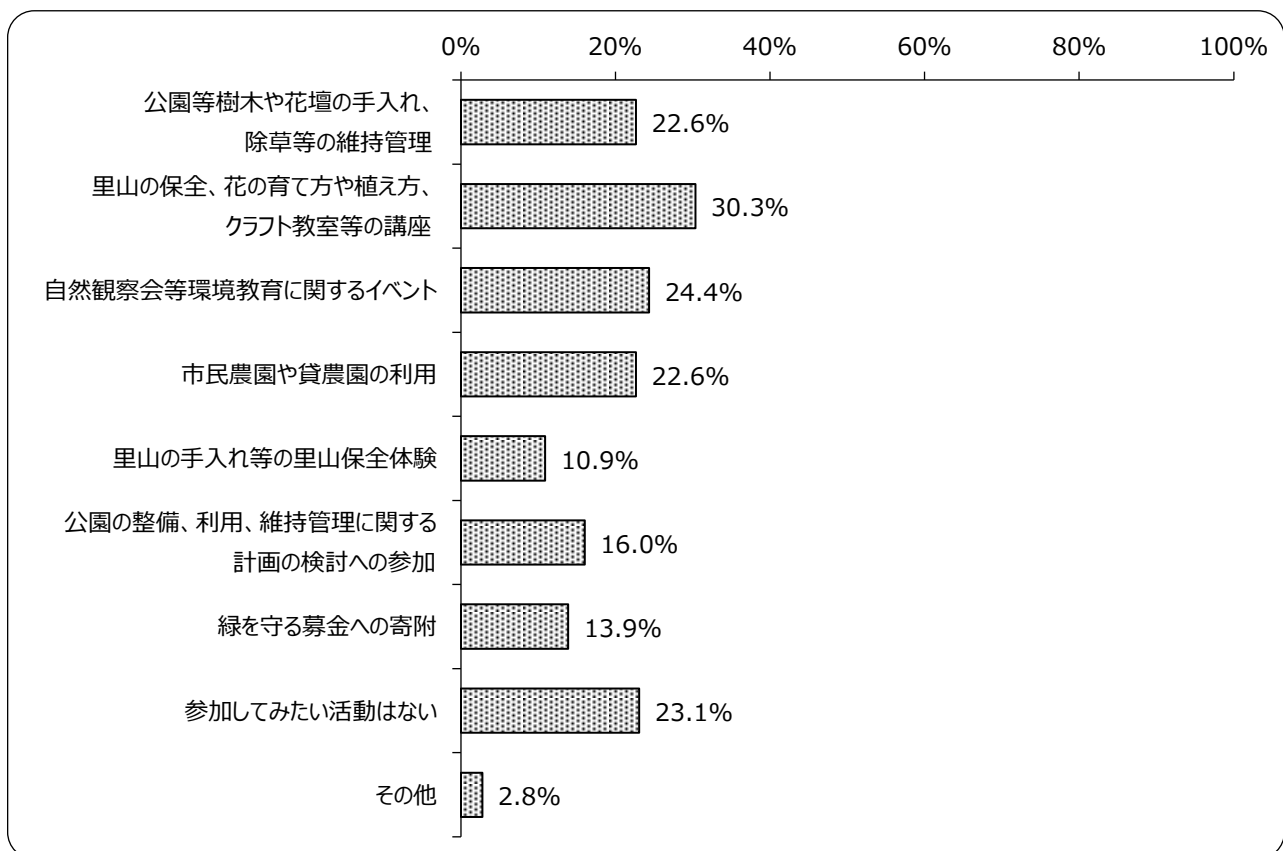
「里山の保全、花の育て方や植え方、クラフト教室等の講座」と回答した方が30.3%と最も多く、次いで「自然観察会等環境教育に関するイベント」と回答した方は24.4%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	公園等樹木や花壇の手入れ、除草等の維持管理	106	22.6%
2	里山の保全、花の育て方や植え方、クラフト教室等の講座	142	30.3%
3	自然観察会等環境教育に関するイベント	114	24.4%
4	市民農園や貸農園の利用	106	22.6%
5	里山の手入れ等の里山保全体験	51	10.9%
6	公園の整備、利用、維持管理に関する計画の検討への参加	75	16.0%
7	緑を守る募金への寄附	65	13.9%
8	参加してみたい活動はない	108	23.1%
9	その他	13	2.8%

[9 その他]

【主な回答】

- 生態調査
- こどもが身近な植物と触れ合ったり、公園の花壇の手入れ等をするイベント
- 緑をとおしての健康増進活動
- 花博の取組と連携した活動
- 桜の木の植林、オーナー制度のような活動
- 単発的な清掃等



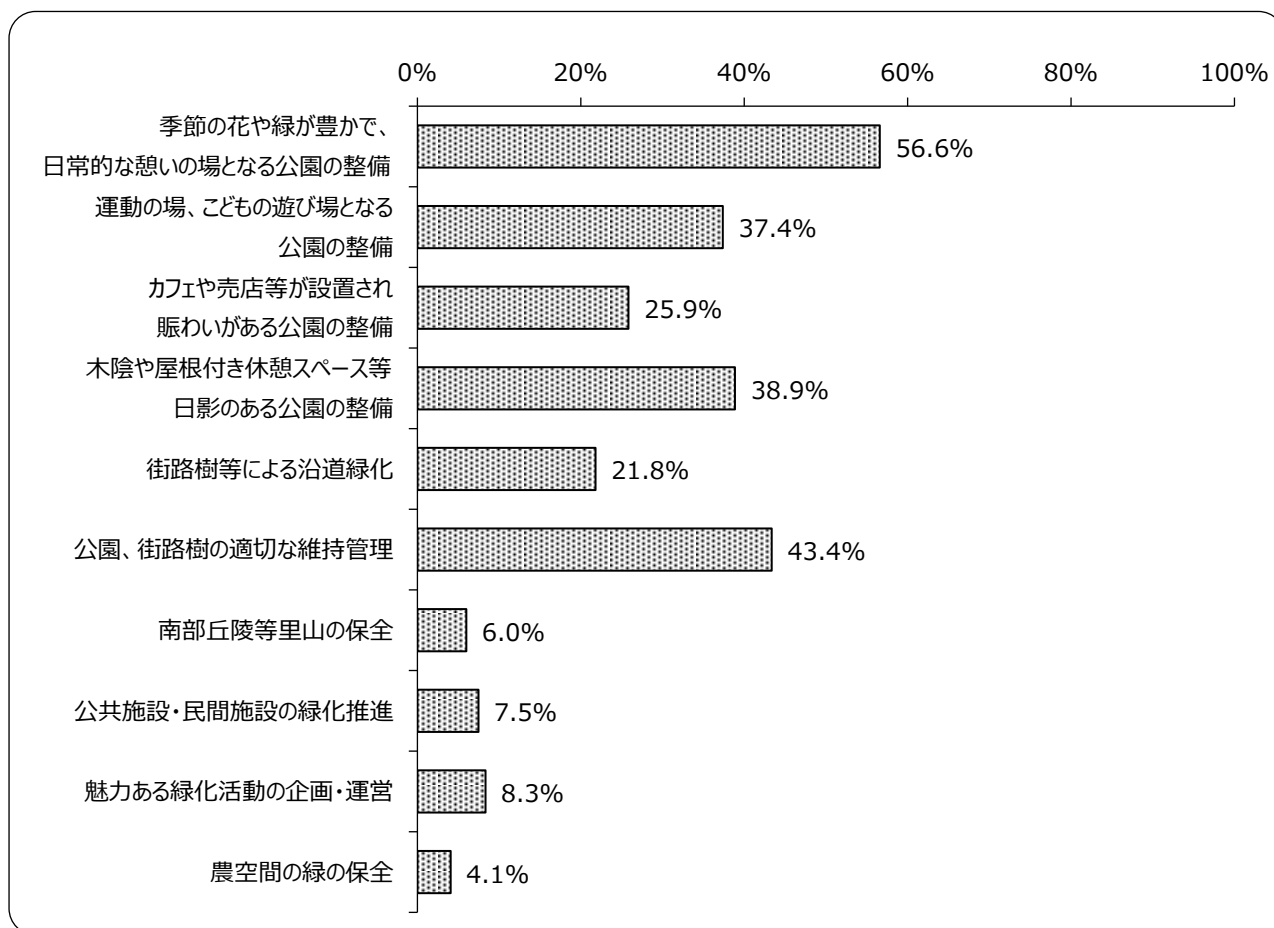
(4) 緑に関する市の施策

問15. 市に優先的に取り組んでほしい緑や公園の施策はどれですか。

【複数選択可：3つまで】

「季節の花や緑が豊かで、日常的な憩いの場となる公園の整備」と回答した方が56.6%と最も多く、次いで「公園、街路樹の適切な維持管理」と回答した方が43.4%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	季節の花や緑が豊かで、日常的な憩いの場となる公園の整備	265	56.6%
2	運動の場、こどもの遊び場となる公園の整備	175	37.4%
3	カフェや売店等が設置され賑わいがある公園の整備	121	25.9%
4	木陰や屋根付き休憩スペース等日影のある公園の整備	182	38.9%
5	街路樹等による沿道緑化	102	21.8%
6	公園、街路樹の適切な維持管理	203	43.4%
7	南部丘陵等里山の保全	28	6.0%
8	公共施設・民間施設の緑化推進	35	7.5%
9	魅力ある緑化活動の企画・運営	39	8.3%
10	農空間の緑の保全	19	4.1%



2. 女性相談

調査結果の概要

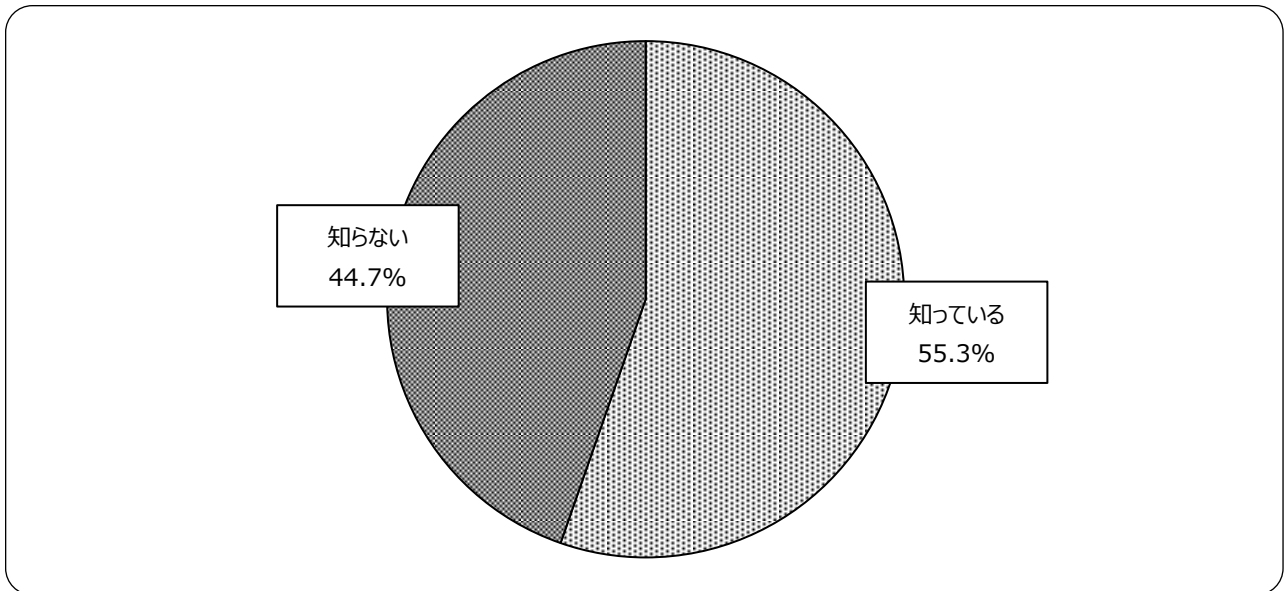
テーマ	女性相談
担当課	こども青少年局 こども青少年育成部 こども家庭課
設問数	6 問
趣旨・目的	<p>本市では、困難な問題を抱える女性への支援強化を目的として、令和 7 年 3 月に「堺市困難な問題を抱える女性への支援に関する基本計画」（以下「計画」という。）を策定し、取組を進めています。</p> <p>今回のアンケートは、計画を推進するに当たり、女性相談窓口が市民の皆様にごだけ知られているかを把握し、計画の進捗度を測るために実施します。調査結果は、計画に掲げる女性相談事業の基礎的な資料として活用するものです。</p>
調査結果	各設問のページを御覧ください。
調査結果に係る担当課の所見	<ul style="list-style-type: none">・問 16 では女性相談窓口があること、問 17 では本市各区役所子育て支援課に女性相談員がいることを、それぞれ過半数の方に知られていました。しかし、令和 6 年度と比較して減少しました。一方、問 19 では、本市に配偶者暴力相談支援センターがあることを知っている方の割合が令和 6 年度よりも増加しました。・問 18 及び問 20 では、令和 6 年度と同様、現行の相談窓口に関する情報の取得方法を広報さかいと回答した方が最も多い状況でした。 <p>上記の結果を踏まえ、引き続き、広報さかいを活用した情報発信を実施します。</p>

問16. DVや離婚等の女性を取り巻く様々な問題に対して、女性が相談できる窓口があることを知っていますか。

【1つ選択】

「知っている」と回答した方は55.3%であり、令和6年度から7.3ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	259	55.3%
2	知らない	209	44.7%
	計 (回答総数)	468	100.0%

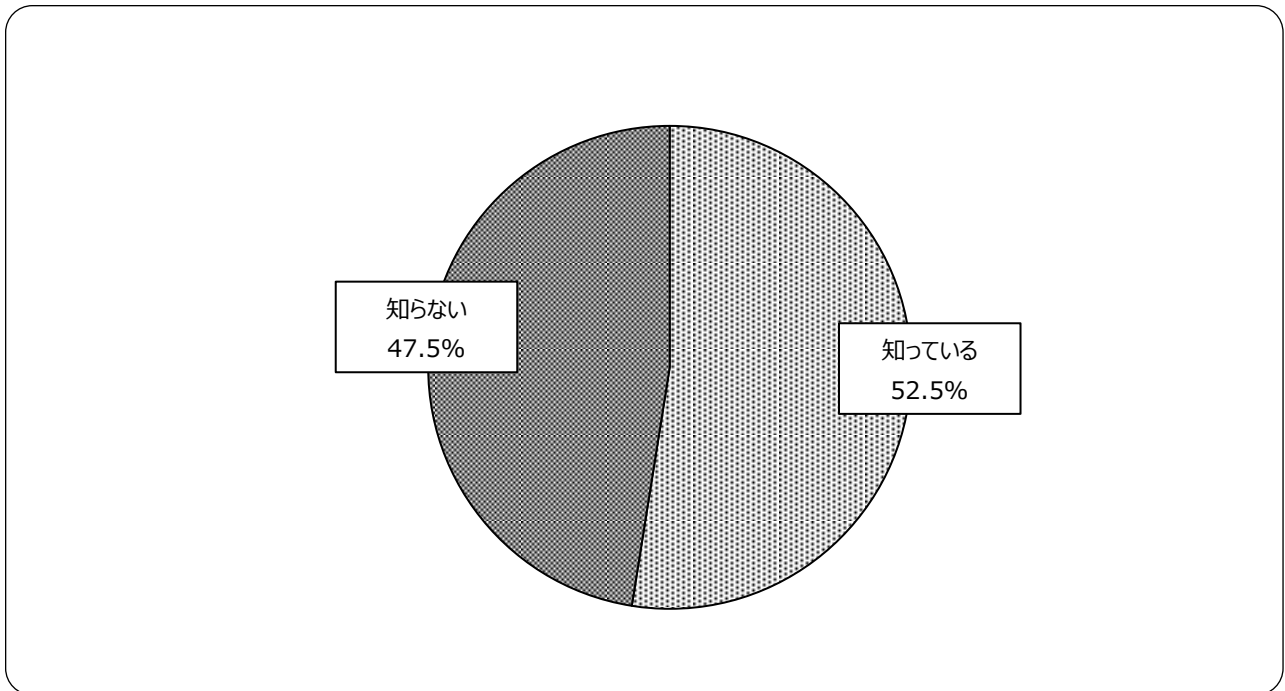


問17. 問16で「1知っている」と回答された方に伺います。

本市では各区役所子育て支援課に女性相談員（女性相談支援員）がいることを知っていますか。【1つ選択】

「知っている」と回答した方は52.5%であり、令和6年度から7.6ポイント減少した。

	選択項目 (n=259)	回答数	構成比
1	知っている	136	52.5%
2	知らない	123	47.5%
	計 (回答総数)	259	100.0%



問18. 問16で「1知っている」と回答された方に伺います。

女性相談窓口をどのようにして知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

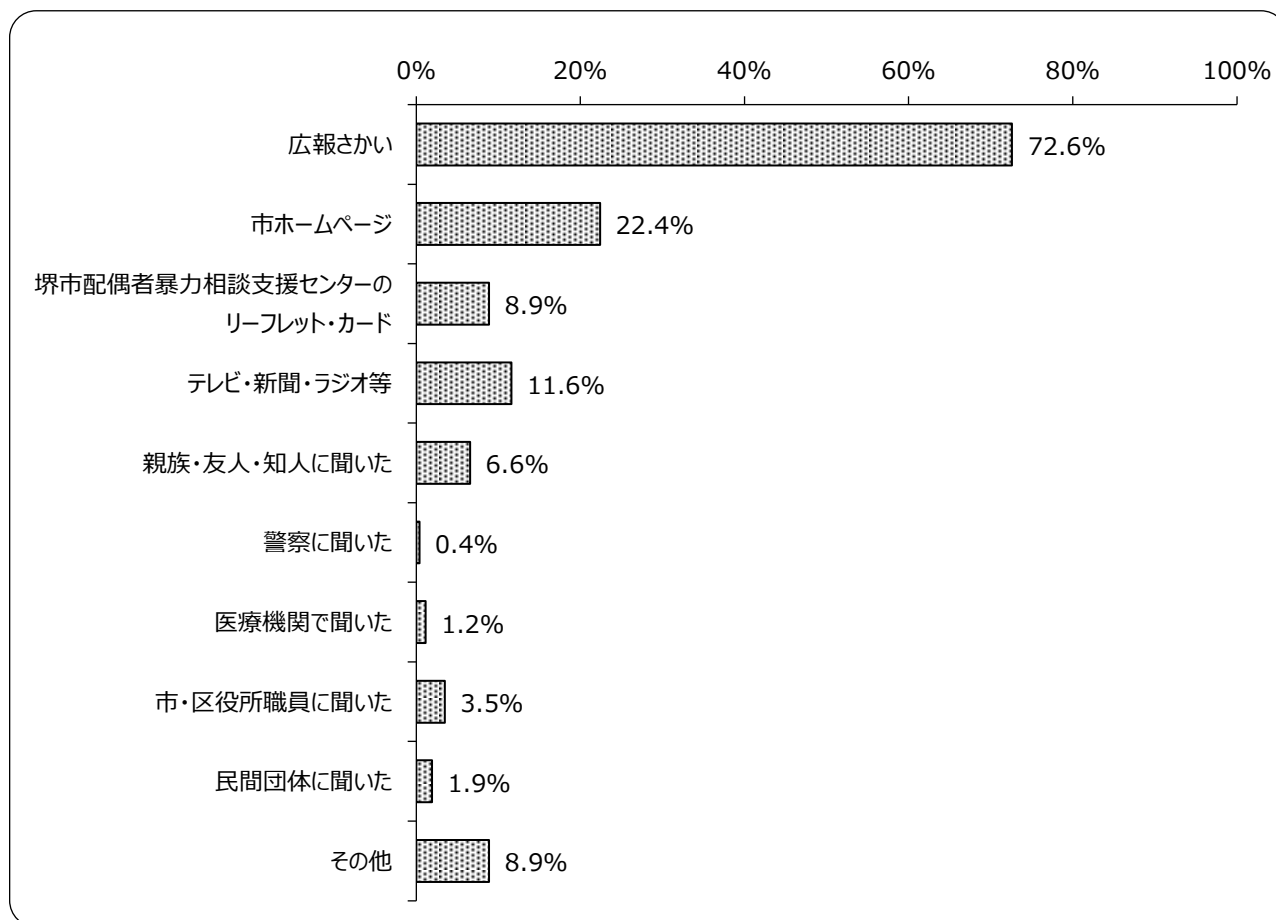
「広報さかい」と回答した方が最も多く、令和6年度から4.5ポイント減少した。

	選択項目 (n=259)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	188	72.6%
2	市ホームページ	58	22.4%
3	堺市配偶者暴力相談支援センターのリーフレット・カード	23	8.9%
4	テレビ・新聞・ラジオ等	30	11.6%
5	親族・友人・知人に聞いた	17	6.6%
6	警察に聞いた	1	0.4%
7	医療機関で聞いた	3	1.2%
8	市・区役所職員に聞いた	9	3.5%
9	民間団体に聞いた	5	1.9%
10	その他	23	8.9%

[10 その他]

【主な回答】

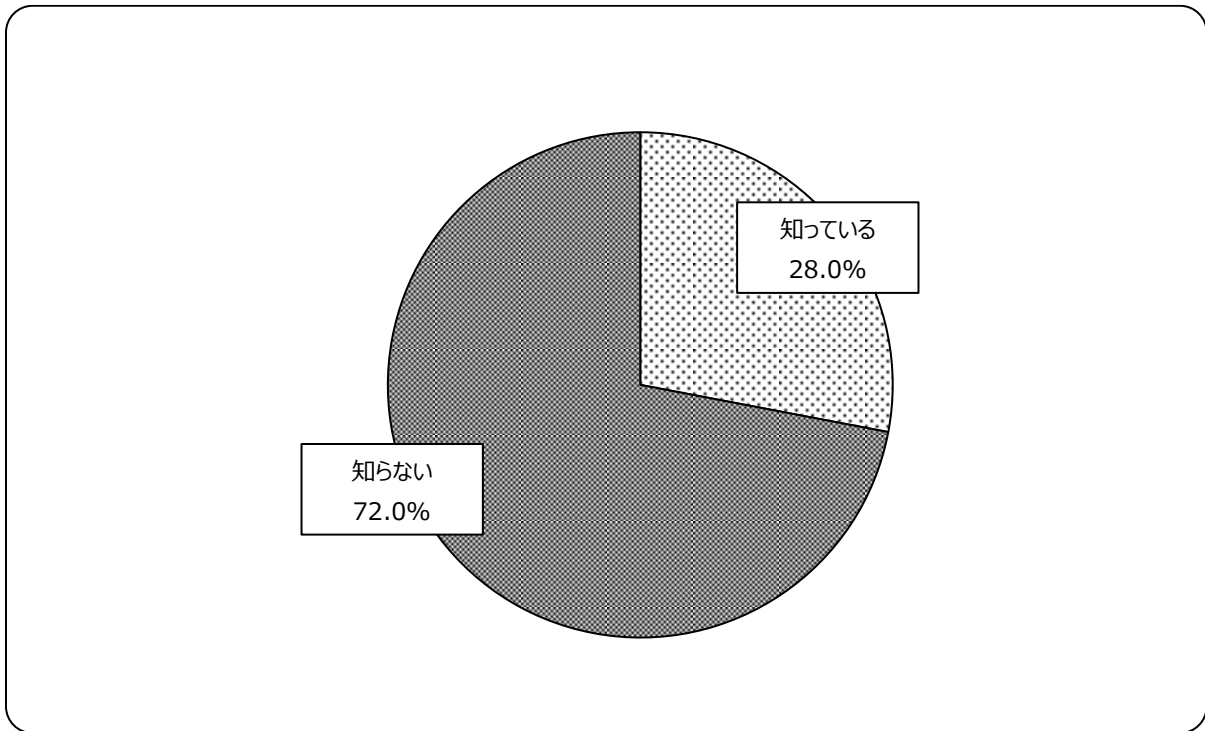
- 役所や図書館の女子トイレ
- 市民イベント
- 職場
- 学校の授業
- 実際に利用した友人から聞いた
- 民生委員の会議



問19. DV専門電話相談窓口として、本市に配偶者暴力相談支援センターがあることを知っていますか。【1つ選択】

「知っている」と回答した方は28.0%であり、令和6年度から1.9ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	131	28.0%
2	知らない	337	72.0%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問20. 問19で「1知っている」と回答された方に伺います。

堺市配偶者暴力相談支援センターをどのようにして知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

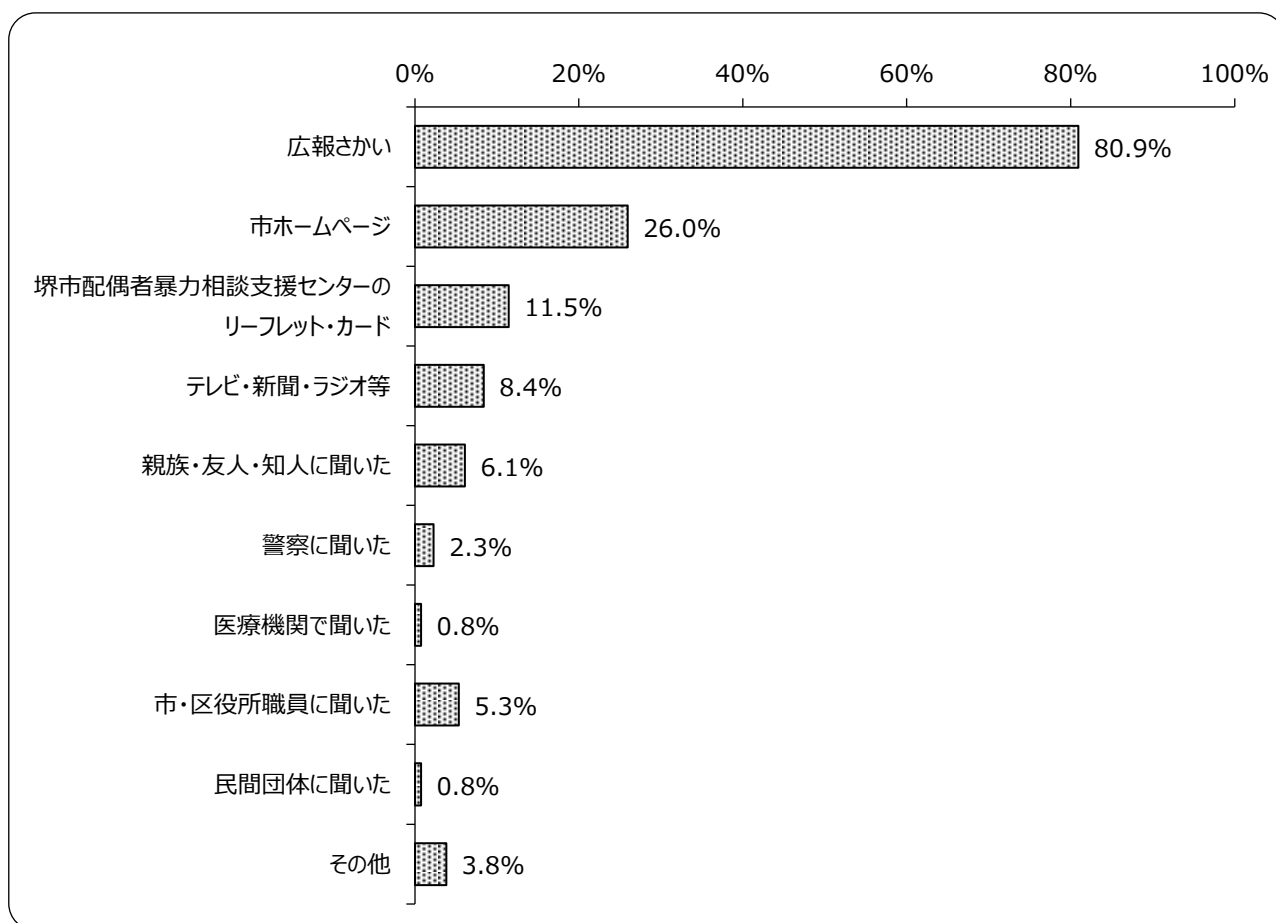
「広報さかい」と回答した方が80.9%と最も多く、令和6年度から3.0ポイント増加した。

	選択項目 (n=131)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	106	80.9%
2	市ホームページ	34	26.0%
3	堺市配偶者暴力相談支援センターのリーフレット・カード	15	11.5%
4	テレビ・新聞・ラジオ等	11	8.4%
5	親族・友人・知人に聞いた	8	6.1%
6	警察に聞いた	3	2.3%
7	医療機関で聞いた	1	0.8%
8	市・区役所職員に聞いた	7	5.3%
9	民間団体に聞いた	1	0.8%
10	その他	5	3.8%

[10 その他]

【主な回答】

- 市民イベント
- 学校
- LINE
- 職場



問21 DV等の悩みを相談する場合、どのような方法があれば相談しやすいと思いますか。【複数選択可：いくつでも】

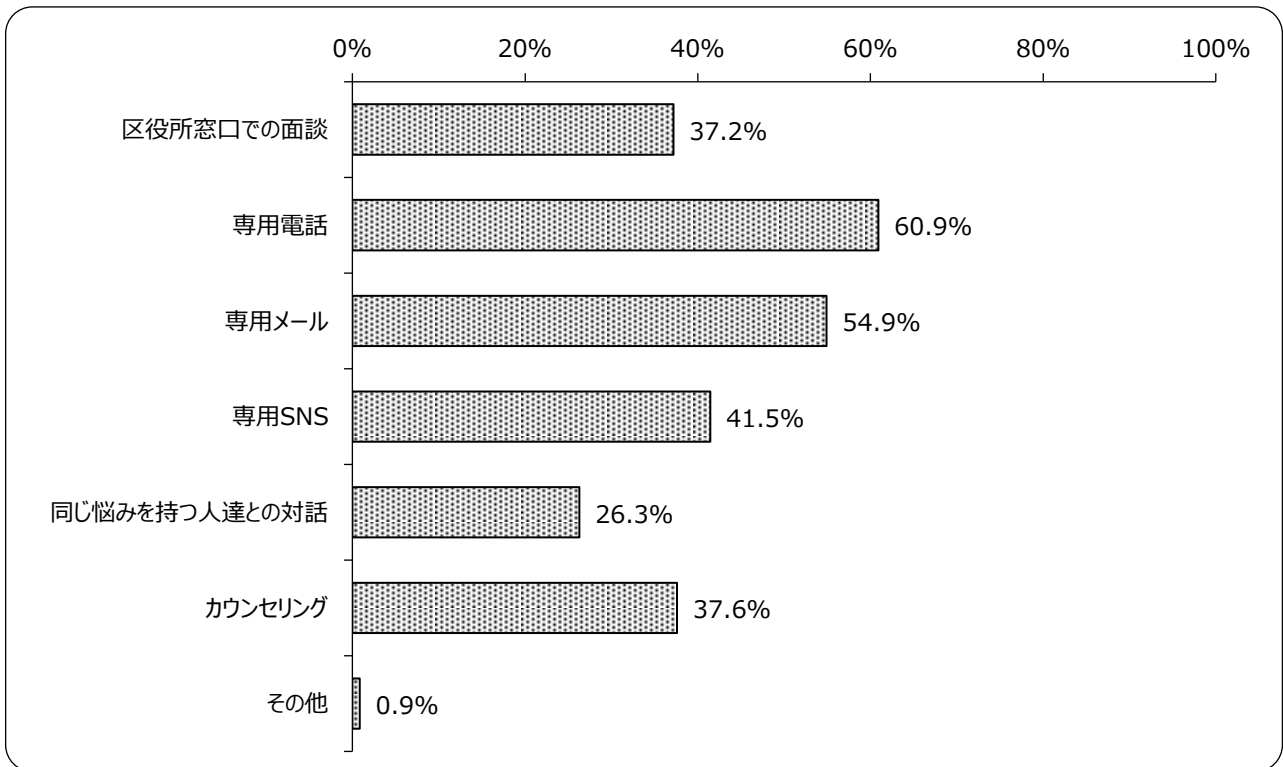
「専用電話」と回答した方が60.9%と最も多く、令和6年度から2.1ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	区役所窓口での面談	174	37.2%
2	専用電話	285	60.9%
3	専用メール	257	54.9%
4	専用SNS	194	41.5%
5	同じ悩みを持つ人達との対話	123	26.3%
6	カウンセリング	176	37.6%
7	その他	4	0.9%

[7 その他]

【主な回答】

- 警察署や交番
- シェルター等、身の安全や秘密を守ってくれて相談しやすい環境の整備
- 役所へ行くのはハードルが高いため、身近に相談できる場所
- 本当に人の気持ちに寄り添える人が対応する



3. 里親制度及び広報啓発活動

調査結果の概要

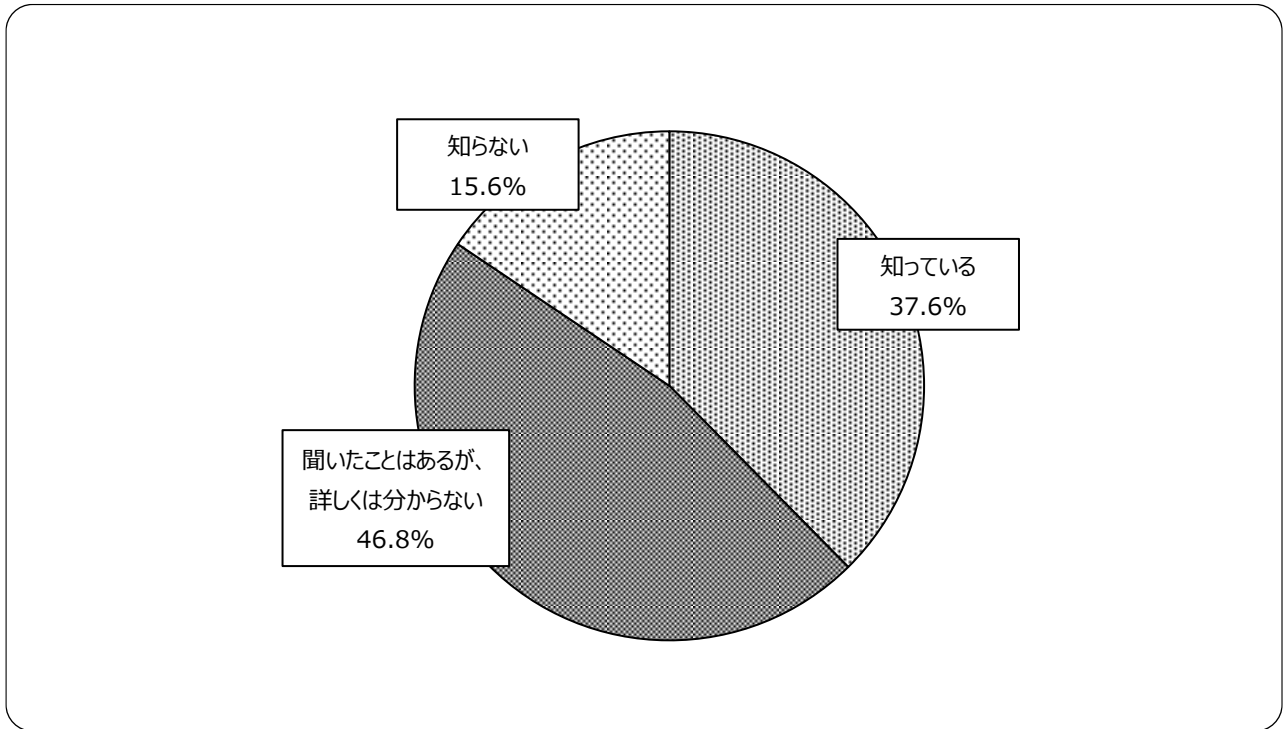
テーマ	里親制度及び広報啓発活動
担当課	こども青少年局 こども青少年育成部 こども家庭課
設問数	8 問
趣旨・目的	今回のアンケートは、市民の皆様により親制度がどれだけ知られているか、また、里親制度の広報啓発活動についての市民の皆様の意識を調査し、今後の里親制度の啓発、新規里親開拓に活用するものです。
調査結果	各設問のページを御覧ください。
調査結果に係る担当課の所見	<ul style="list-style-type: none">・問 22 では、里親制度を「知っている」と回答した方が、令和 5 年度と比較して 21.8 ポイント減少しました。一方で、「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」と回答した方が 14.3 ポイント増加しました。・問 24 では、里親制度に関する広報・啓発活動に関して、「テレビ・新聞」と回答した方が 18.5% でした。また、「広報さかい」は令和 5 年度と比較して 10.5 ポイント、「市役所・区役所内でのパネル展等の展示やイベント、懸垂幕」は 11.8 ポイント、それぞれ減少しました。 <p>認知度が低下した要因のひとつとして、「広報さかい」や「市役所・区役所内でのパネル展等の展示やイベント、懸垂幕」の啓発活動が十分でなかったことが考えられます。</p> <p>今後は、これらの媒体を活用した啓発を強化し、新たな媒体の活用や内容の改善を図り、より効果的な情報発信に取り組めます。</p>

問22. 家庭で暮らせない子どもたちのための里親制度を知っていますか。

【1つ選択】

「知っている」と回答した方は37.6%であり、令和5年度から21.8ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	176	37.6%
2	聞いたことはあるが、詳しくは分からない	219	46.8%
3	知らない	73	15.6%
	計 (回答総数)	468	100.0%



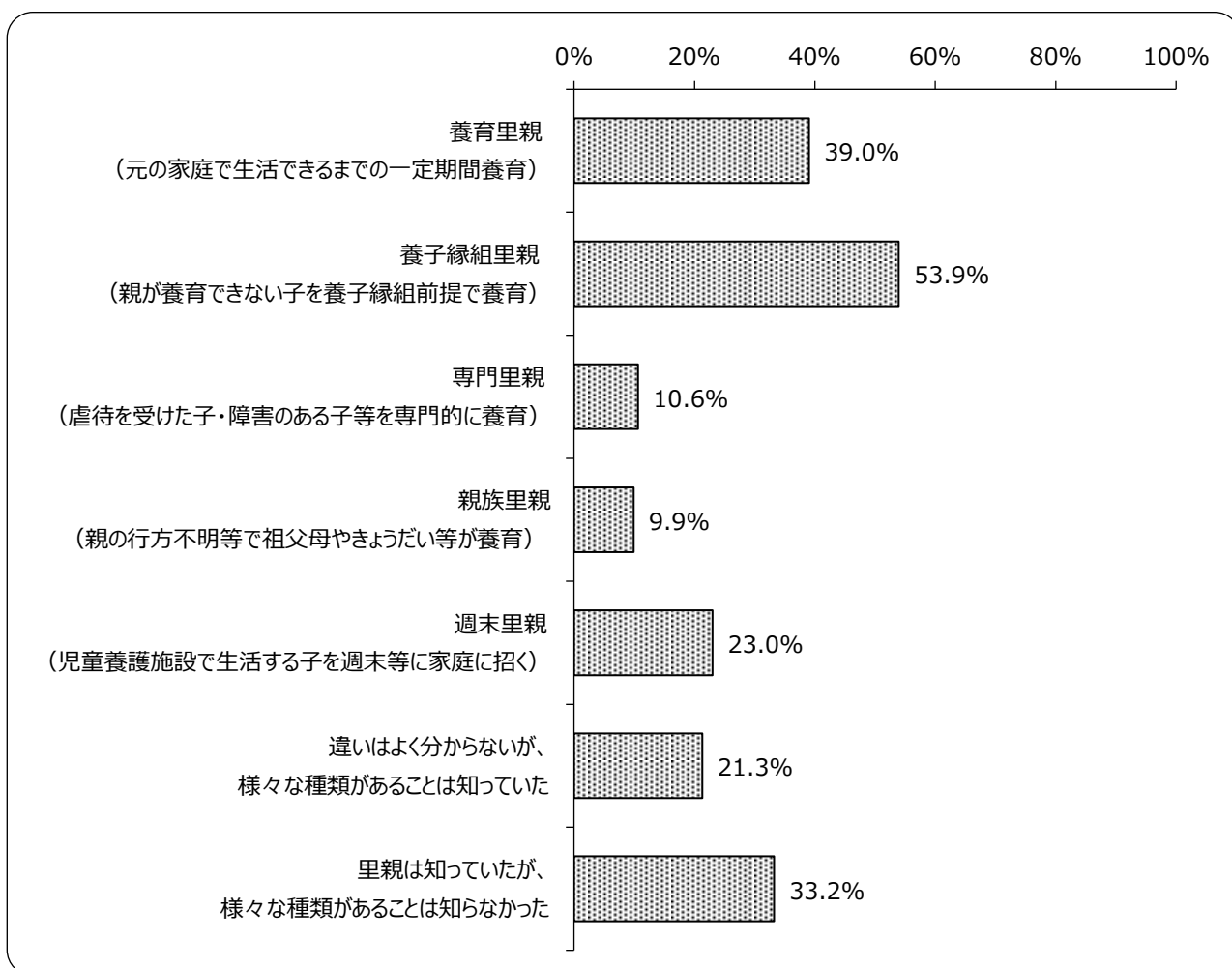
問23. 問22で「1知っている」「2聞いたことはあるが、詳しくはわからない」と回答された方に伺います。

里親には様々な種類があります。知っているものはどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

「違いはよく分からないが、様々な種類があることは知っていた」と回答した方は21.3%であり、令和5年度から13.2ポイント増加した。

	選択項目 (n=395)	回答数	回答数/n
1	養育里親 (元の家で生活できるまでの一定期間養育)	174	39.0%
2	養子縁組里親 (親が養育できない子を養子縁組前提で養育)	285	53.9%
3	専門里親 (虐待を受けた子・障害のある子等を専門的に養育)	257	10.6%
4	親族里親 (親の行方不明等で祖父母やきょうだい等が養育)	194	9.9%
5	週末里親 (児童養護施設で生活する子を週末等に家庭に招く)	123	23.0%
6	違いはよく分からないが、様々な種類があることは知っていた	176	21.3%
7	里親は知っていたが、様々な種類があることは知らなかった	4	33.2%



問24. 問22で「1知っている」「2聞いたことはあるが、詳しくはわからない」と回答された方に伺います。

市内で里親制度に関する広報・啓発活動の中で、実際に見たことがあるものはどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

「テレビ、新聞」と回答した方は18.5%であり、令和5年度から6.0ポイント増加した。また、「広報さかい」は10.5ポイント、「市役所・区役所内でのパネル展等の展示やイベント、懸垂幕」は11.8ポイント、それぞれ減少した。

	選択項目 (n=395)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	268	67.8%
2	インターネット	16	4.1%
3	ポスターやチラシ	38	9.6%
4	市役所・区役所内でのパネル展等の展示やイベント、懸垂幕	49	12.4%
5	大型ショッピングモール内でのパネル展等の展示やイベント	20	5.1%
6	区民まつり等のイベント内での広報活動	30	7.6%
7	テレビ、新聞	73	18.5%
8	自分や親族・知人が里親になっている	16	4.1%
9	どれも見たことがない	36	9.1%
10	その他	14	3.5%

[2 インターネット]

【主な回答】

- 市ホームページ
- 民間機関のホームページ
- X (旧 Twitter)
- LINE
- Instagram
- 市議会議員のブログ

[10 その他]

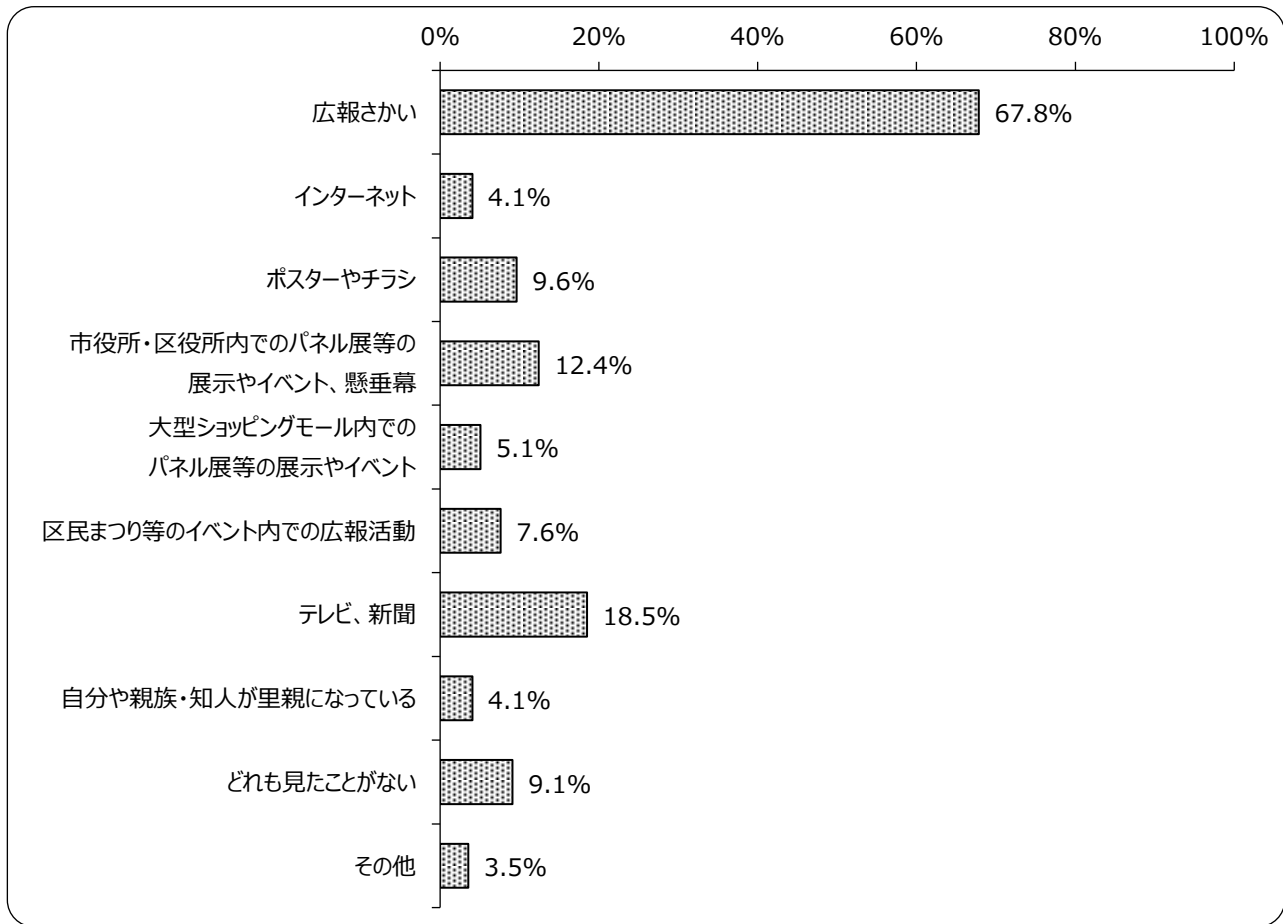
【主な回答】

- 学校
- 講演会
- 児童福祉施設に勤務している
- 講座
- 保育園
- 市議会議員から

[3 ポスターやチラシ]

【主な回答】

- 市役所
- 区役所
- 図書館
- スーパー
- 商業施設
- 公共交通機関
- マンション内
- 子育て広場
- 病院
- 郵便局
- 堺市総合福祉会館
- 民生委員児童委員連合会の資料
- 児童養護施設



問25 もし、あなたが里親になるとしたら、何が必要だと思いますか。

【複数選択可：いつでも】

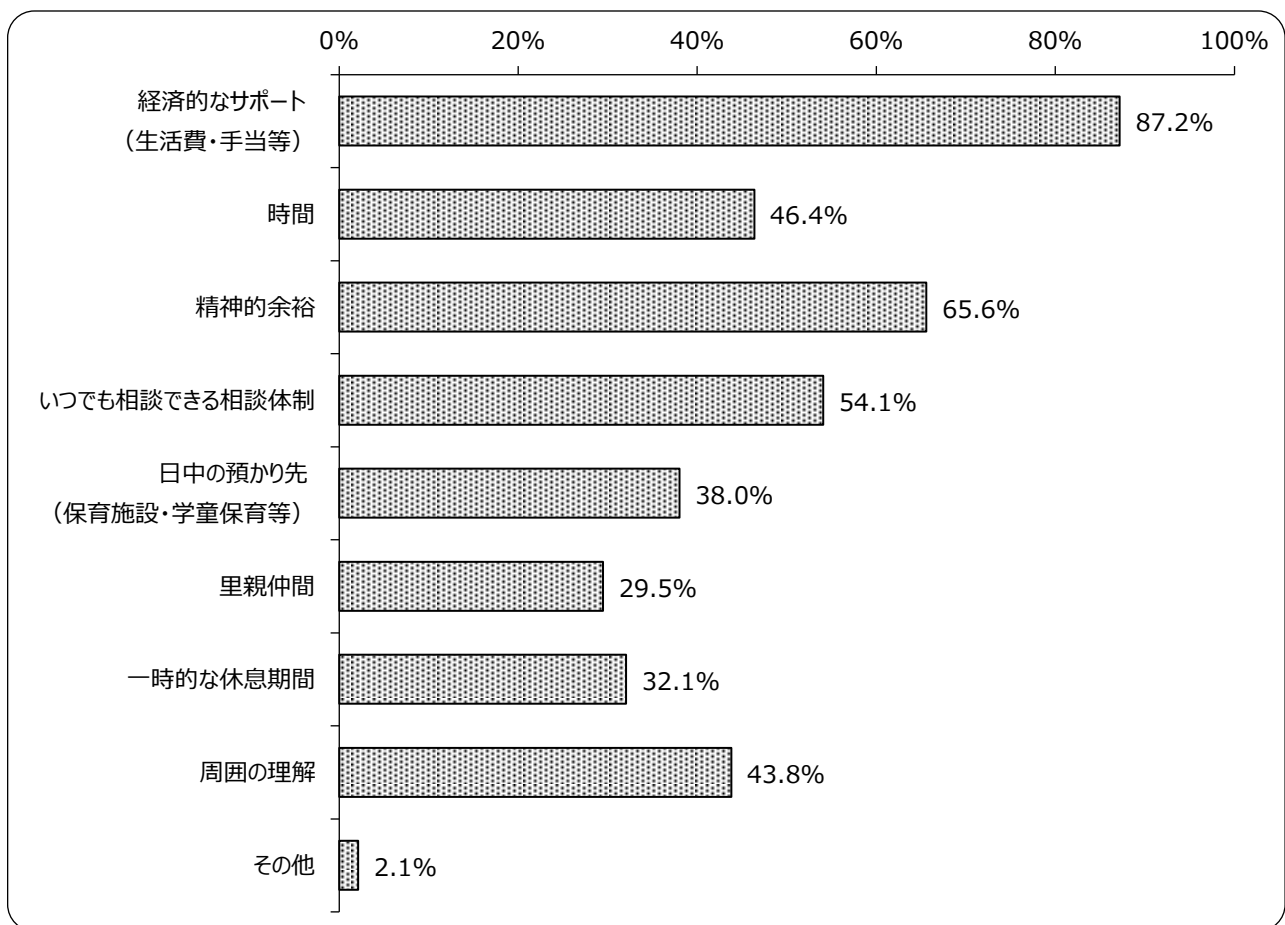
「経済的なサポート（生活費・手当等）」と回答した方は、87.2%であり、令和5年度から6.3ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	経済的なサポート（生活費・手当等）	408	87.2%
2	時間	217	46.4%
3	精神的余裕	307	65.6%
4	いつでも相談できる相談体制	253	54.1%
5	日中の預かり先（保育施設・学童保育等）	178	38.0%
6	里親仲間	138	29.5%
7	一時的な休息期間	150	32.1%
8	周囲の理解	205	43.8%
9	その他	10	2.1%

[9 その他]

【主な回答】

- 居住空間
- 体力
- 勤労する母親への理解
- 行政のサポート
- 里親制度や養育に関する基本と実践の学べる場
- 里親制度に関する知識



問26. 里親になることへの意向について伺います。

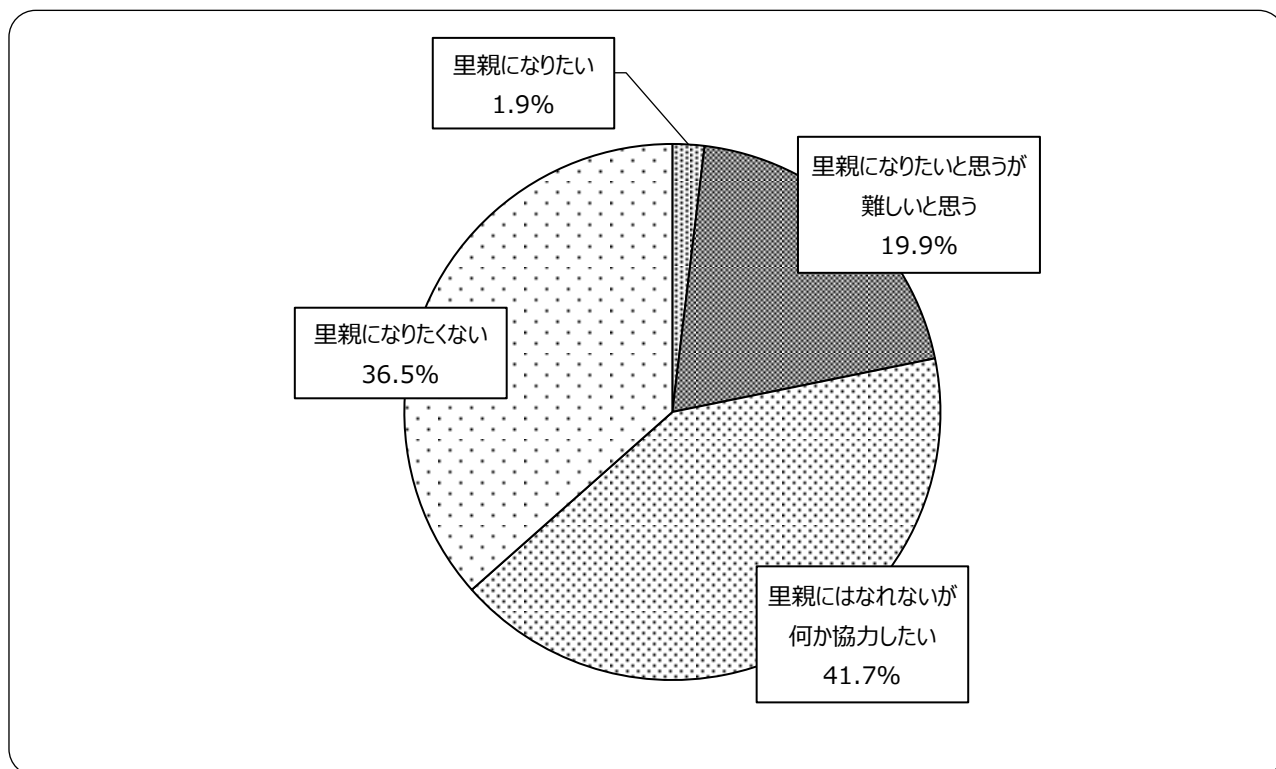
里親になりたいと思いますか。

なお、回答された市政モニターの方に直接、里親になることを依頼するものではありません。

【1つ選択】

「里親になりたい」「里親になりたいと思うが難しいと思う」と回答した方の合計は21.8%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	里親になりたい	9	1.9%
2	里親になりたいと思うが難しいと思う	93	19.9%
3	里親にはなれないが何か協力したい	195	41.7%
4	里親になりたくない	171	36.5%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問27. 問26で「1里親になりたい」と回答された方に伺います。

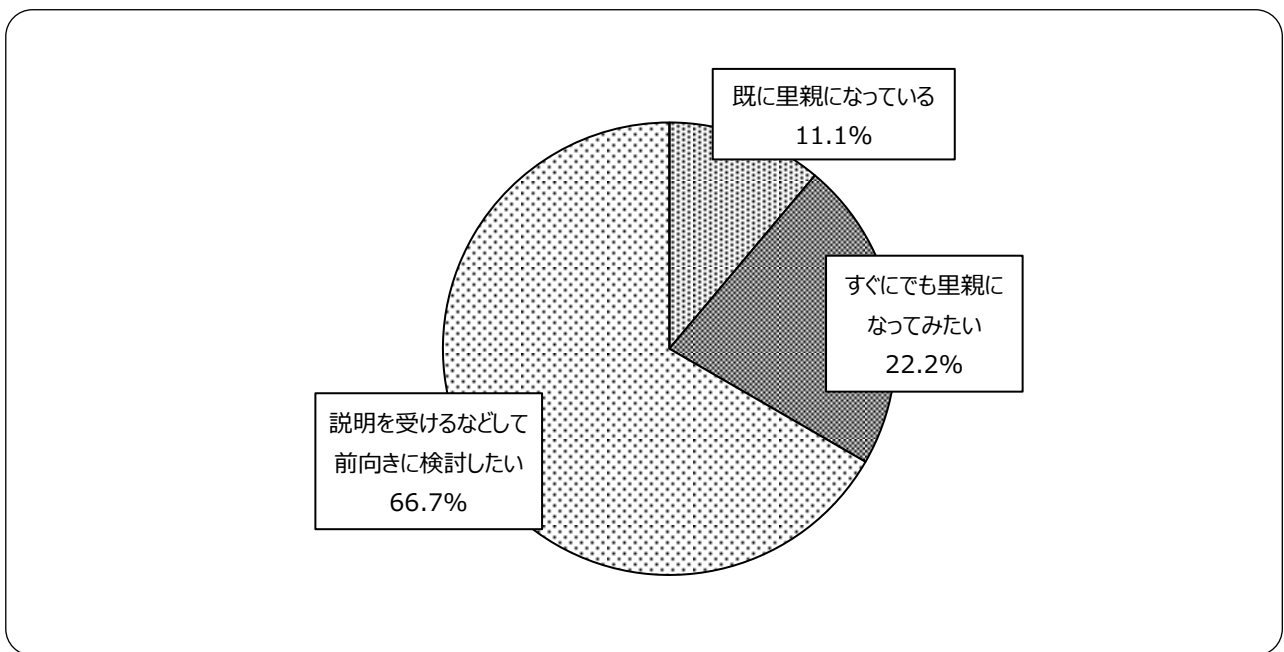
里親になることへの意向はどれに当てはまりますか。

なお、回答された市政モニターの方に直接、里親になることを依頼するものではありません。

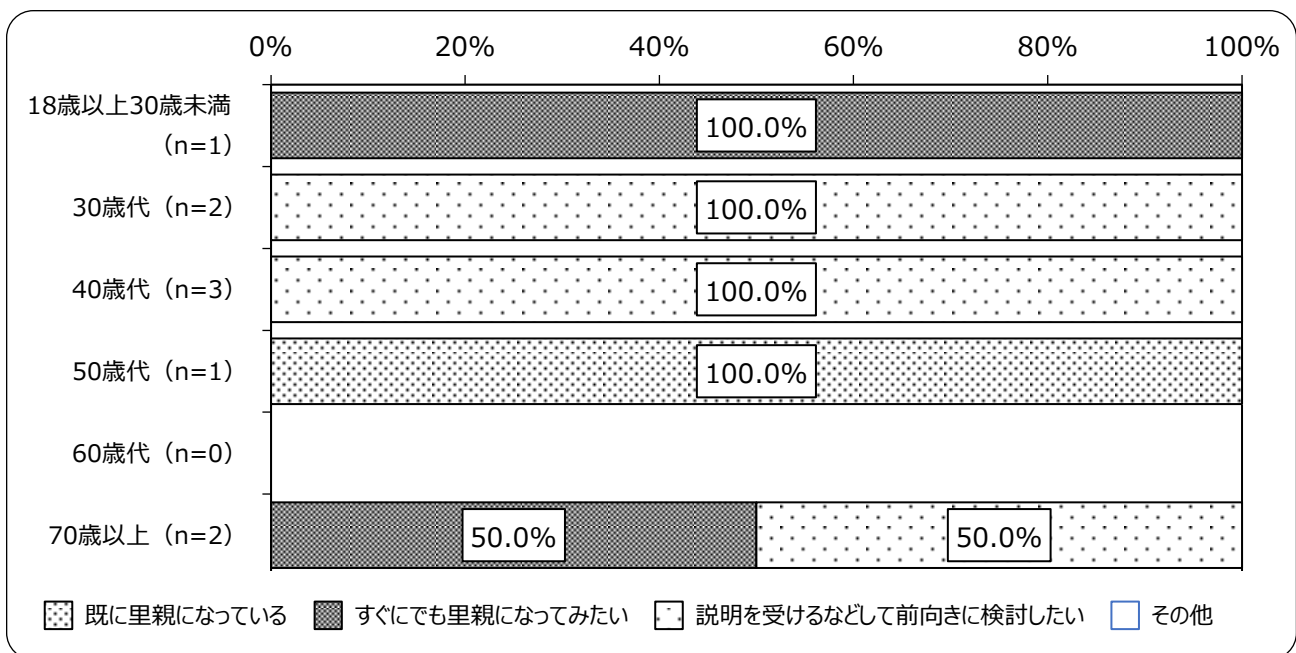
【1つ選択】

「すぐにでも里親になってみたい」「説明を受けるなどして前向きに検討したい」と回答した方の合計は88.9%であった。また、年齢層別の内訳は40歳代が最も多かった。

	選択項目 (n=9)	回答数	構成比
1	既に里親になっている	1	11.1%
2	すぐにでも里親になってみたい	2	22.2%
3	説明を受けるなどして前向きに検討したい	6	66.7%
4	その他	0	0.0%
	計 (回答総数)	9	100.0%



《年齢層別》



問28 問26で「2里親になりたいと思うが難しいと思う」と回答された方に伺います。

難しいと感じる理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

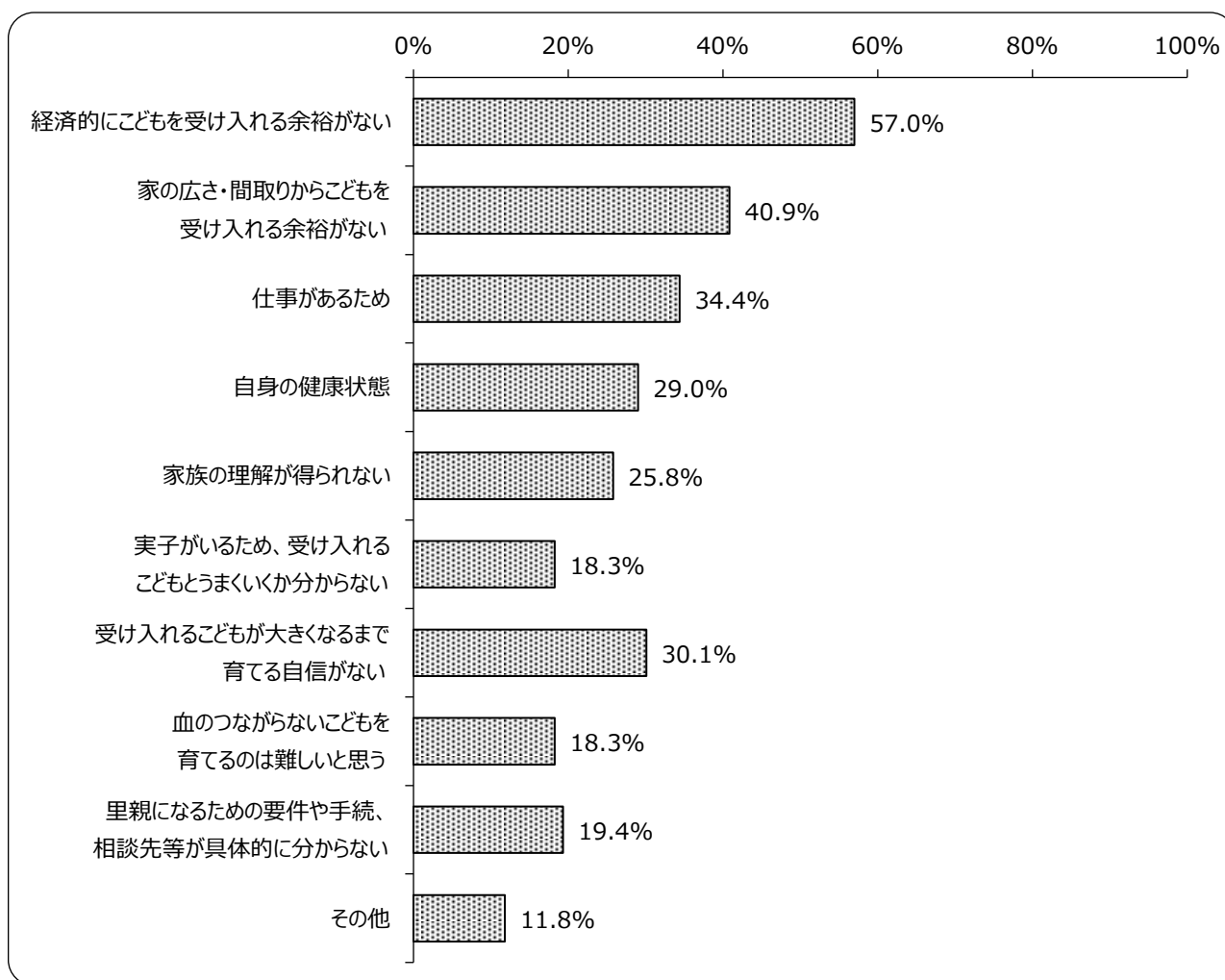
「経済的に子どもを受け入れる余裕がない」と回答した方が57.0%と最も多かった。

	選択項目 (n=93)	回答数	回答数/n
1	経済的に子どもを受け入れる余裕がない	53	57.0%
2	家の広さ・間取りから子どもを受け入れる余裕がない	38	40.9%
3	仕事があるため	32	34.4%
4	自身の健康状態	27	29.0%
5	家族の理解が得られない	24	25.8%
6	実子がいるため、受け入れることもうまくいか分らない	17	18.3%
7	受け入れる子どもが大きくなるまで育てる自信がない	28	30.1%
8	血のつながらない子どもを育てるのは難しいと思う	17	18.3%
9	里親になるための要件や手続、相談先等が具体的に分からない	18	19.4%
10	その他	11	11.8%

[10 その他]

【主な回答】

- 年齢
- 委託される子どもが家族になじめるか分からないため。
- 里親から聞く条件等が厳しく思えるため。
- 養育したい気持ちはあるが、覚悟ができていないため。
- 審査が厳しいため。
- 実子が幼いため。
- 親として未熟な部分があるため。
- 今は実子の子育てで精一杯であるため。



問29 問26で「3里親にはなれないが何か協力したい」と回答された方に伺います。

本市ではより多くの方に里親制度を御理解いただき、また、啓発活動に御協力いただきたいと思います。次のうち、どういった活動であれば、協力できると思いますか。

なお、回答された市政モニターの方に直接、協力を依頼するものではありません。【複数選択可：いくつでも】

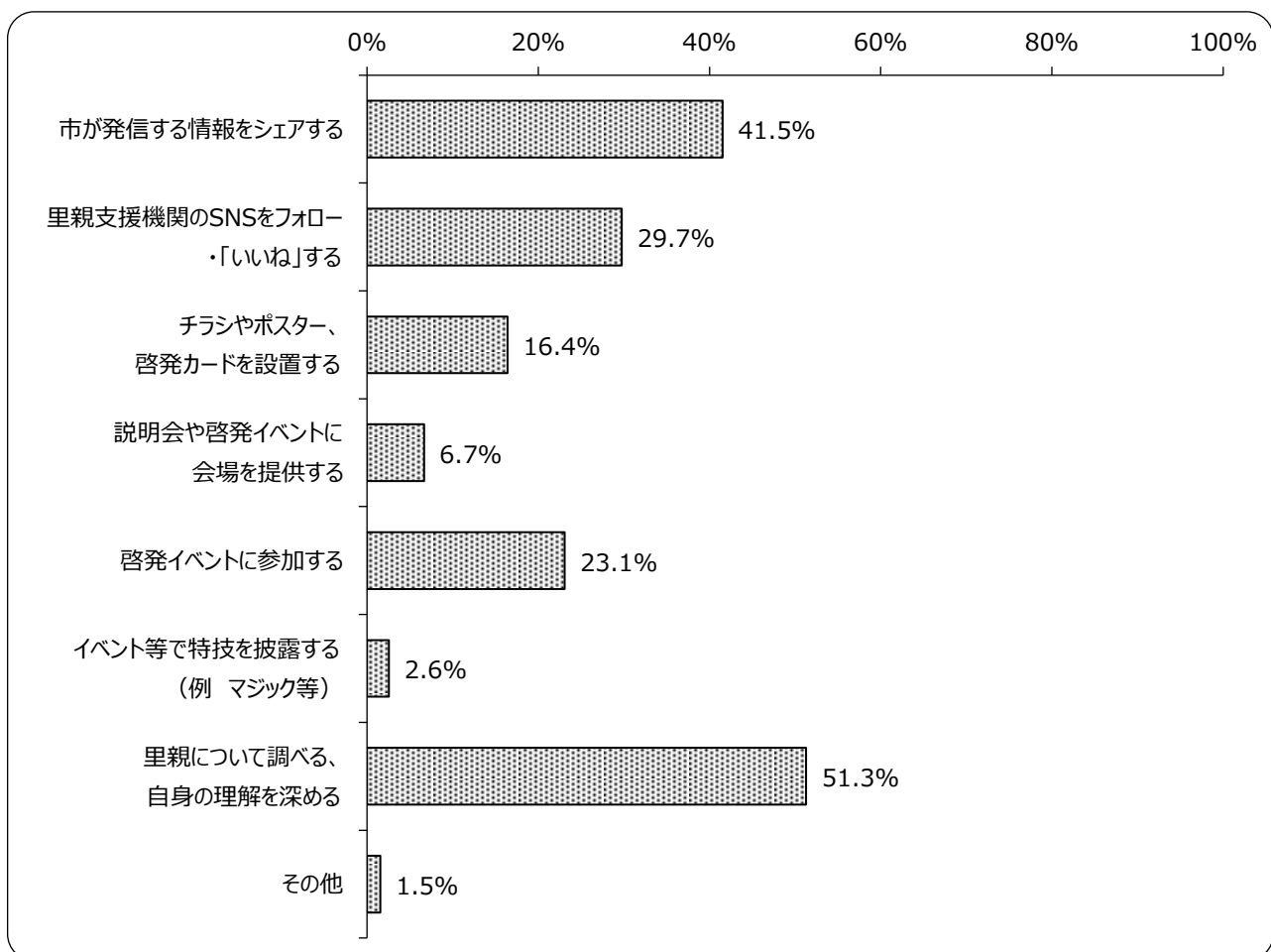
「里親について調べる、自身の理解を深める」と回答した方が51.3%と最も多く、次いで「市が発信する情報をシェアする」と回答した方が41.5%であった。

	選択項目 (n=195)	回答数	回答数/n
1	市が発信する情報をシェアする	81	41.5%
2	里親支援機関のSNSをフォロー・「いいね」する	58	29.7%
3	チラシやポスター、啓発カードを設置する	32	16.4%
4	説明会や啓発イベントに会場を提供する	13	6.7%
5	啓発イベントに参加する	45	23.1%
6	イベント等で特技を披露する(例 マジック等)	5	2.6%
7	里親について調べる、自身の理解を深める	100	51.3%
8	その他	3	1.5%

[8 その他]

【主な回答】

- サイズが合わなくなった服等の提供
- 寄附金



4. 上下水道局の取組

調査結果の概要

テーマ	上下水道局の取組
担当課	上下水道局 経営企画室 危機管理・広報広聴担当
設問数	15 問
趣旨・目的	<p>上下水道局では、令和 5 年 2 月に、取り組むべき具体的施策や事業及びそれらのゴールを取りまとめた「堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030」を策定し、効果的・効率的で、利用者に信頼される事業運営をめざしています。</p> <p>今回のアンケートは、上下水道事業に関する認知度や満足度を確認し、今後の事業等に反映させるため実施するものです。</p>
調査結果	各設問のページを御覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	<ul style="list-style-type: none">・問 31 では、水道水の安全性に関して「安心している」「どちらかといえば安心している」と回答した方の合計が 87.1%で、令和 6 年度と比較して 8.7 ポイント増加しました。・問 33 では、飲料水を 7 日以上備蓄していると回答した方が 13.2%に留まり、令和 6 年度から 11.8 ポイントと大幅に減少しました。一方で「備蓄をしていない」と回答した割合が 20.9%と、令和 6 年度から 6.4 ポイント増加しています。・問 41 では、局が発信する情報のうち特に知りたい内容として「水道・下水道の老朽化対策」が最も多い結果となりました。 <p>以上の結果から、市民意識の変化や情報ニーズに応じて、上下水道の安全・安心や災害への備え、今後の事業運営の課題等に関して、広報紙や SNS 等の媒体を用いて効果的で分かりやすい情報発信に取り組みます。</p>

(1) 水道水の飲み方

問30. 水道水をどのようにして飲んでいますか。

【1つ選択】

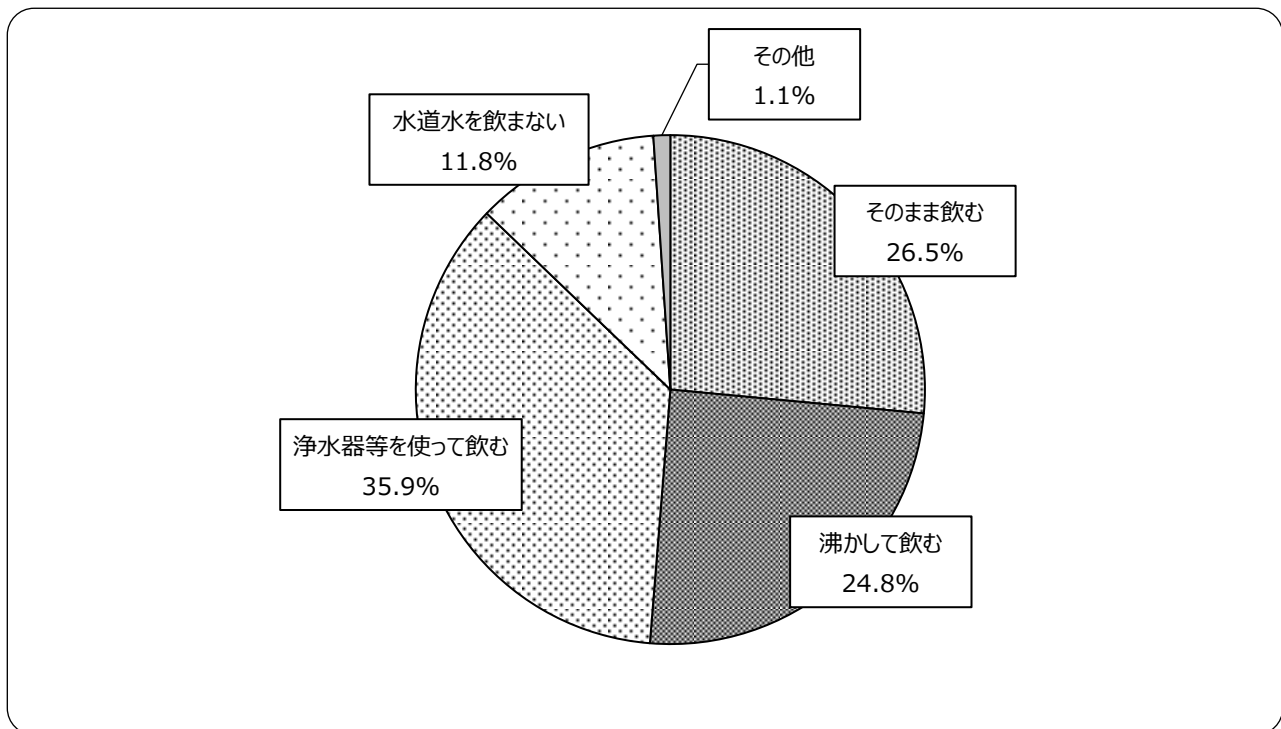
「そのまま飲む」と回答した方は26.5%で令和6年度より2.6ポイント減少、「沸かして飲む」は24.8%で2.6ポイント減少、「浄水器等を使って飲む」は35.9%で7.1ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	そのまま飲む	124	26.5%
2	沸かして飲む	116	24.8%
3	浄水器等を使って飲む	168	35.9%
4	水道水を飲まない	55	11.8%
5	その他	5	1.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 沸かしてお茶にして飲む
- 浄水器を使って、更に沸かして飲む
- 浄水器を使った水を沸騰させ、お茶にして飲む



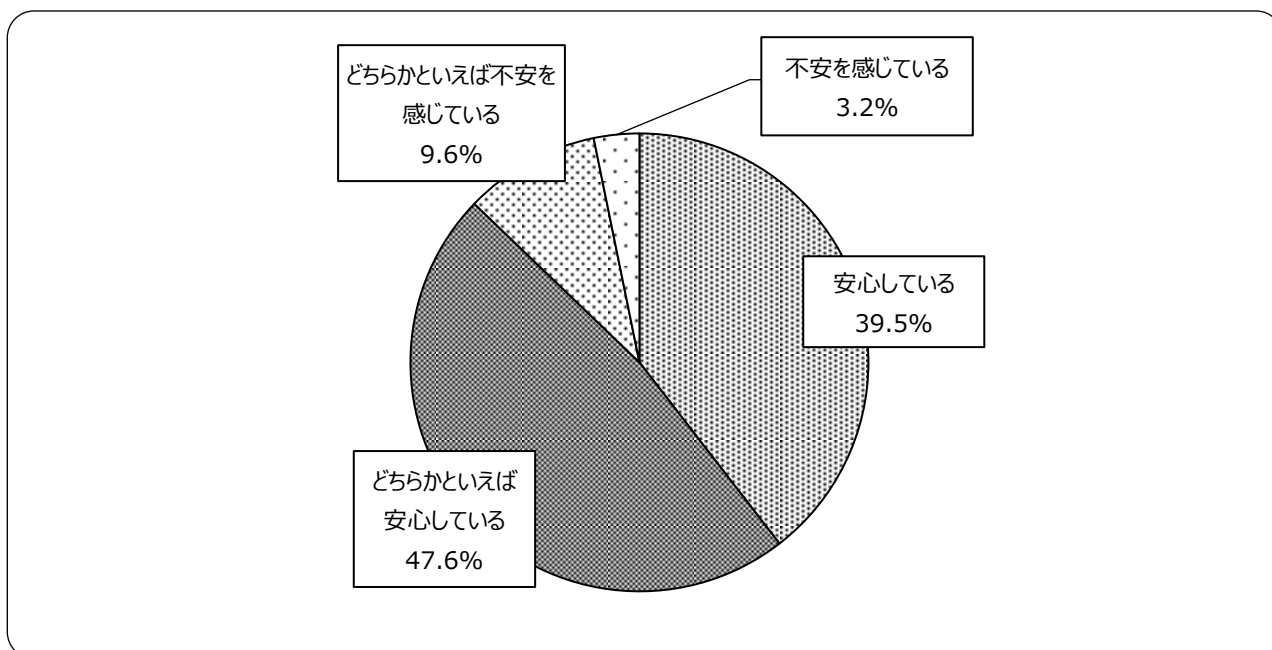
(2) 水道水の安全性

問31. 本市の水道水の安全性を日頃からどのように感じていますか。

【1つ選択】

「安心している」「どちらかといえば安心している」と回答した割合が87.1%で、令和6年度と比較して8.7ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	安心している	185	39.5%
2	どちらかといえば安心している	223	47.6%
3	どちらかといえば不安を感じている	45	9.6%
4	不安を感じている	15	3.2%
	計 (回答総数)	468	100.0%



(3) 水道水への不満

問32. 本市の水道水で、日頃から気になったり、不満に感じていることはありますか。 【複数選択可：いくつでも】

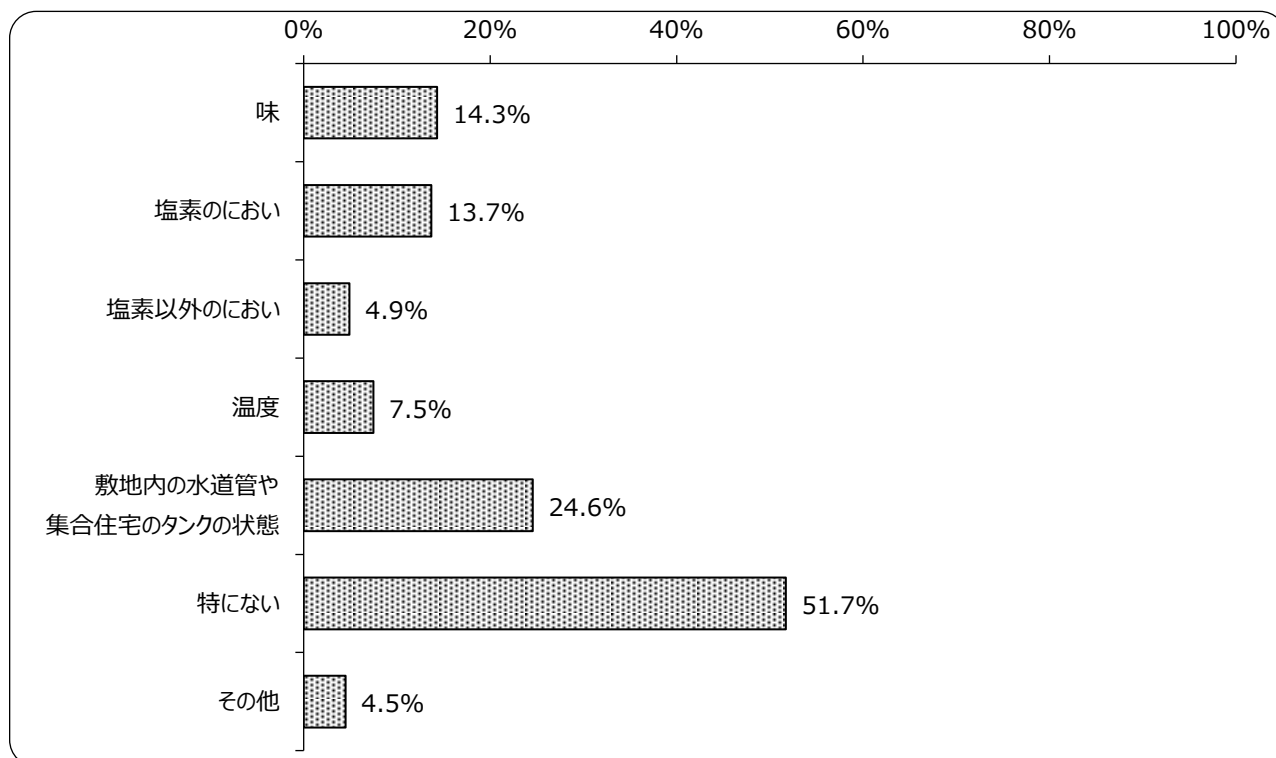
「特にない」と回答した方は51.7%であり、令和6年度から3.4ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	味	67	14.3%
2	塩素のにおい	64	13.7%
3	塩素以外のにおい	23	4.9%
4	温度	35	7.5%
5	敷地内の水道管や集合住宅のタンクの状態	115	24.6%
6	特にない	242	51.7%
7	その他	21	4.5%

[7 その他]

【主な回答】

- 水道水に PFOS・PFOA・PFAS（有機フッ素化合物）等の有害物質が含まれていないか
- 水道水に含まれる H₂O 以外の物質（塩素、サビ、ゴミ、マイクロプラスチック等）
- 水道管の老朽化
- 水道料金が課税対象であること
- 料金が安い
- レンジで温めると塩素臭がする
- 夏は湯のようになり赤い色がついていることがある
- 水道配管のほぼ末端と思うため、配水場から自宅までの水道管の安全性
- 時期により下水のにおいが混じりまじりを感じる



(4) 家庭での備蓄状況

問33. 地震等の災害発生に備え、ご家庭で次の物資等を備蓄していますか。

【飲料水の備蓄目安】

3リットル×3日分×世帯人数

例) 2人世帯の場合 18リットル (3リットル×3日分×2人)

【携帯トイレの備蓄目安】

5回分×3日分×世帯人数

例) 2人世帯の場合 30回分 (5回分×3日分×2人)

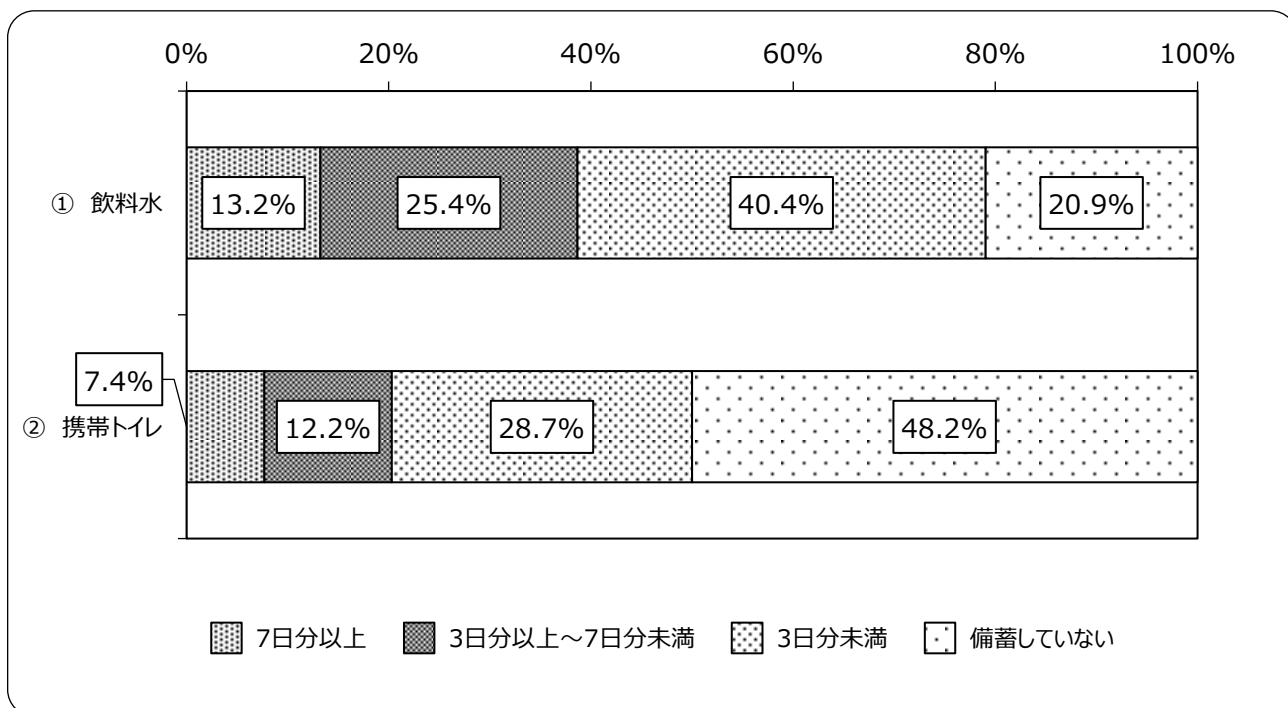
【各項目:1つ選択】

飲料水の備蓄を「7日分以上」と回答した方は13.2%であり、令和6年度から11.8ポイント減少した。一方で「備蓄をしていない」と回答した割合が20.9%と、令和6年度から6.4ポイント増加した。

選択項目 (n=468)	7日分以上	3日分以上～7日分未満	3日分未満	備蓄していない	合計
① 飲料水	62 13.2%	119 25.4%	189 40.4%	98 20.9%	468 100.0%
② 携帯トイレ	36 7.4%	59 12.2%	139 28.7%	234 48.2%	485 100.0%

上段：回答数

下段：構成比

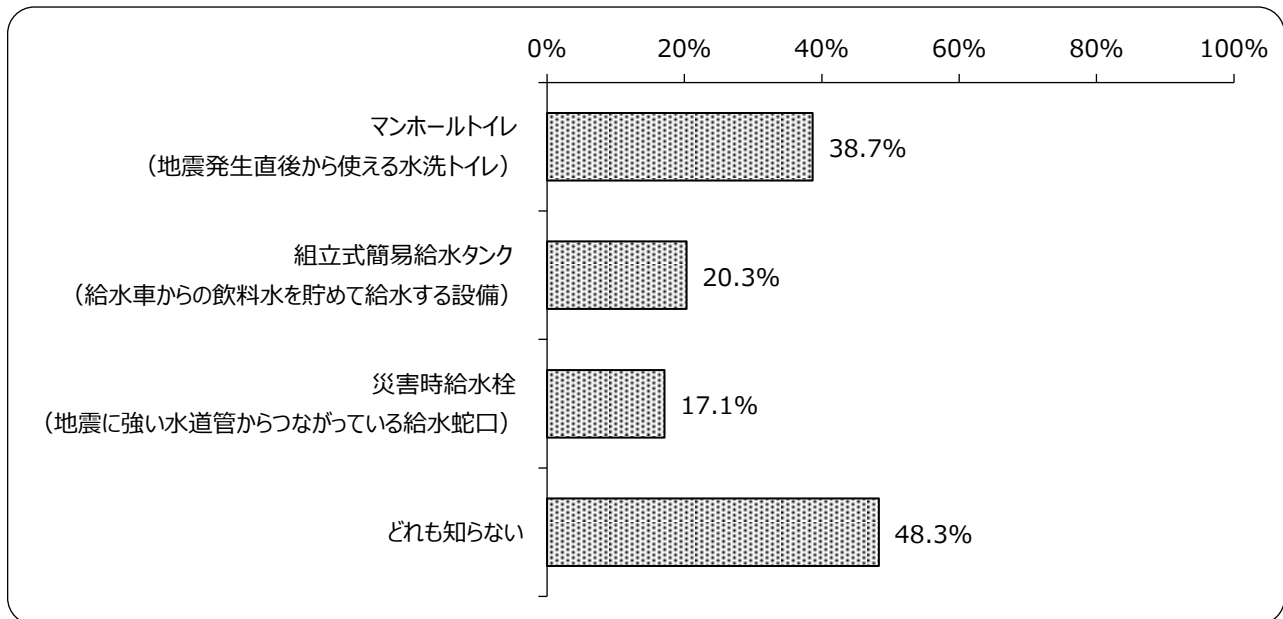


(5) 災害・地震対策

問34. 1から3の項目は、上下水道局が地震等の災害対策として、指定避難所となる市内全ての小学校に設置している設備です。これらの設備で知っているものを選んでください。【複数選択可：いくつでも】

「どれも知らない」と回答した方は48.3%であり、令和6年度から0.2ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	マンホールトイレ (地震発生直後から使える水洗トイレ)	181	38.7%
2	組立式簡易給水タンク (給水車からの飲料水を貯めて給水する設備)	95	20.3%
3	災害時給水栓 (地震に強い水道管からつながっている給水蛇口)	80	17.1%
4	どれも知らない	226	48.3%

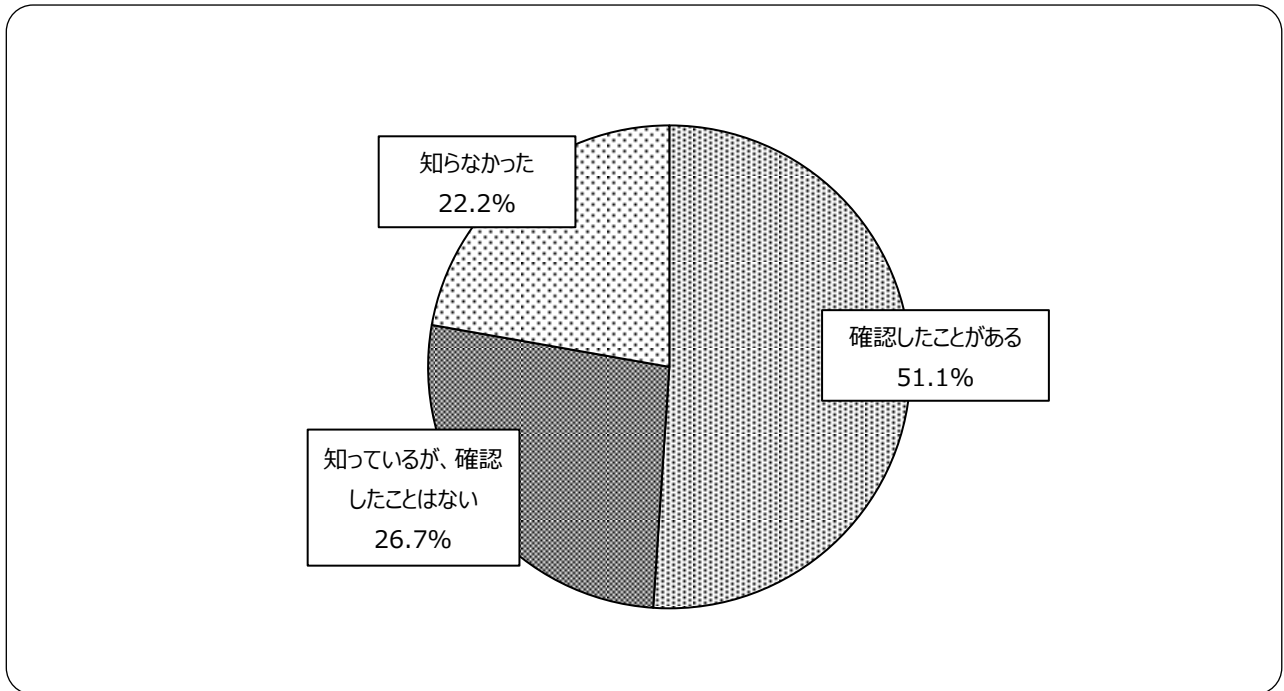


(6) 内水ハザードマップ

問35. 本市では、大雨が降った時に避難等の参考にしていただくために浸水しやすい場所を地図上に示した内水ハザードマップを作成しています。これを確認したことがありますか。 【1つ選択】

「知っているが、確認したことはない」「知らなかった」と回答した方の合計は48.9%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	確認したことがある	239	51.1%
2	知っているが、確認したことはない	125	26.7%
3	知らなかった	104	22.2%
	計 (回答総数)	468	100.0%



(7) 下水道の使い方

問36. 下水道を使用するに当たって、どのようなことに気をつけていますか。

【複数選択可：いくつでも】

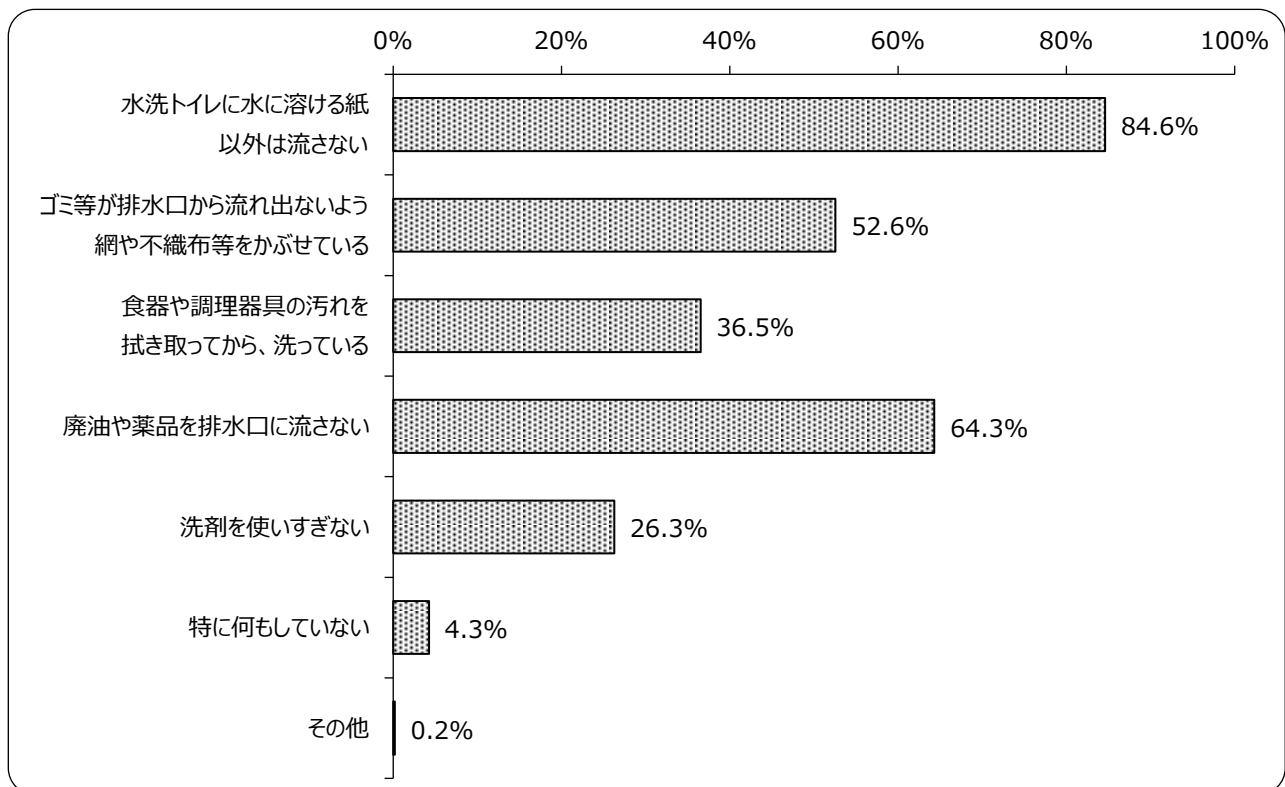
「廃油や薬品を排水口に流さない」と回答した方は64.3%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	水洗トイレに水に溶ける紙以外は流さない	396	84.6%
2	ゴミ等が排水口から流れ出ないように網や不織布等をかぶせている	246	52.6%
3	食器や調理器具の汚れを拭き取ってから、洗っている	171	36.5%
4	廃油や薬品を排水口に流さない	301	64.3%
5	洗剤を使いすぎない	123	26.3%
6	特に何もしていない	20	4.3%
7	その他	1	0.2%

[7 その他]

【主な回答】

- こまめに清掃すること、使用後は、多めのきれいな水で流すこと

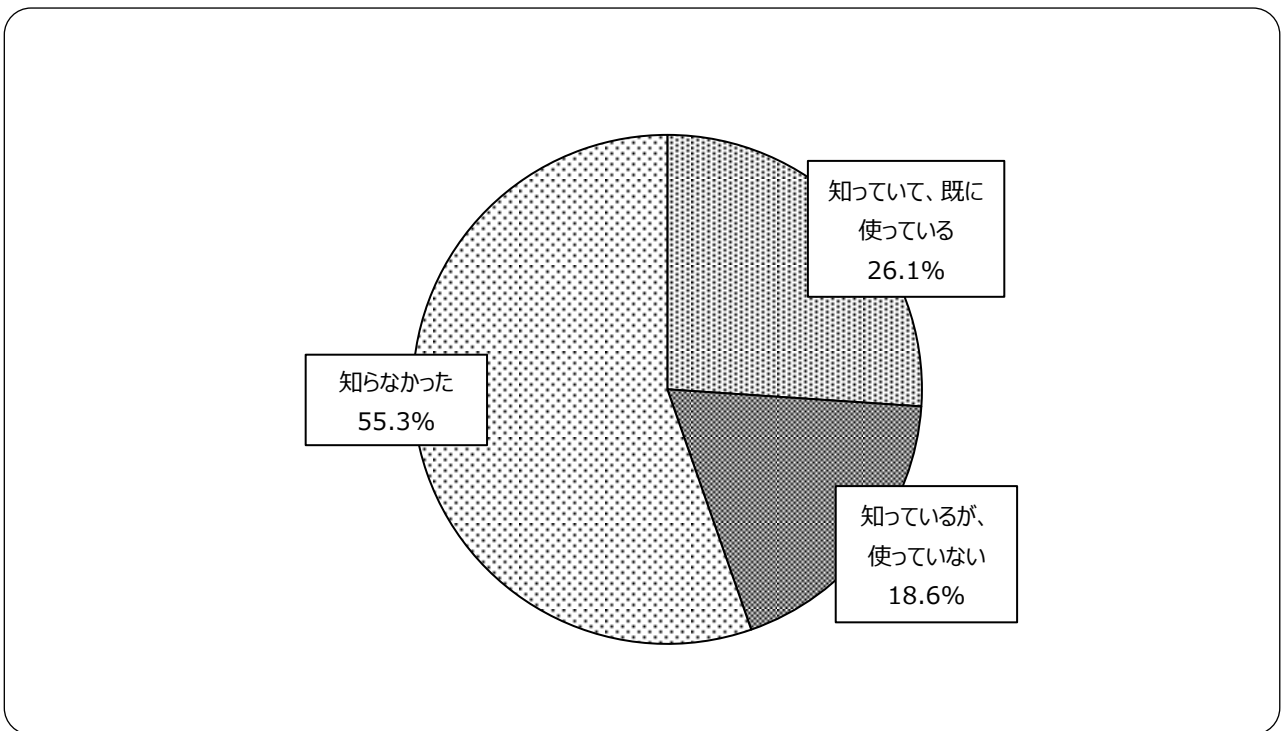


(8) 上下水道局スマホアプリ「すいりん」

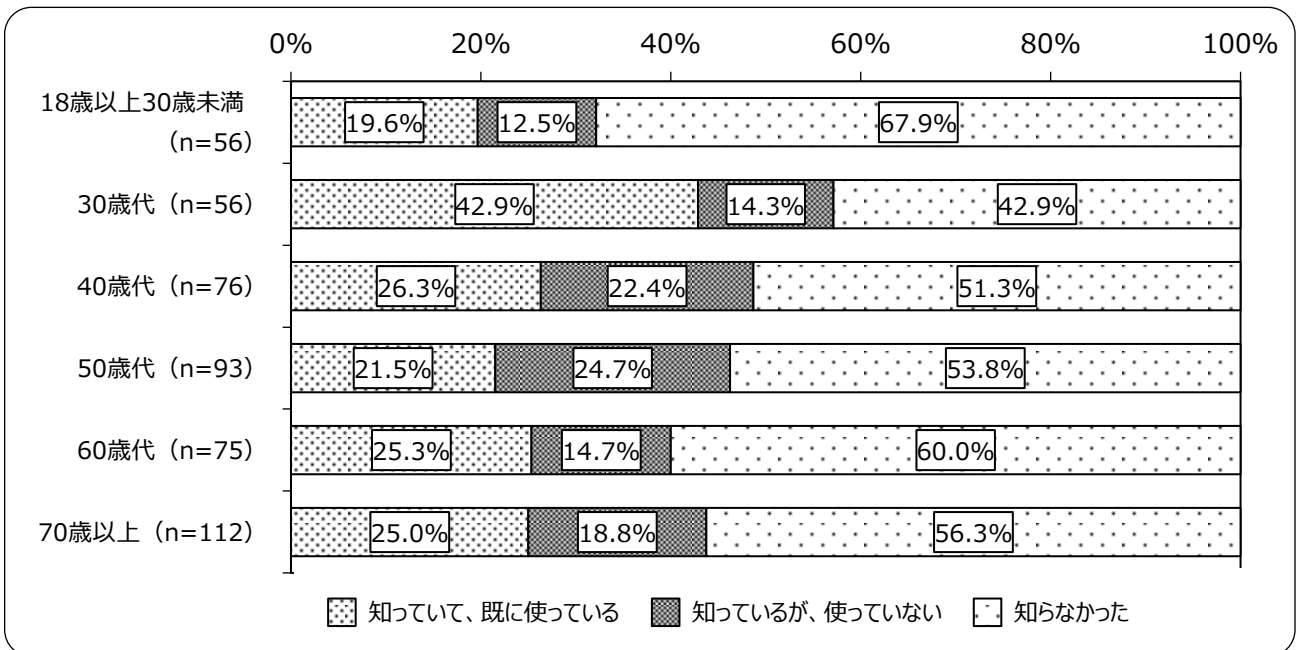
問37. 上下水道局スマートフォンアプリ「すいりん」は、過去2年分の水量や水道料金等の確認、ペーパーレス決済、クレジット決済の申込みができる便利なアプリです。「すいりん」を知っていますか。 【1つ選択】

「知っているが、使っていない」「知らなかった」と回答した方の合計は73.9%であり、令和6年度から2.5ポイント増加した。また、「知っているが、使っていない」と回答した方の年齢層別の内訳は50歳代が最も多かった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている、既に使っている	122	26.1%
2	知っているが、使っていない	87	18.6%
3	知らなかった	259	55.3%
	計 (回答総数)	468	100.0%



《年齢層別》



問38. 問37で「2知っているが、使っていない」と回答された方に伺います。

上下水道局スマートフォンアプリ「すいりん」を使っていない理由は何ですか。 【複数選択可：いくつでも】

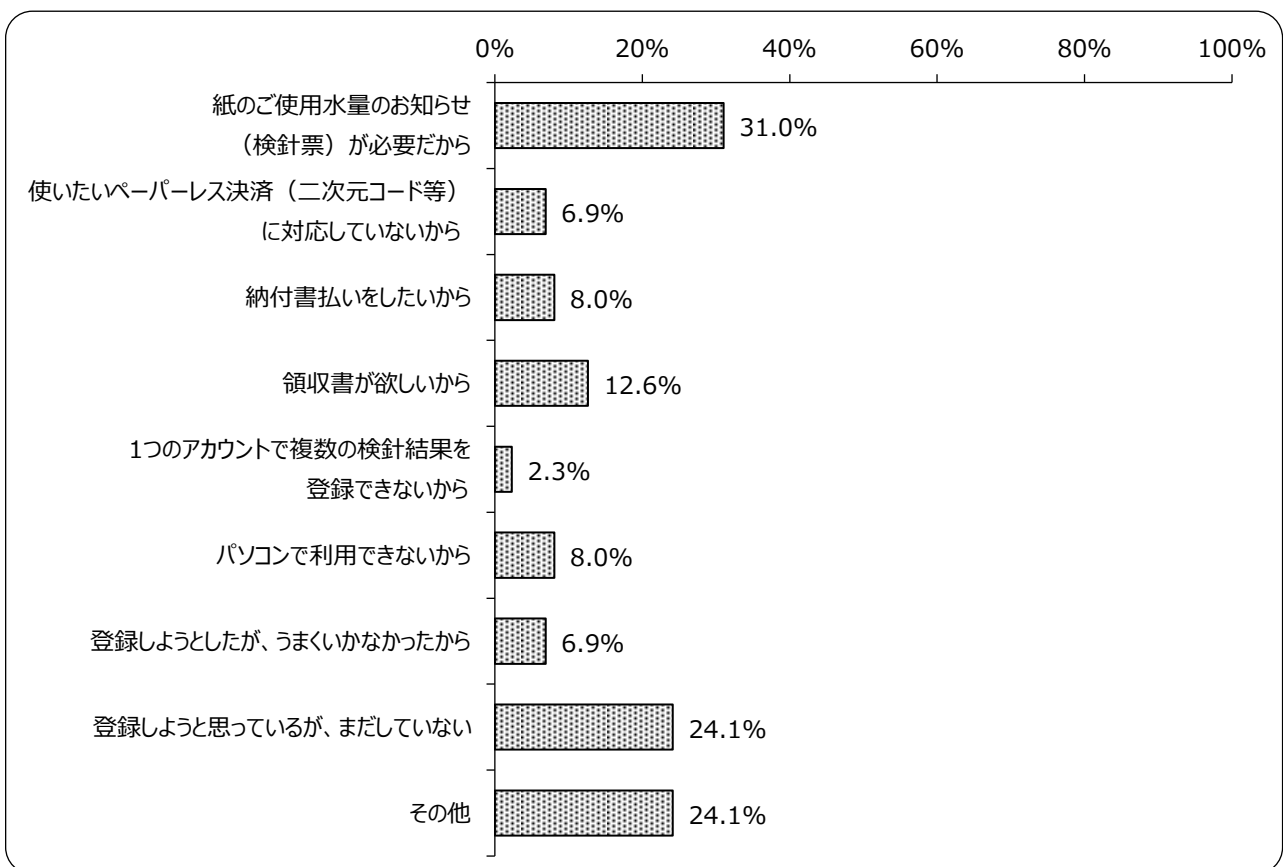
「紙のご使用水量のお知らせ（検針票）が必要だから」と回答した方は31.0%であり、令和6年度から12.6ポイント減少した。

	選択項目 (n=87)	回答数	回答数/n
1	紙のご使用水量のお知らせ（検針票）が必要だから	27	31.0%
2	使いたいペーパーレス決済（二次元コード等）に対応していないから	6	6.9%
3	納付書払いをしたいから	7	8.0%
4	領収書が欲しいから	11	12.6%
5	1つのアカウントで複数の検針結果を登録できないから	2	2.3%
6	パソコンで利用できないから	7	8.0%
7	登録しようとしたが、うまくいかなかったから	6	6.9%
8	登録しようと思っているが、まだしていない	21	24.1%
9	その他	21	24.1%

[9 その他]

【主な回答】

- 自分以外が料金管理・支払をしているため。
- アプリの必要性・メリットを感じないため。
- アプリの存在や機能を十分に知らないため。
- スマホの容量不足・アプリを増やしたくないため。
- セキュリティへの不安のため。

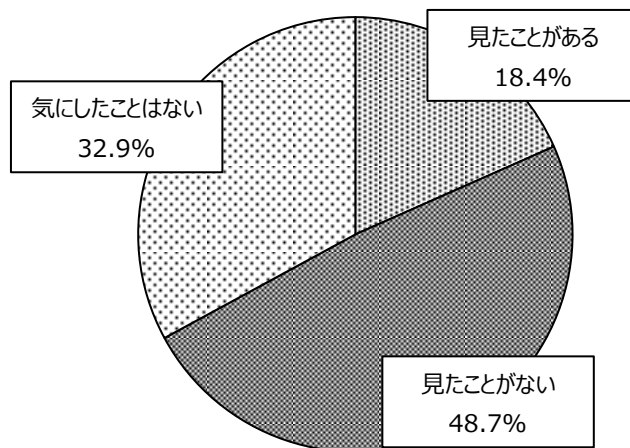


(9) 上下水道局の情報発信

問39. 上下水道局では、上下水道事業の取組のほか、事故や災害時の緊急情報（断水の発生、給水拠点の場所、大雨情報）等を情報発信しています。上下水道局から発信している情報をご覧になったことはありますか。
【1つ選択】

「見たことがない」「気にしたことはない」と回答した方の合計は81.6%であり、令和6年度から0.9ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	見たことがある	86	18.4%
2	見たことがない	228	48.7%
3	気にしたことはない	154	32.9%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問40. 問39で「1見たことがある」と回答された方に伺います。

どの広報媒体や機会から上下水道局からの情報を得ましたか。

【複数選択可：いくつでも】

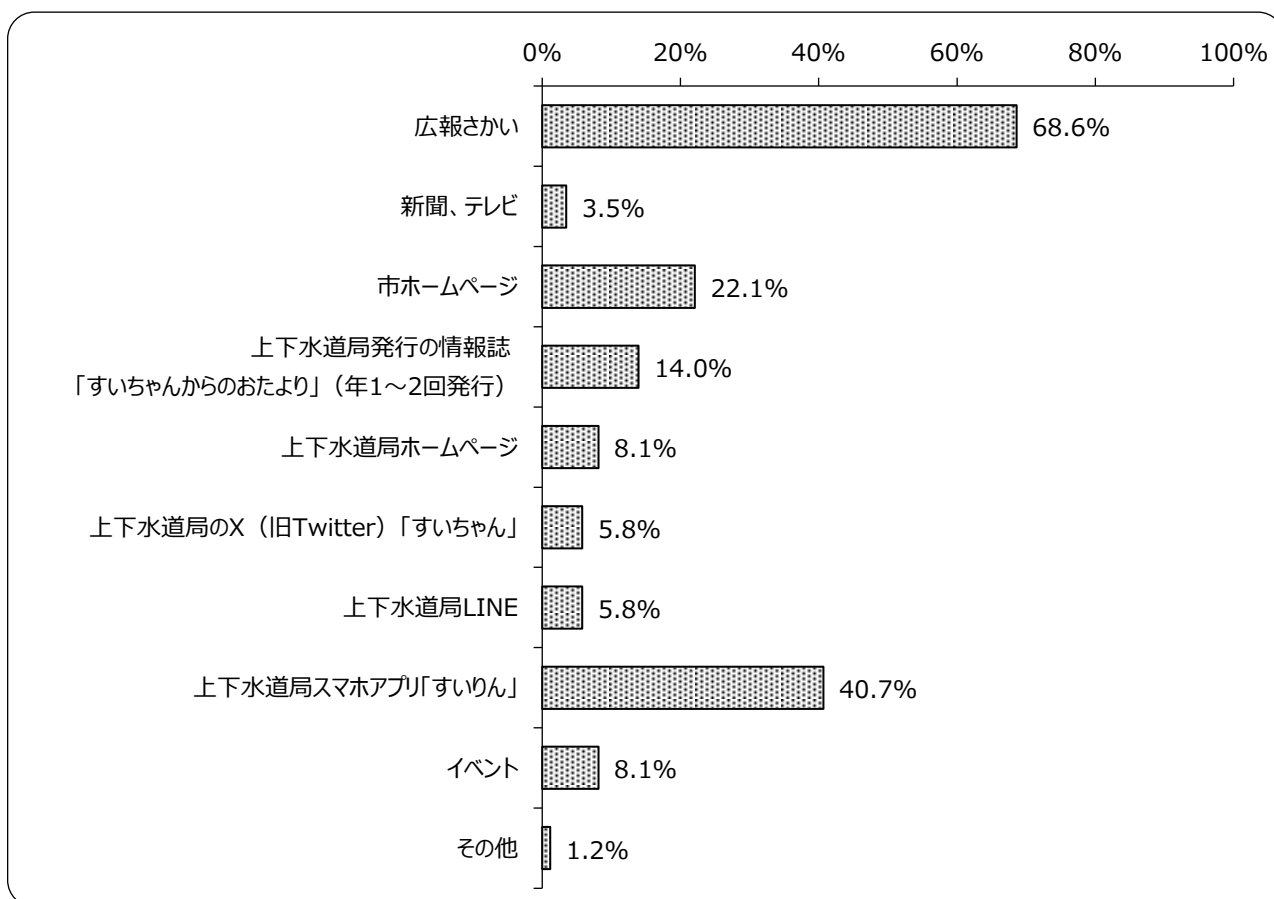
「広報さかい」と回答した方は68.6%で最も多く、次いで「市ホームページ」と回答した方は22.1%であった。

	選択項目 (n=86)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	59	68.6%
2	新聞、テレビ	3	3.5%
3	市ホームページ	19	22.1%
4	上下水道局発行の情報誌「すいちゃんからのおたより」(年1~2回発行)	12	14.0%
5	上下水道局ホームページ	7	8.1%
6	上下水道局のX(旧Twitter)「すいちゃん」	5	5.8%
7	上下水道局LINE	5	5.8%
8	上下水道局スマホアプリ「すいりん」	35	40.7%
9	イベント	7	8.1%
10	その他	1	1.2%

[10 その他]

【主な回答】

- メール



問41. 上下水道局から発信する情報で、特に知りたい内容は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

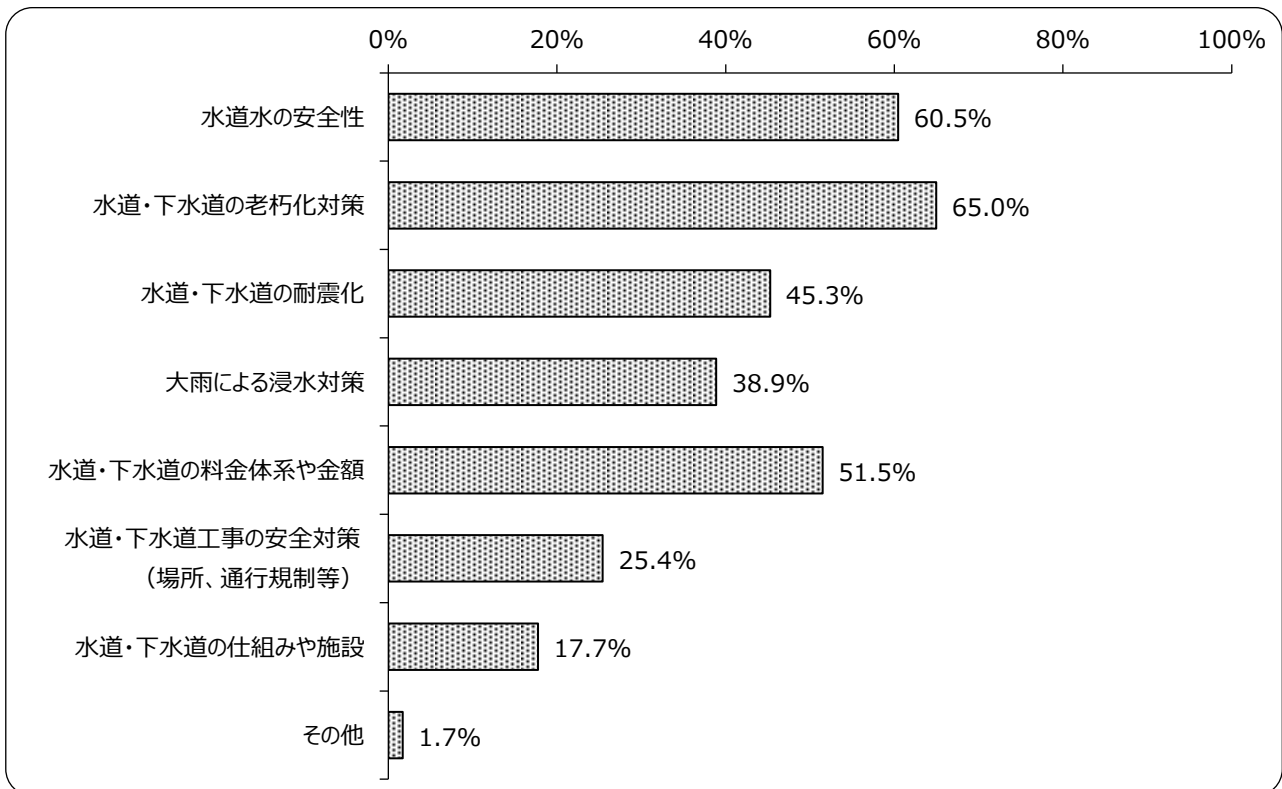
「水道・下水道の老朽化対策」と回答した方が65.0%と最も多く、次いで「水道水の安全性」と回答した方が60.5%、「水道・下水道の料金体系や金額」と回答した方が51.5%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	水道水の安全性	283	60.5%
2	水道・下水道の老朽化対策	304	65.0%
3	水道・下水道の耐震化	212	45.3%
4	大雨による浸水対策	182	38.9%
5	水道・下水道の料金体系や金額	241	51.5%
6	水道・下水道工事の安全対策 (場所、通行規制等)	119	25.4%
7	水道・下水道の仕組みや施設	83	17.7%
8	その他	8	1.7%

[8 その他]

【主な回答】

- 大口径の上下水道管の敷設位置
- 水道局開催のイベント情報
- 断水状況
- PFAS の検査の有無と検査結果
- 堺市の自前の水があるのかどうか
- すいりん上での水道料金収納システムの支払方法を多様化してほしい



(10) 料金

問42. 上下水道事業は皆様からの料金等で運営していますが、今後の料金の在り方について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。 【1つ選択】

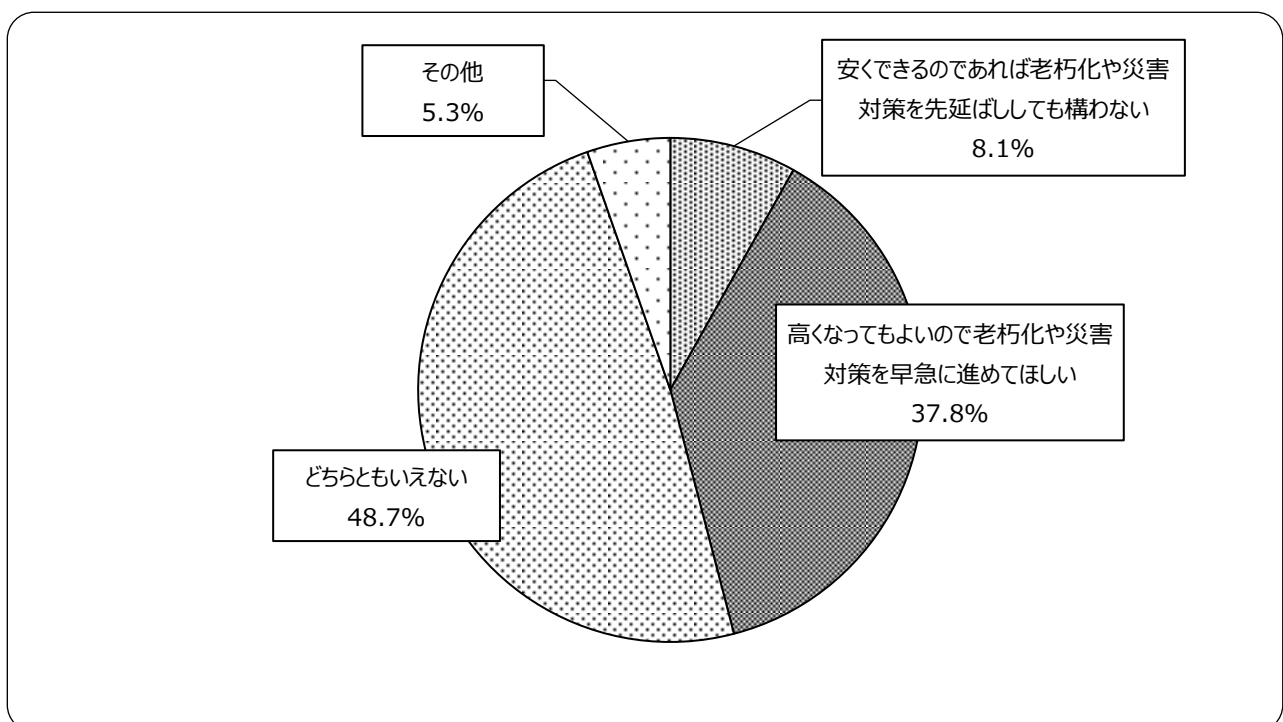
「高くなってもよいので老朽化や災害対策を早急に進めてほしい」と回答した方は37.8%であった。一方で48.7%の方は「どちらともいえない」という回答であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	安くできるのであれば老朽化や災害対策を先延ばししても構わない	38	8.1%
2	高くなってもよいので老朽化や災害対策を早急に進めてほしい	177	37.8%
3	どちらともいえない	228	48.7%
4	その他	25	5.3%
	計 (回答総数)	468	100.0%

[8 その他]

【主な回答】

- 水道料金・下水道料金を安くしてほしい
- 老朽化対策を行いつつ、水道料金を安くしてほしい
- 料金と老朽化・災害対策、どちらのバランスもとれた案を実施してほしい
- 料金は据置きで、老朽化対策や防災を進めてほしい
- 無駄な支出を減らし、余剰を緊急的な対策費として使用してほしい
- 上水料金と下水料金を分けてほしい
- 私道に対するの対策
- 安全で安心な供給が大事である
- 料金の精査と老朽化・災害対策、どちらも必要だが適度実施してほしい
- 料金構造と市の予算・計画を開示してほしい



(11) 上下水道局のサービス

問43. 上下水道局が実施している事業やサービスについて、満足度をお答えください。

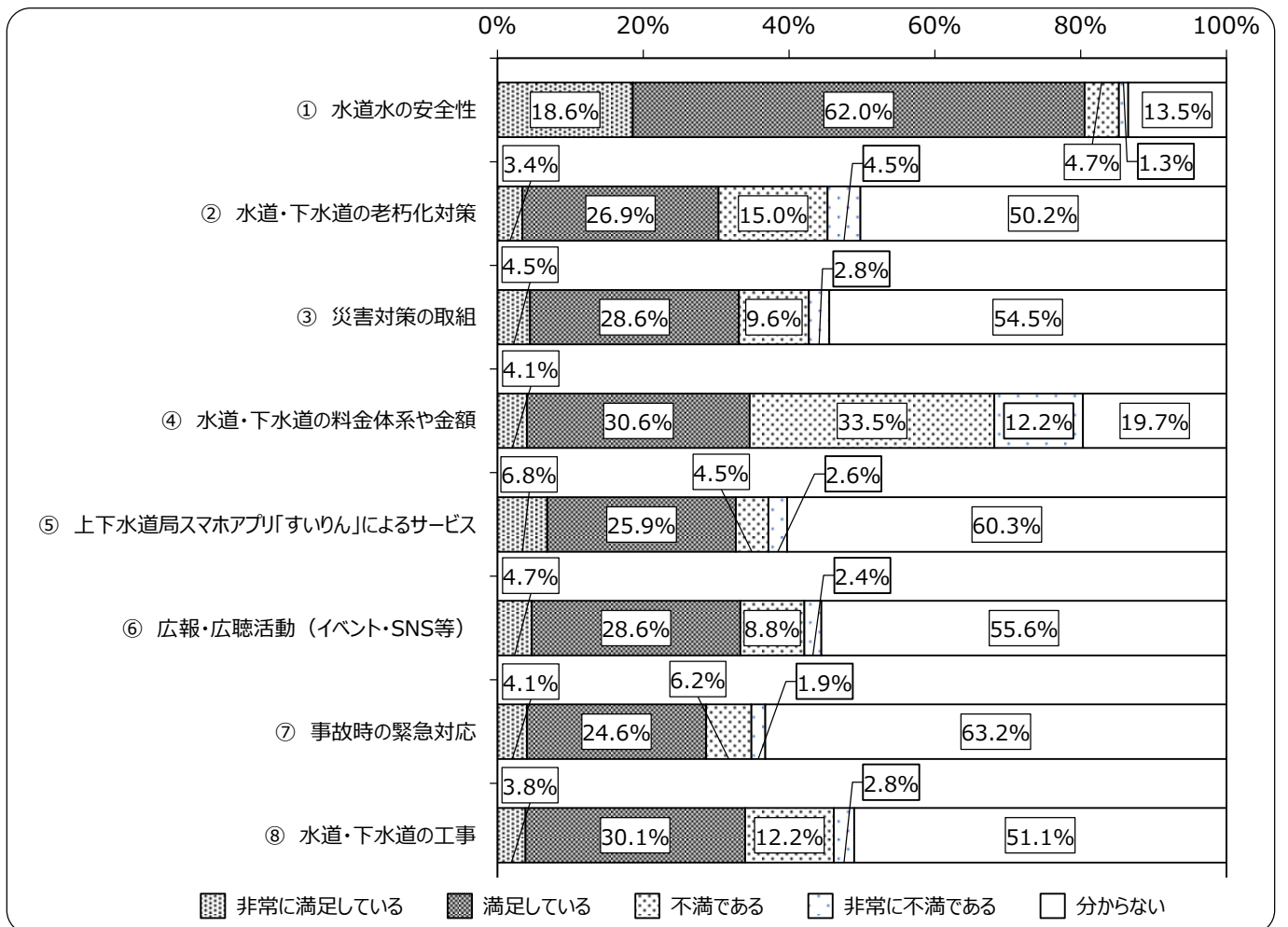
【各項目:1つ選択】

「①水道水の安全性」は80.6%の方が「非常に満足している」「満足している」と回答した。一方で「④水道・下水道の料金体系や金額」は45.7%の方が「不満である」又は「非常に不満である」と回答した。

選択項目 (n=468)	非常に満足している	満足している	不満である	非常に不満である	分からない	合計
① 水道水の安全性	87 18.6%	290 62.0%	22 4.7%	6 1.3%	63 13.5%	468 100.0%
② 水道・下水道の老朽化対策	16 3.4%	126 26.9%	70 15.0%	21 4.5%	235 50.2%	468 100.0%
③ 災害対策の取組 (断水時の応急給水・耐震化や浸水を防ぐ取組等)	21 4.5%	134 28.6%	45 9.6%	13 2.8%	255 54.5%	468 100.0%
④ 水道・下水道の料金体系や金額	19 4.1%	143 30.6%	157 33.5%	57 12.2%	92 19.7%	468 100.0%
⑤ 上下水道局スマホアプリ「すいりん」によるサービス	32 6.8%	121 25.9%	21 4.5%	12 2.6%	282 60.3%	468 100.0%
⑥ 広報・広聴活動 (イベント・SNS等)	22 4.7%	134 28.6%	41 8.8%	11 2.4%	260 55.6%	468 100.0%
⑦ 事故時の緊急対応	19 4.1%	115 24.6%	29 6.2%	9 1.9%	296 63.2%	468 100.0%
⑧ 水道・下水道の工事	18 3.8%	141 30.1%	57 12.2%	13 2.8%	239 51.1%	468 100.0%

上段：回答数

下段：構成比



問44. 上下水道局が実施している事業やサービスについて、問43の①から⑧の項目以外に満足していると感じるものがあれば、ご記入ください。 **【自由記述】**

- ・安全できれいな水が供給されていること
- ・断水等がなく、安定して水道水が供給されていること
- ・水道料金が安価なこと
- ・職員・検針担当者の対応が誠実であること
- ・漏水対応が迅速なこと
- ・三宝水再生センターあじさい一般公開や、上下水道まなび隊等のイベント
- ・三宝水再生センターの施設見学
- ・アンケートにより、市民の意見を広く聞こうとする姿勢
- ・水道・下水道の工事通知や、「すいりん」を活用した局事業の紹介等の広報活動
- ・すいちゃんがかわいい
- ・請求額の確定時にすいりんでも通知してくれること

5. 広聴活動

調査結果の概要

テーマ	広聴活動
担当課	政策局 広報戦略部 市政情報課
設問数	5 問
趣旨・目的	<p>本市では、市民ニーズを的確に把握し、市民と市との信頼関係を構築することや市民の市政参加を促し、協働社会の実現をめざすため、様々な広聴活動に取り組んでいます。</p> <p>今回のアンケートは、本市の広聴活動に対する市民の皆様の意識や意見を調査し、今後の広聴活動の充実に活用するものです。</p>
調査結果	各設問のページを御覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	<ul style="list-style-type: none">・問 46 では、パブリックコメント制度を知っていると回答した方が 40.6%であり、令和 6 年度から 13.2 ポイント減少しました。パブリックコメント制度の認知度が低下している状況を踏まえ、広報さかいへの継続的な掲載に加え、市政モニターアンケート用封筒等への制度概要の掲載を引き続き実施するなど、周知の充実を図り、制度の認知度向上に取り組めます。・問 49 では、市民の声 Q&A で公開している市の考え方を「よく理解できた」「理解できた」と回答した方の合計が 93.3%であり、令和 6 年度から 13.8 ポイント増加しました。市民の声 Q&A で公開している市の考え方について、「よく理解できた」「理解できた」と回答した方の割合が増加していることから、引き続き、市民の皆様にとって理解しやすい文章となるよう研修等を通じて案件担当課に周知します。

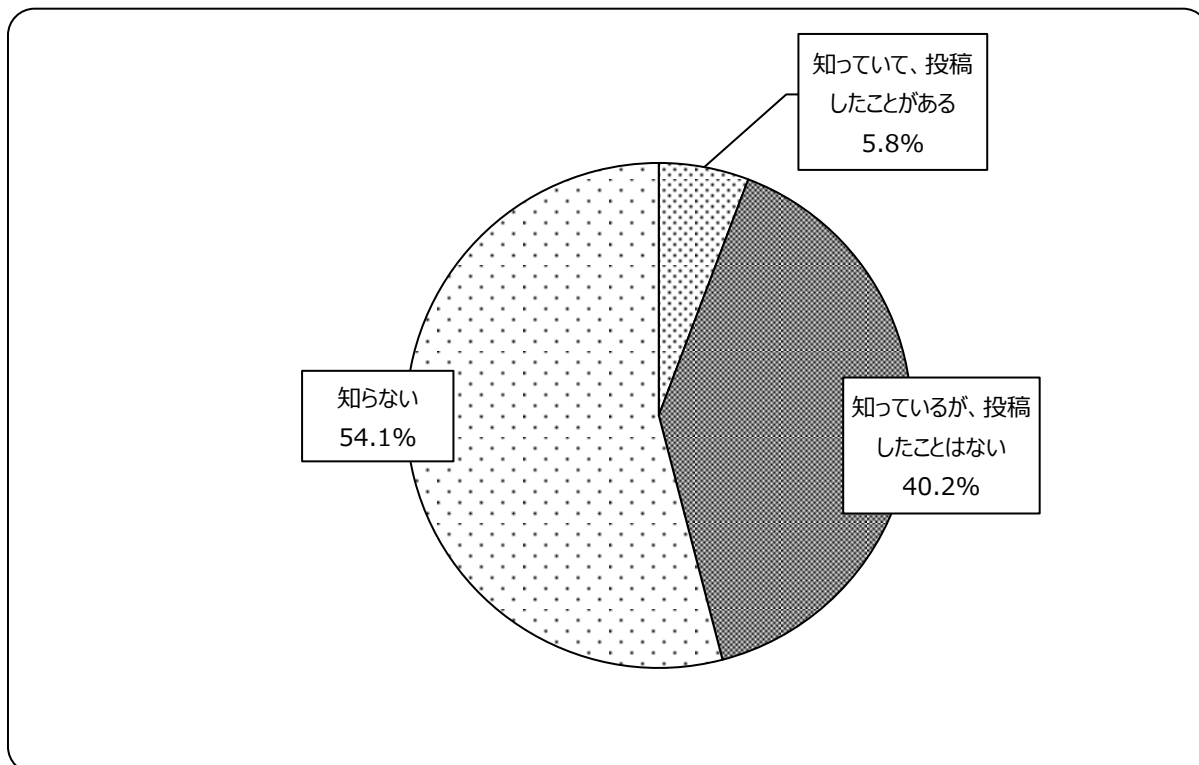
(1) 広聴

問45. 本市では、市政に関する提案等を募集するために、「市政への提案箱」専用ポストを区役所や図書館等の市施設30か所に設置したり、市ホームページに提案フォームを掲載していますが、そのことを知っていますか。

【1つ選択】

「知っていて、投稿したことがある」と回答した方は 5.8%であり、令和 6 年度から 0.5 ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っていて、投稿したことがある	27	5.8%
2	知っているが、投稿したことはない	188	40.2%
3	知らない	253	54.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%

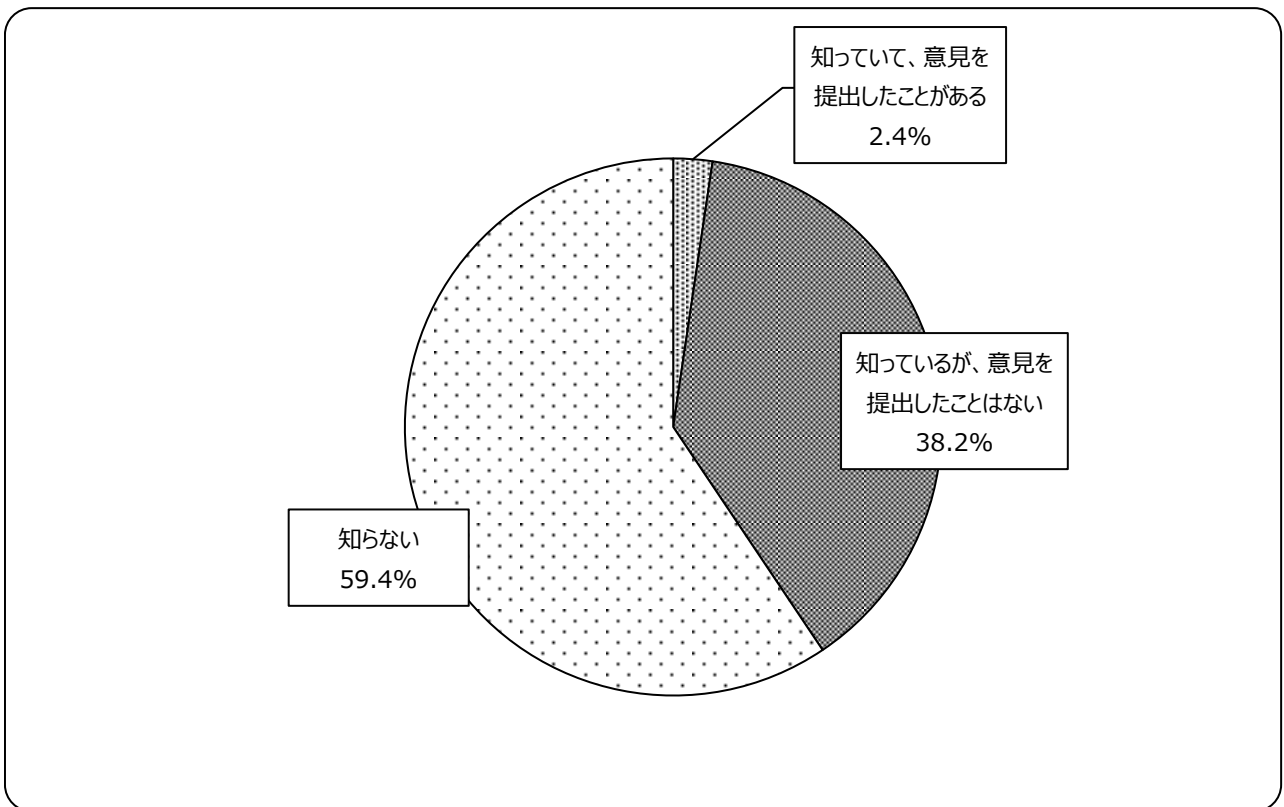


問46. パブリックコメント制度※を知っていますか。

※パブリックコメント制度とは、市民生活に広く影響を及ぼす市政の基本的な計画等を立案する過程において、これらの案の趣旨、内容等を公表し、その案について市民の皆様から提出された意見を考慮して意思決定を行う一連の手続のことです。 【1つ選択】

「知っている、意見を提出したことがある」「知っているが、意見を提出したことはない」の合計が40.6%であり、令和6年度から13.2ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている、意見を提出したことがある	11	2.4%
2	知っているが、意見を提出したことはない	179	38.2%
3	知らない	278	59.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問47. 問46で「2 知っているが、意見を提出したことはない」と回答された方に伺います。

パブリックコメント制度を利用して意見を提出したことがないのはなぜですか。 【複数選択可：いくつでも】

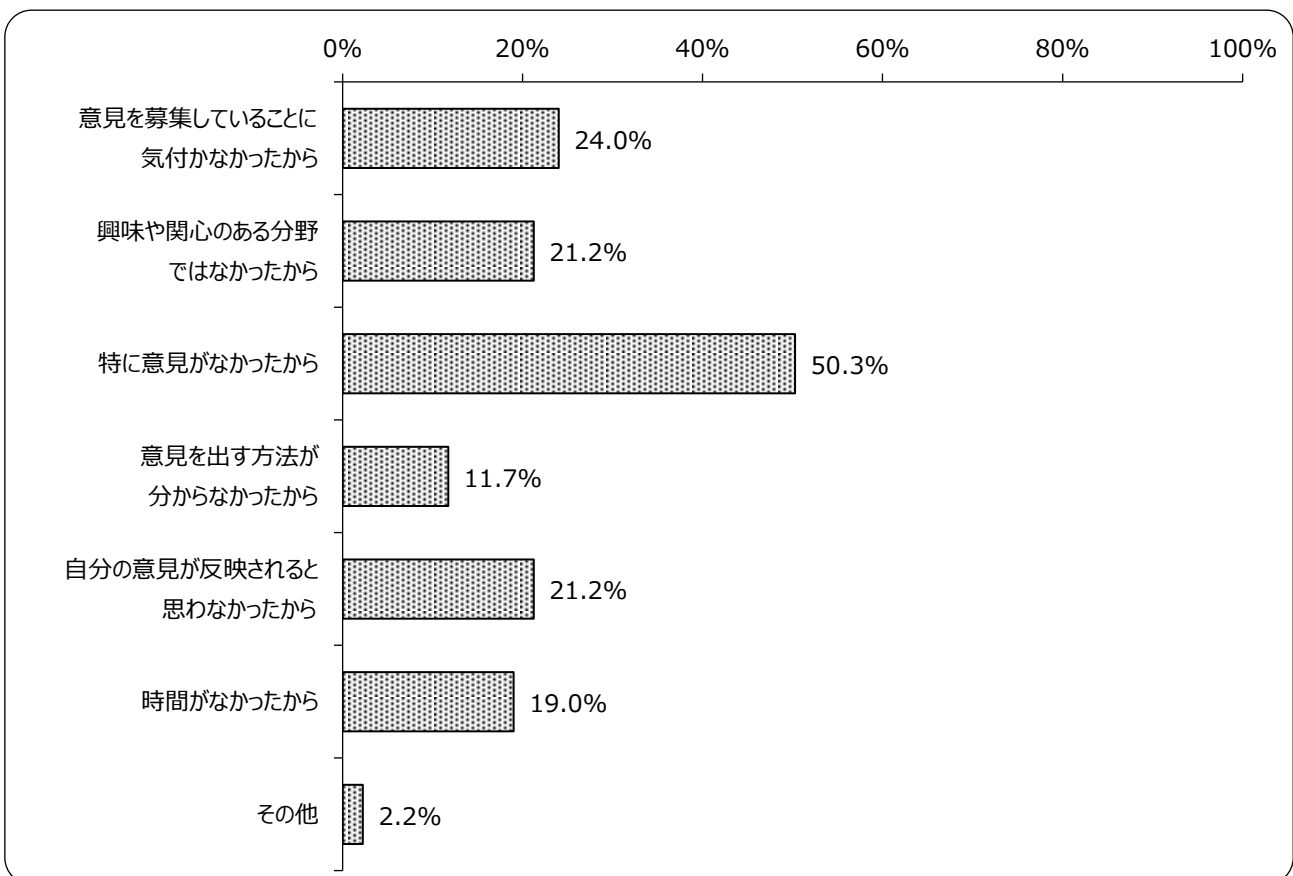
「興味や関心のある分野ではなかったから」と回答した方が21.2%であり、令和6年度から1.2ポイント減少した。

	選択項目 (n=179)	回答数	回答数/n
1	意見を募集していることに気付かなかったから	43	24.0%
2	興味や関心のある分野ではなかったから	38	21.2%
3	特に意見がなかったから	90	50.3%
4	意見を出す方法が分からなかったから	21	11.7%
5	自分の意見が反映されると思わなかったから	38	21.2%
6	時間がなかったから	34	19.0%
7	その他	4	2.2%

[7 その他]

【主な回答】

- 形式的に実施しているだけだと感じる。
- そこまでしたいとは思わない。
- 市政に参加するという積極性が足りなかったため。
- 意見の作成が難しい。

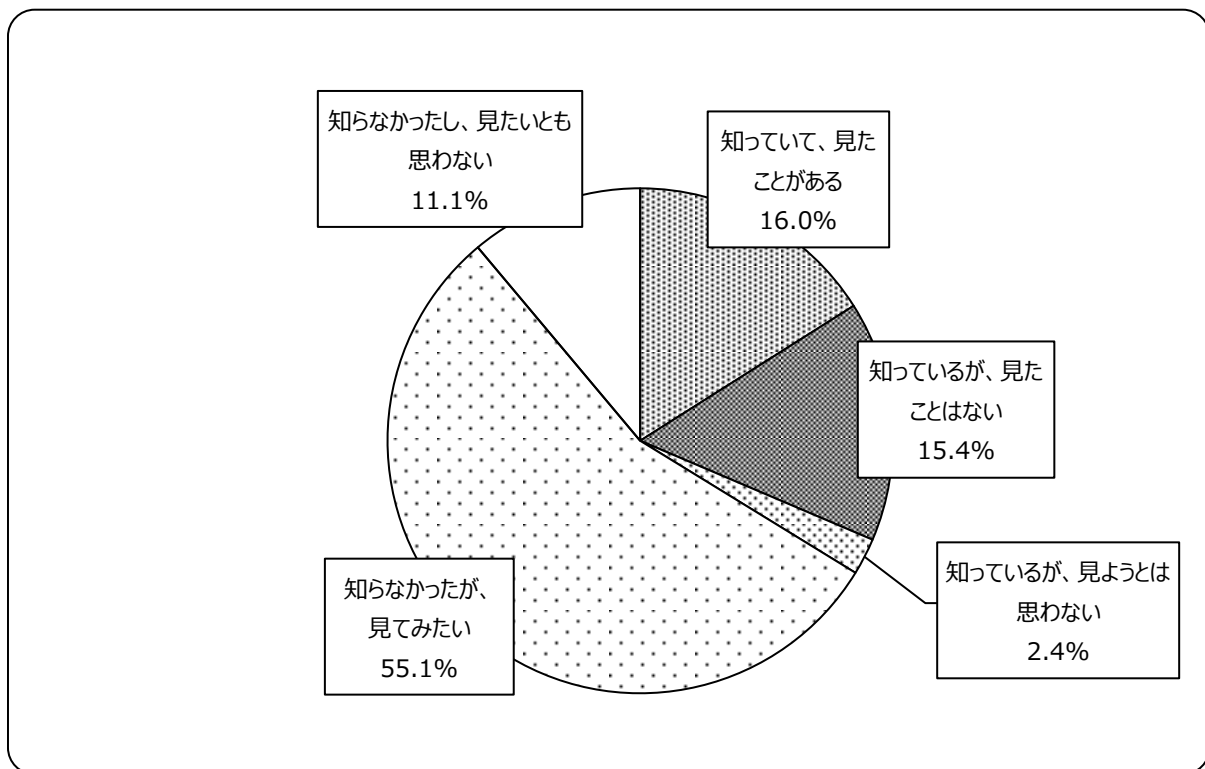


(2) 「市民の声」の公表

問48. 「市ホームページ」に市民の皆様から寄せられた提案・意見等の要旨とそれに対する市の考え方が「市民の声 Q&A」として掲載されていることを知っていますか。 【1つ選択】

「知っている、見たことがある」「知っているが、見たことはない」「知っているが、見ようとは思わない」と回答した方の合計が33.8%であり、令和6年度から4.2ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている、見たことがある	75	16.0%
2	知っているが、見たことはない	72	15.4%
3	知っているが、見ようとは思わない	11	2.4%
4	知らなかったが、見てみたい	258	55.1%
5	知らなかったし、見たいとも思わない	52	11.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%



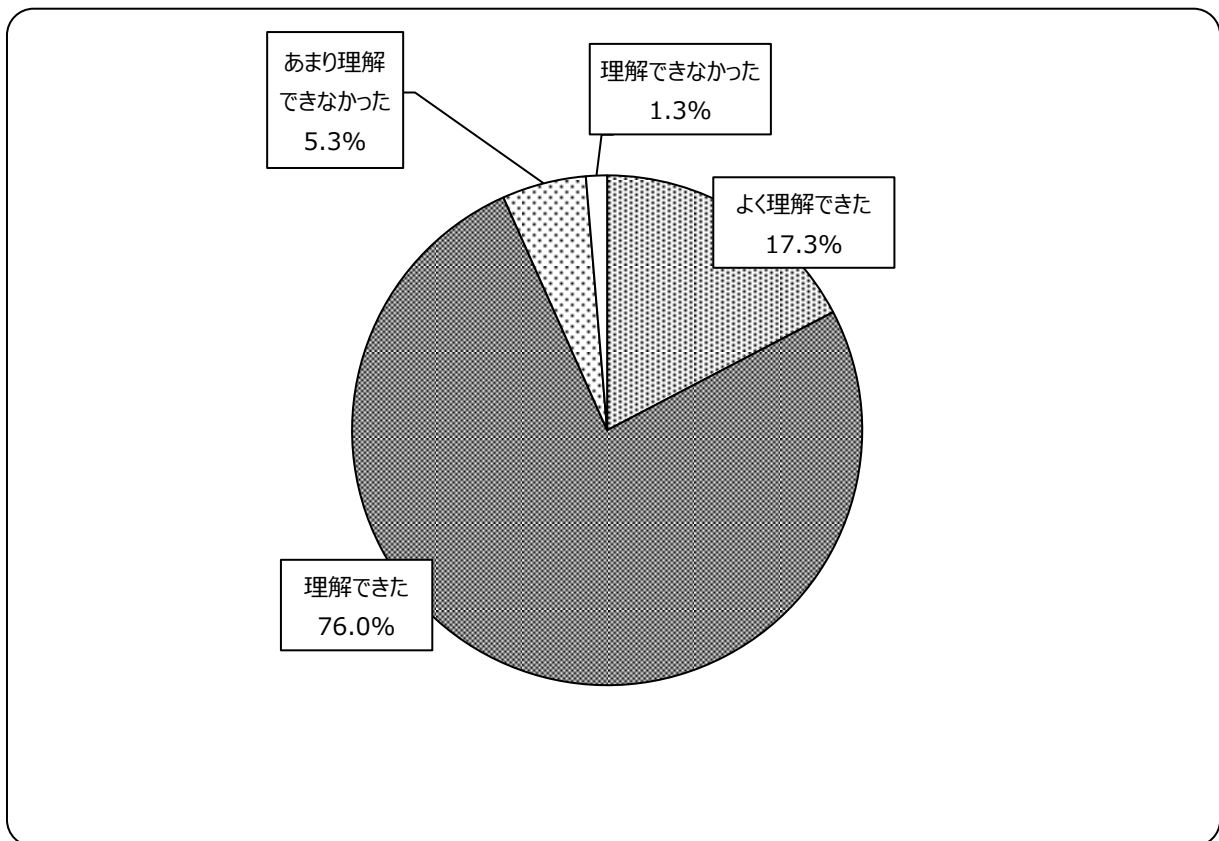
問49. 問48で「1 知っていて、見たことがある」と回答された方に伺います。

「市民の声Q&A」をご覧になって、市の考え方を理解できましたか。

なお、この設問は、市の考え方の内容への賛否ではなく、書かれている文章の分かりやすさや理解度をお尋ねするものです。 【1つ選択】

「よく理解できた」「理解できた」と回答した方の合計は 93.3%であり、令和 6 年度から 13.8 ポイント増加した。

選択項目 (n=75)		回答数	構成比
1	よく理解できた	13	17.3%
2	理解できた	57	76.0%
3	あまり理解できなかった	4	5.3%
4	理解できなかった	1	1.3%
計 (回答総数)		75	100.0%



6. 防災マップ閲覧方法・配架

調査結果の概要

テーマ	防災マップ閲覧方法・配架
担当課	危機管理室 防災課
設問数	9 問
趣旨・目的	<p>本市では、市民の防災意識向上を目的に、令和 4 年に防災マップをリニューアルしました。</p> <p>防災マップは、市民の自発的な行動変容を促すためデジタルの啓発を基本とし、紙媒体は全戸への配布から市内民間事業者等にご協力いただき配布する方法へ変更しています。</p> <p>今回のアンケートは防災マップの普及や配布方法の効果を測るため実施します。</p> <p>調査結果は、今後の啓発活動に活用するものです。</p>
調査結果	各設問のページを御覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	<ul style="list-style-type: none"> ・問 50 では、防災に関して「非常に興味がある」「多少興味がある」との回答が 91.0%を占めたものの、問 51 では、防災マップ保有率は 27.6%と依然として低い状況でした。 防災マップを活用いただくため、広報さかいや危機管理室 X（旧 Twitter）等のデジタルツール等を活用しながら、啓発活動の拡充を図ります。 ・問 54 では、「紙媒体の方が利用しやすい」を含む選択肢を回答した方は 74.8%であり、紙媒体の要望が高いことが判明しました。 このため、要望の高かった紙媒体による啓発と市民の自発的な行動変容を促すためのデジタル媒体を併用した啓発を実施します。 ・問 52 では、市（区）役所での防災マップ入手割合は 75.2%であり、問 56 では、その他の配架先はスーパーマーケットを希望する回答が 73.3%でした。 普段利用する機会の多い場所での配架を希望する回答が多い結果となったため、民間事業者での防災マップ配架の取組を進めます。

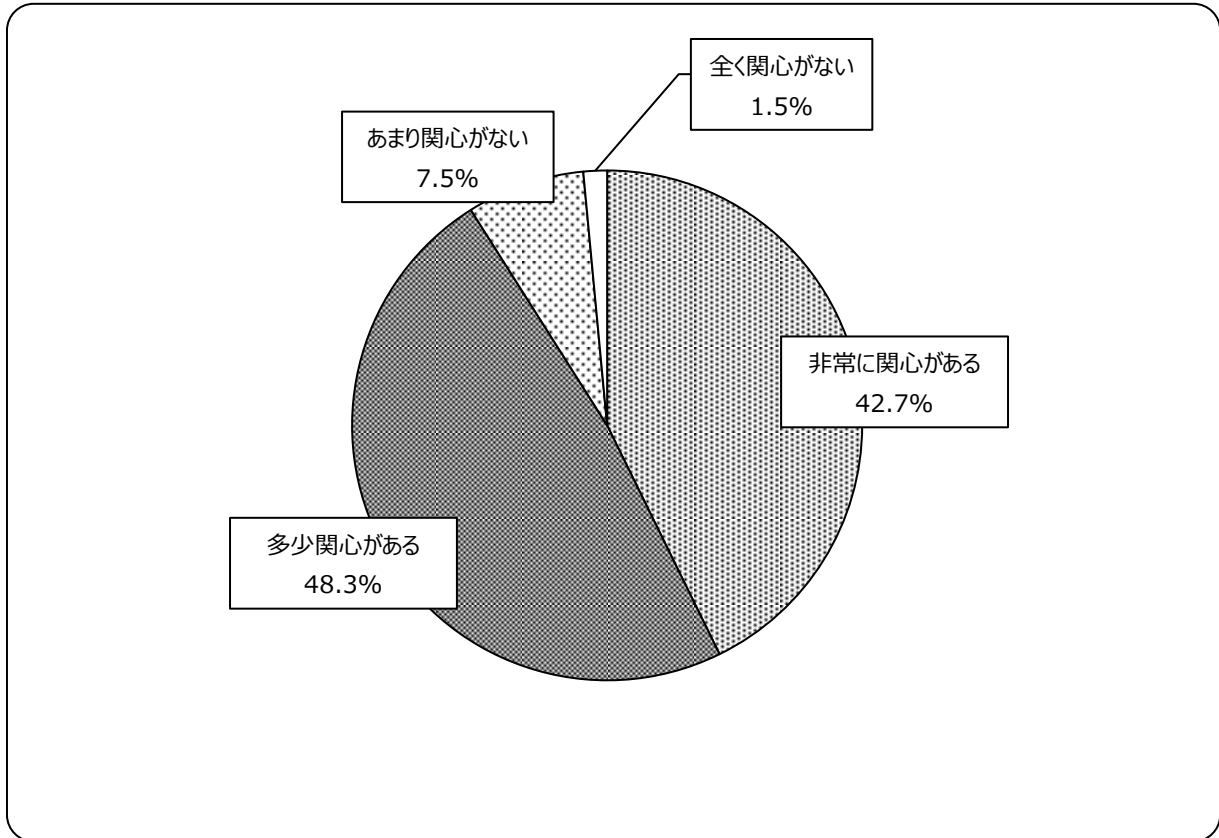
(1) 防災への関心

問50. 防災に関してどの程度関心がありますか。

【各項目：1つ選択】

「非常に関心がある」「多少関心がある」と回答した方が91.0%であり、令和6年度から1.1ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	非常に関心がある	200	42.7%
2	多少関心がある	226	48.3%
3	あまり関心がない	35	7.5%
4	全く関心がない	7	1.5%
	計 (回答総数)	468	100.0%



(2) 防災マップ

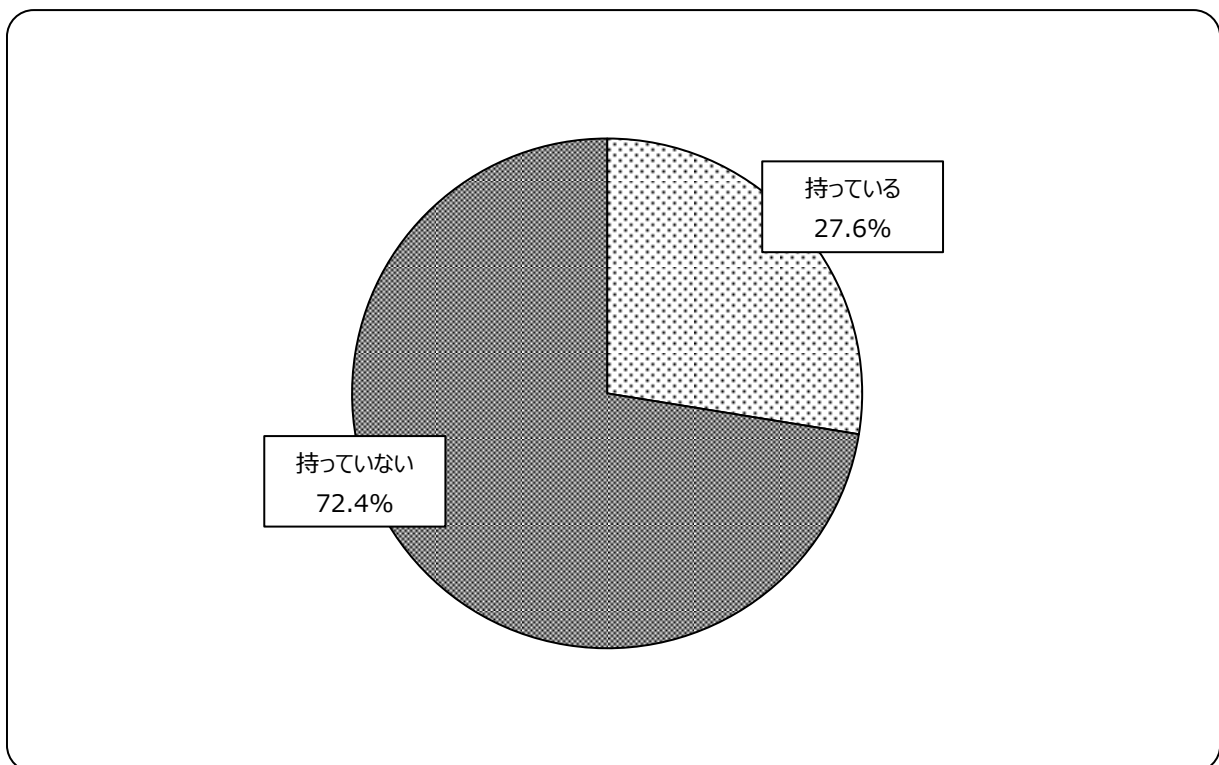
問51. 現在、防災マップ（紙媒体又は電子媒体でのダウンロード等を含む）を持っていますか。



【各項目：1つ選択】

「持っている」と回答した人が27.6%であり、令和6年度から5.7ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	持っている	129	27.6%
2	持っていない	339	72.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問52. 問51で「1 持っている」と回答された方に伺います。

防災マップをどこで入手しましたか。

【複数選択可：いくつでも】

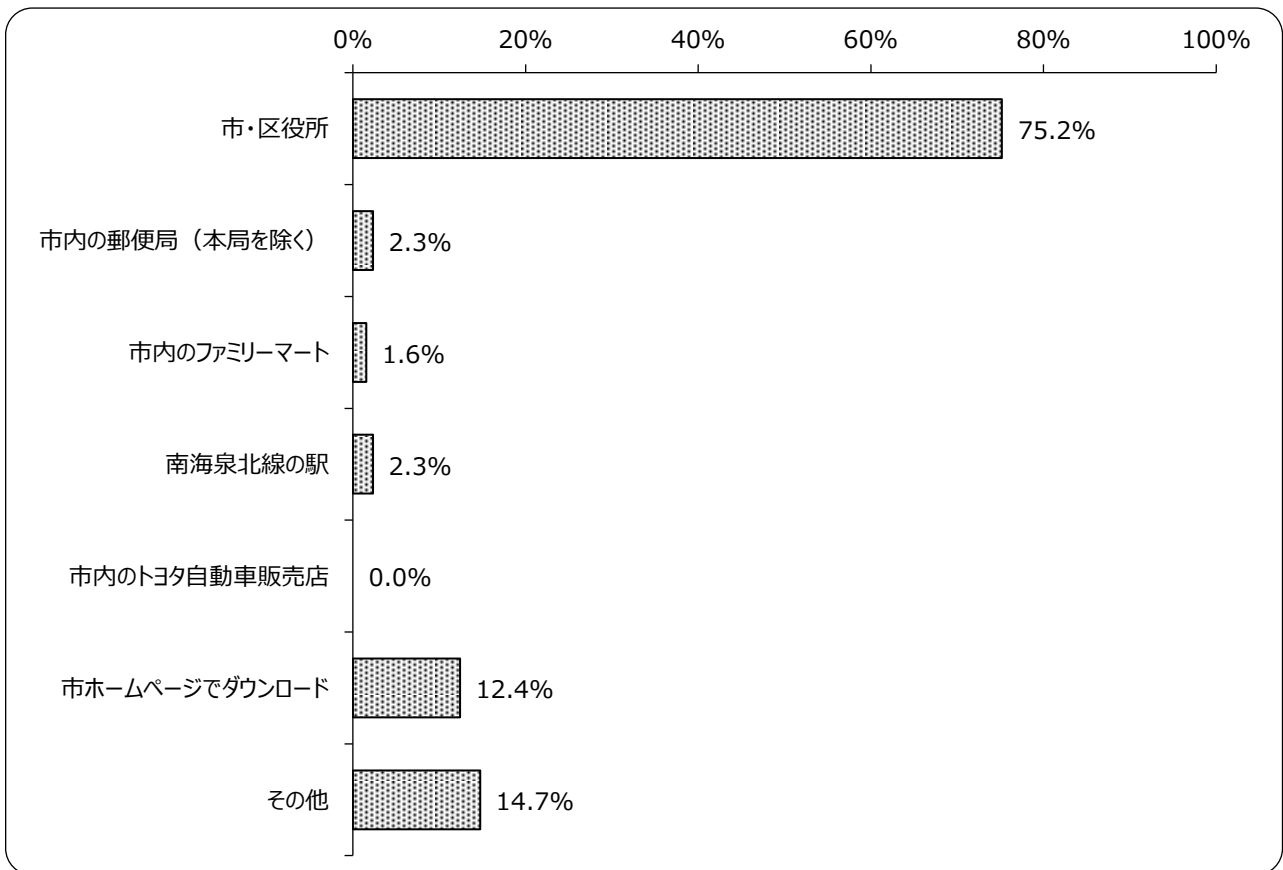
「市・区役所」と回答した方が75.2%と最も多く、次いで「市ホームページでダウンロード」と回答した方が12.4%であり、令和6年度からそれぞれ2.4ポイント、5.5ポイント減少した。

	選択項目 (n=129)	回答数	回答数/n
1	市・区役所	97	75.2%
2	市内の郵便局 (本局を除く)	3	2.3%
3	市内のファミリーマート	2	1.6%
4	南海泉北線の駅	3	2.3%
5	市内のトヨタ自動車販売店	0	0.0%
6	市ホームページでダウンロード	16	12.4%
7	その他	19	14.7%

[7 その他]

【主な回答】

- 自治会
- イベント
- 町内会の回覧



問53. 問51で「1 持っている」と回答された方に伺います。

なぜ、防災マップを入手しようと思いましたか。

【複数選択可：いくつでも】

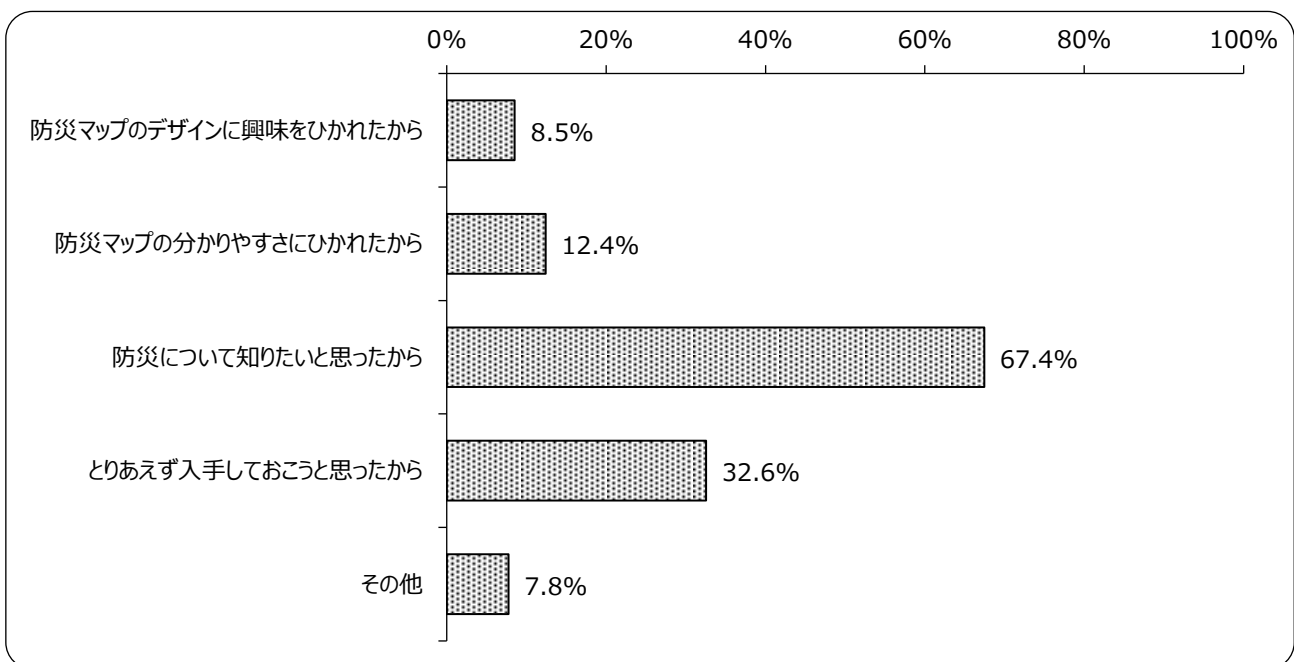
「防災について知りたいと思ったから」と回答した方は67.4%であり、令和6年度から2.5ポイント減少した。

	選択項目 (n=129)	回答数	回答数/n
1	防災マップのデザインに興味をひかれたから	11	8.5%
2	防災マップの分かりやすさにひかれたから	16	12.4%
3	防災について知りたいと思ったから	87	67.4%
4	とりあえず入手しておこうと思ったから	42	32.6%
5	その他	10	7.8%

[5 その他]

【主な回答】

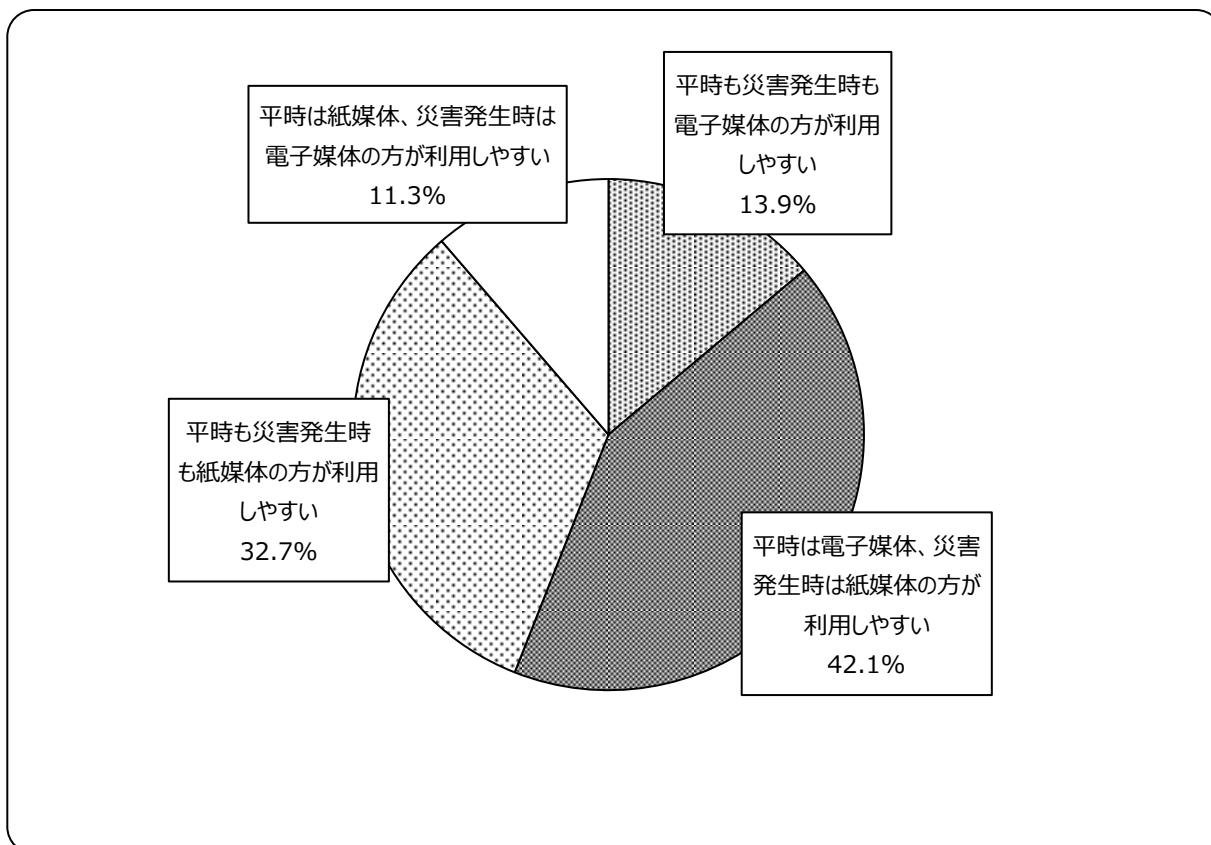
- イベント等で配布されたため。
- 家族のために必要と思ったため。



問54. 平時（災害が発生していない時）や災害発生時に防災マップを閲覧する際、電子媒体と紙媒体ではどちらが利用しやすいと思いますか。 【1つ選択】

「平時は電子媒体、災害発生時は紙媒体の方が利用しやすい」「平時も災害発生時も紙媒体の方が利用しやすい」と回答した方の合計は74.8%であり、令和6年度から8.3ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	平時も災害発生時も電子媒体の方が利用しやすい	65	13.9%
2	平時は電子媒体、災害発生時は紙媒体の方が利用しやすい	197	42.1%
3	平時も災害発生時も紙媒体の方が利用しやすい	153	32.7%
4	平時は紙媒体、災害発生時は電子媒体の方が利用しやすい	53	11.3%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問55. 防災マップには浸水想定エリアや避難場所のほか、避難行動や備蓄品の例等を掲載しています。

災害への備えとして、更に掲載・充実してほしい情報はありますか。

【複数選択可：いくつでも】

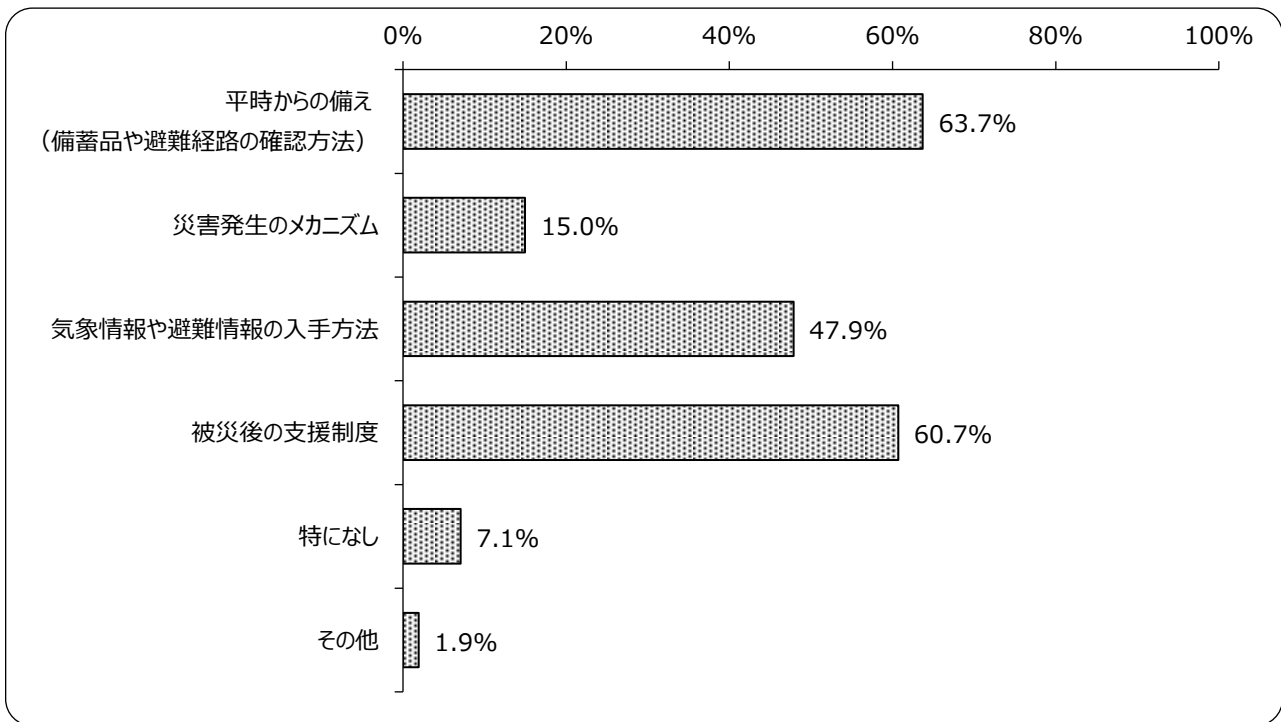
「平時からの備え（備蓄品や避難経路の確認方法）」と回答した方が63.7%と最も多く、次いで「被災後の支援制度」と回答した方が60.7%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	平時からの備え（備蓄品や避難経路の確認方法）	298	63.7%
2	災害発生メカニズム	70	15.0%
3	気象情報や避難情報の入手方法	224	47.9%
4	被災後の支援制度	284	60.7%
5	特になし	33	7.1%
6	その他	9	1.9%

[6 その他]

【主な回答】

- 高齢者の避難行動で注意する点
- 介護食や離乳食の備え



(3) 防災マップの配架先

問56. 防災マップの配架先について問52の1～6以外で入手しやすい（したい）と考える場所はどこですか。

【複数選択可：いくつでも】

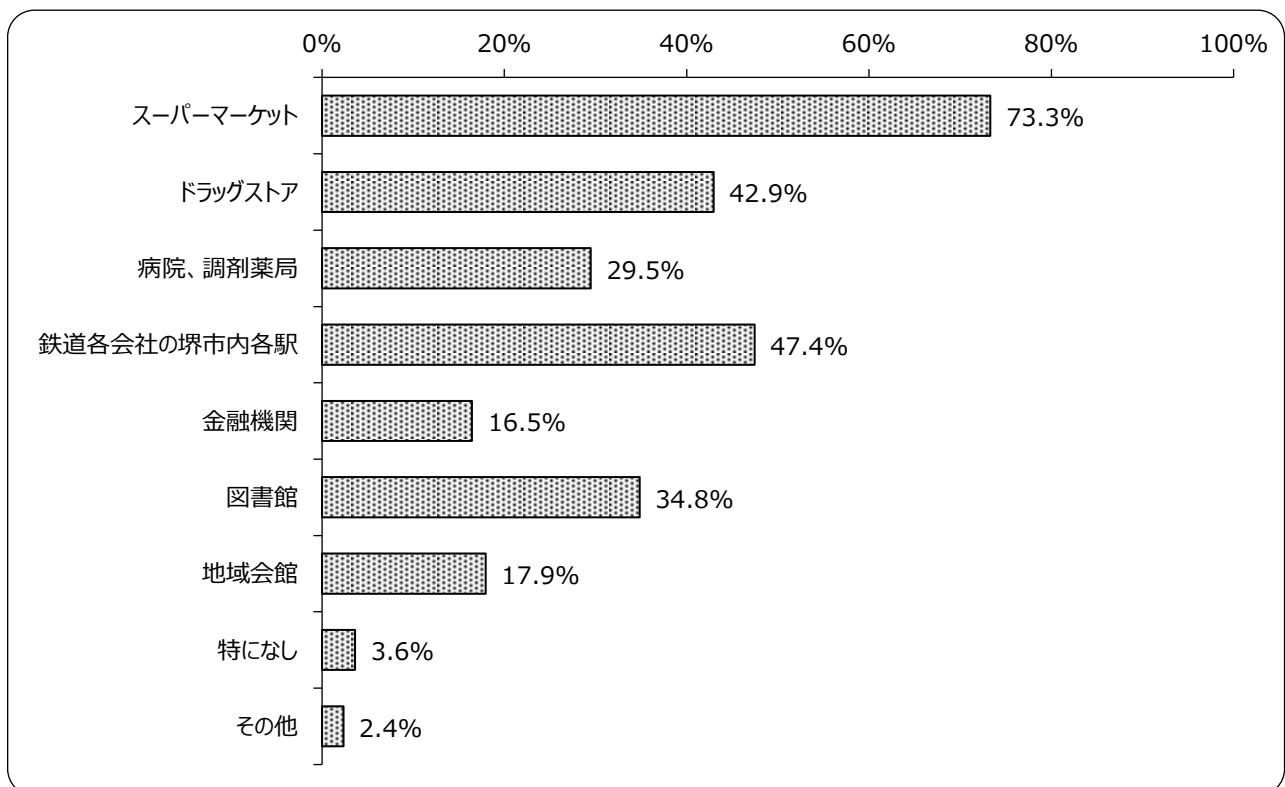
「スーパーマーケット」と回答した方が73.3%と最も多く、次いで「鉄道各会社の堺市内各駅」と回答した方が47.4%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	スーパーマーケット	343	73.3%
2	ドラッグストア	201	42.9%
3	病院、調剤薬局	138	29.5%
4	鉄道各会社の堺市内各駅	222	47.4%
5	金融機関	77	16.5%
6	図書館	163	34.8%
7	地域会館	84	17.9%
8	特になし	17	3.6%
9	その他	11	2.4%

[9 その他]

【主な回答】

- 各社コンビニ
- 広報さかいと同じように全戸配布
- 小・中学校で生徒に配布し、持ち帰らせる



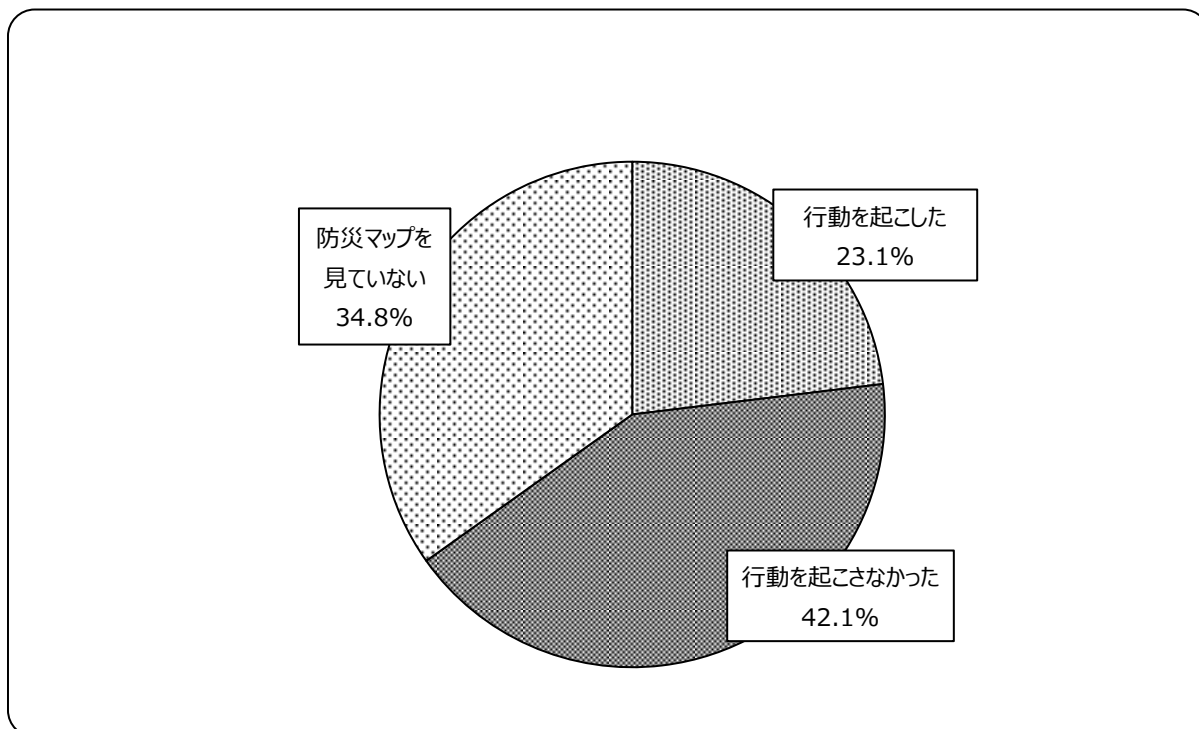
(4) 防災マップの啓発効果

問57. 防災マップを見て、災害に備えて何か行動を起こしましたか。

【1つ選択】

「行動を起こした」と回答した方が23.1%であり、令和6年度から8.3ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	行動を起こした	108	23.1%
2	行動を起こさなかった	197	42.1%
3	防災マップを見ていない	163	34.8%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問58. 問57で「1 行動を起こした」と回答された方に伺います。

災害に備えて、具体的にどのような行動を起こしましたか。

【複数選択可：いくつでも】

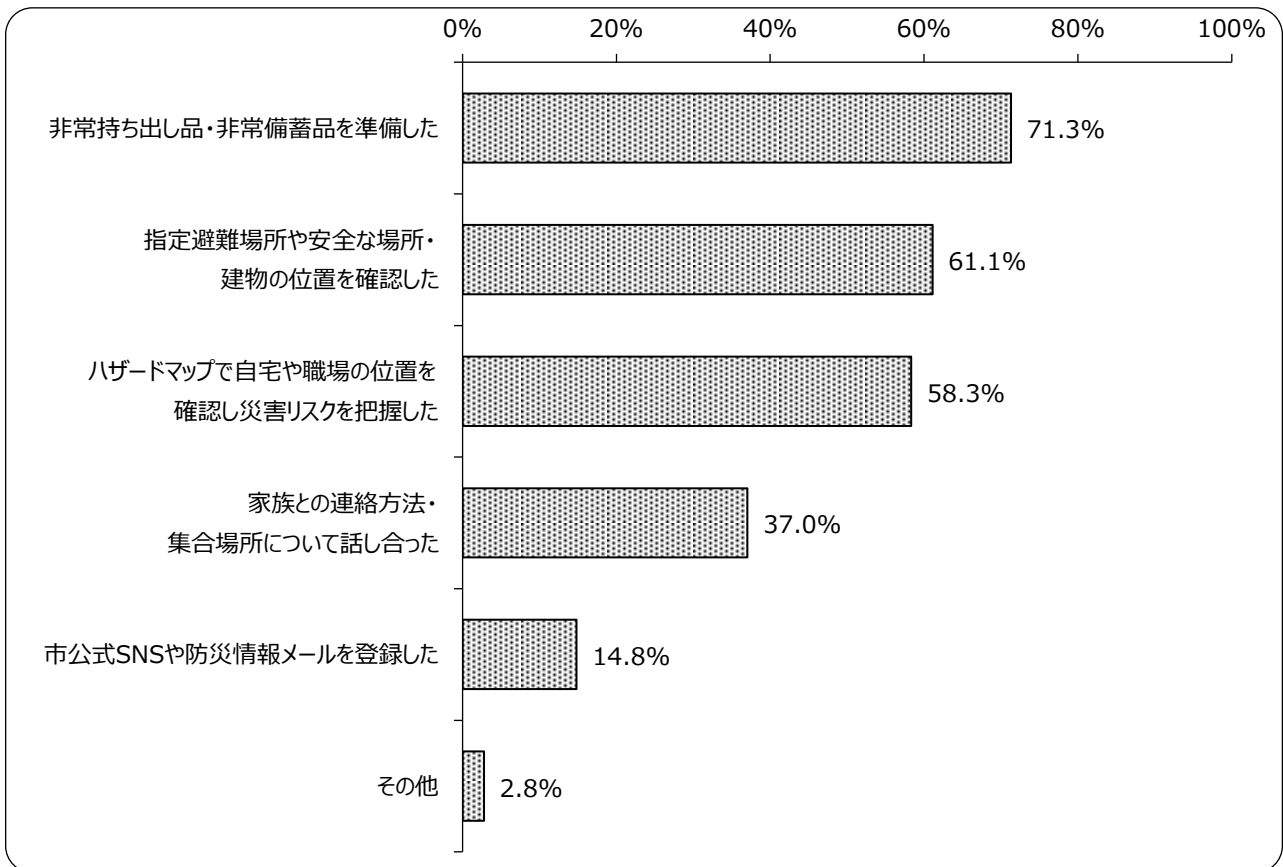
「非常持ち出し品・非常備蓄品を準備した」と回答した方が71.3%と最も多く、令和6年度から3.5ポイント減少した。

	選択項目 (n=108)	回答数	回答数/n
1	非常持ち出し品・非常備蓄品を準備した	77	71.3%
2	指定避難場所や安全な場所・建物の位置を確認した	66	61.1%
3	ハザードマップで自宅や職場の位置を確認し災害リスクを把握した	63	58.3%
4	家族との連絡方法・集合場所について話し合った	40	37.0%
5	市公式SNSや防災情報メールを登録した	16	14.8%
6	その他	3	2.8%

[6 その他]

【主な回答】

- 枕元に靴を置く。
- 近隣住民と一緒に避難するよう声かけた。



7. 大阪 880 万人訓練

調査結果の概要

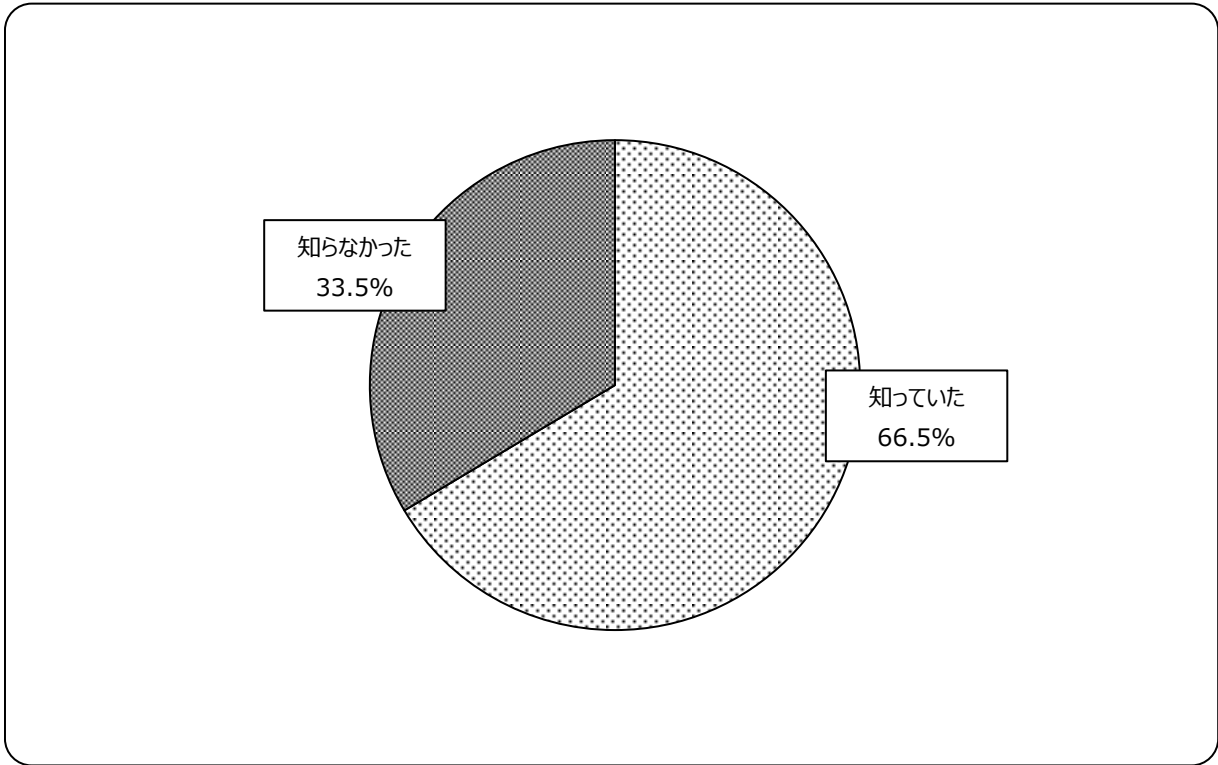
テーマ	大阪 880 万人訓練
担当課	危機管理室 危機管理課
設問数	13 問
趣旨・目的	<p>本市では、令和 7 年 11 月 5 日に防災行政無線、緊急速報メール等で南海トラフ巨大地震を想定した訓練情報を発信し、その情報を受けた市民の皆様にご家庭や学校・職場等それぞれの場所で訓練を実施していただきました。</p> <p>今回のアンケートは、皆様がこの訓練をどの程度知っていたかなどを検証し、また今後も継続的な取組とすることにより、更なる防災意識の啓発につなげていくことを目的に実施するものです。</p>
調査結果	各設問のページを御覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	<ul style="list-style-type: none">・問 59 では、本訓練を知っていた方は令和 6 年度と比較して 5.0 ポイント増加しました。問 60 では、「広報さかい」と回答された方は 59.5%と最も多かったです。引き続き、様々な媒体を活用し更なる認知度向上を図ります。・問 63 では、訓練参加を促進するための取組を知っていた方は令和 6 年度と比較して 5.2 ポイント増加した一方、問 64～65 では、参加認定証又は好事例集を利用しなかった方は 81.5%であり、その理由として最も多かったのが「手続きがよく分からなかった」でした。今後は手続きの簡略化等により利用率の向上を図ります。・問 66 では、本訓練に参加しなかった方は 82.9%であり、令和 6 年度とほぼ同水準でした。今後は正しい訓練参加要領の周知を徹底するなど、訓練参加率の向上を図ります。・問 70、71 では、災害情報の取得を十分できていると思わないと回答した方は 49.8%でした。その理由を「市からの情報発信頻度が少ない」とした方は 46.8%でした。この背景として、令和 7 年度は市内で避難情報を発令する災害が発生しておらず、緊急速報メール等を使用する機会がなかったことが一因であると考えられます。今後も様々な機会を通じて、本訓練に関する市民の認知度向上を図ります。

(1) 事前周知

問59. 訓練開始日時（11月5日10時）より前に、この訓練があることを知っていましたか。 【1つ選択】

「知っていた」と回答した方は66.5%であり、令和6年度から5.0ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っていた	311	66.5%
2	知らなかった	157	33.5%
	計 (回答総数)	468	100.0%



(2) 情報収集手段

問60. 問59で「1 知っていた」と回答された方に伺います。
 今回の訓練をどのような媒体・経路で知りましたか。

【複数選択可：いつでも】

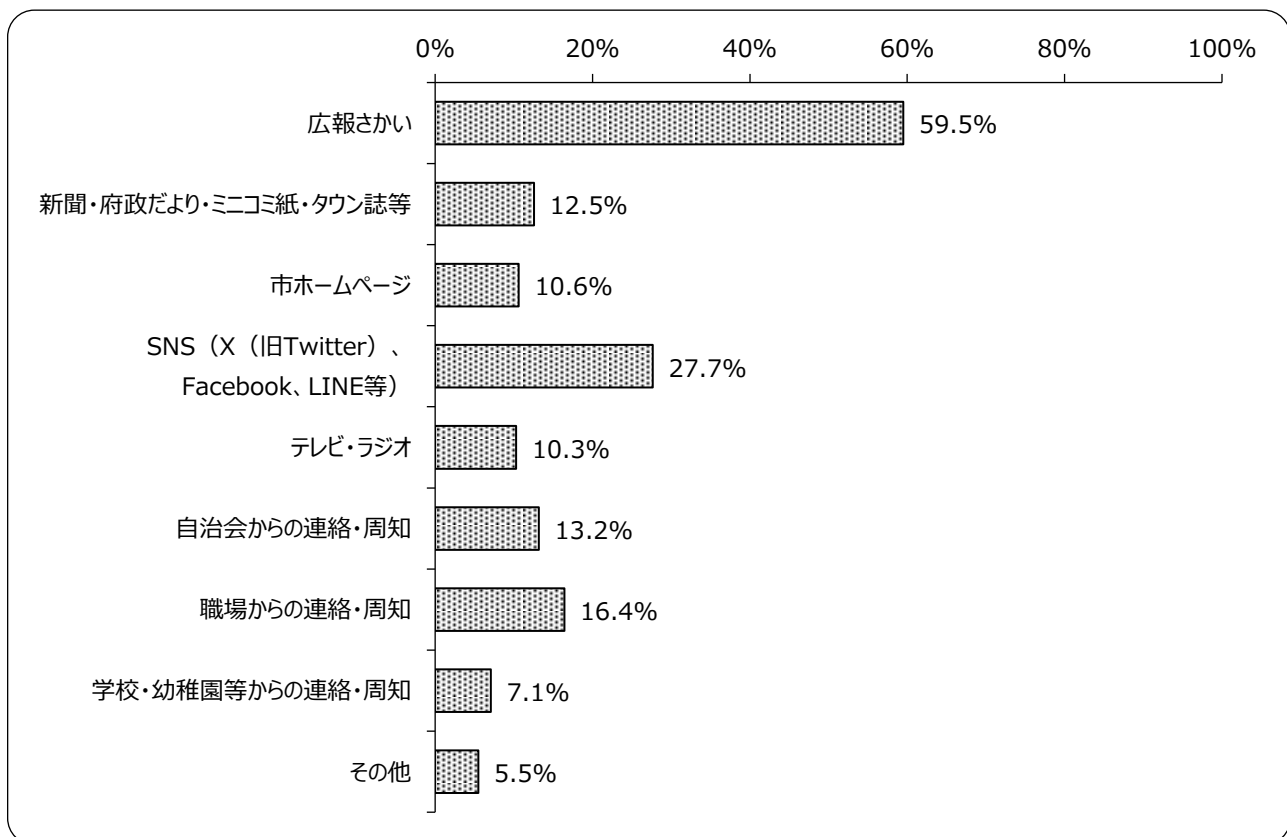
「広報さかい」と回答した方が59.5%であり、令和6年度と同様に最も多かった。

	選択項目 (n=311)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	185	59.5%
2	新聞・府政だより・ミニコミ紙・タウン誌等	39	12.5%
3	市ホームページ	33	10.6%
4	SNS (X (旧Twitter) 、Facebook、LINE等)	86	27.7%
5	テレビ・ラジオ	32	10.3%
6	自治会からの連絡・周知	41	13.2%
7	職場からの連絡・周知	51	16.4%
8	学校・幼稚園等からの連絡・周知	22	7.1%
9	その他	17	5.5%

[9 その他]

【主な回答】

- ポスターや電子広告
- 車内広告やアナウンス



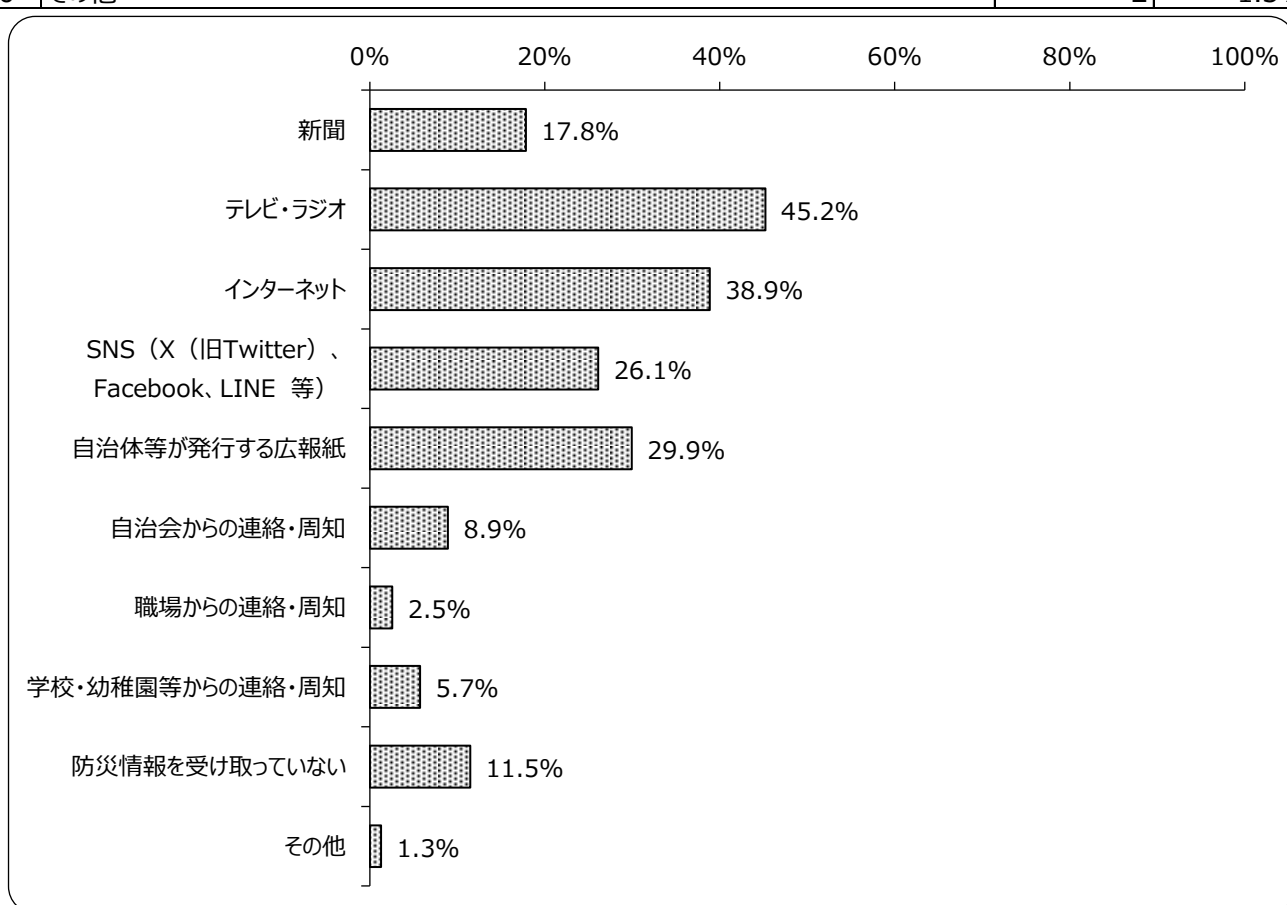
問61. 問59で「2 知らなかった」と回答された方に伺います。

近年、様々な媒体を通じて防災情報が発信されています。防災情報をどのような手段で受け取っていますか。

【複数選択可：いつでも】

「防災情報を受け取っていない」と回答した方は11.5%であった。

	選択項目 (n=157)	回答数	回答数/n
1	新聞	28	17.8%
2	テレビ・ラジオ	71	45.2%
3	インターネット	61	38.9%
4	SNS (X (旧Twitter) 、Facebook、LINE 等)	41	26.1%
5	自治体等が発行する広報紙	47	29.9%
6	自治会からの連絡・周知	14	8.9%
7	職場からの連絡・周知	4	2.5%
8	学校・幼稚園等からの連絡・周知	9	5.7%
9	防災情報を受け取っていない	18	11.5%
10	その他	2	1.3%



(3) 情報の伝達

問62. 訓練開始の合図として、以下のアナウンスを行いました、どの合図を受け取りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

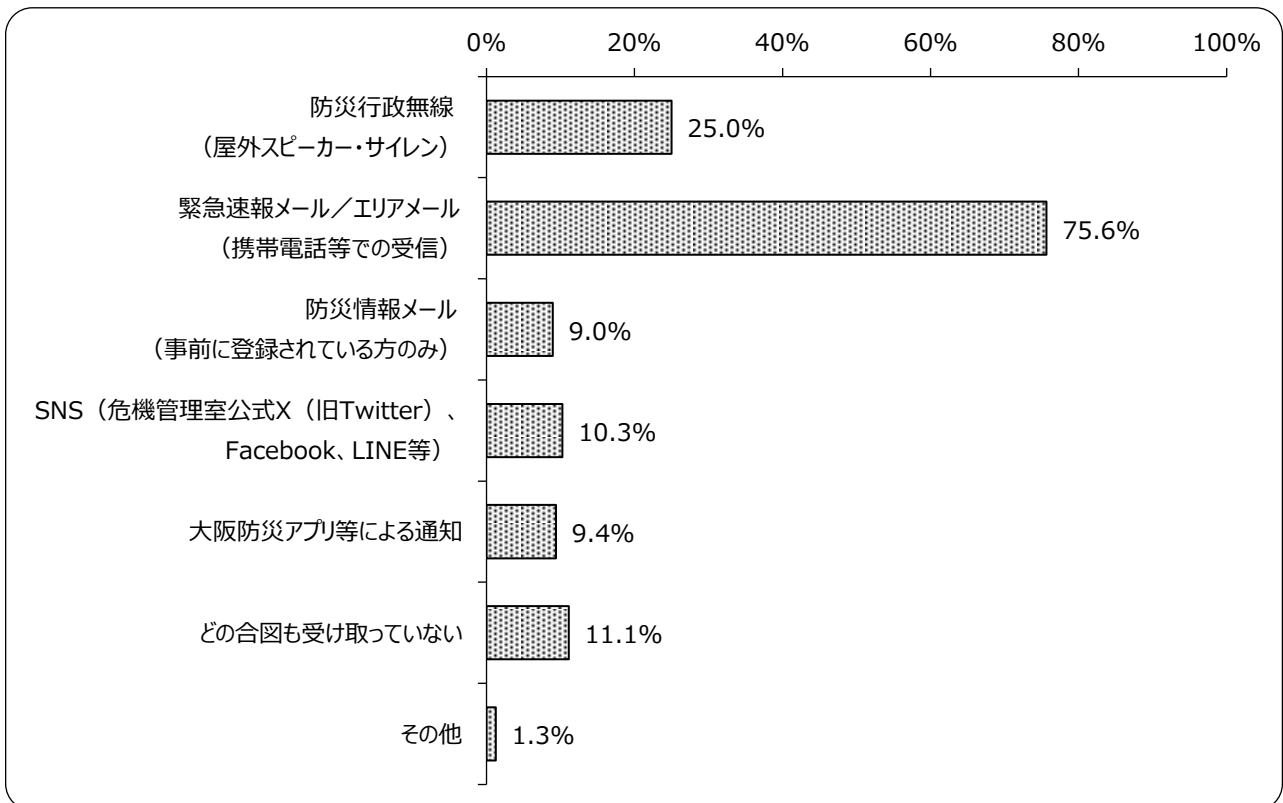
「どの合図も受け取っていない」と回答した方は11.1%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	防災行政無線（屋外スピーカー・サイレン）	117	25.0%
2	緊急速報メール／エリアメール（携帯電話等での受信）	354	75.6%
3	防災情報メール（事前に登録されている方のみ）	42	9.0%
4	SNS（危機管理室公式X（旧Twitter）、Facebook、LINE等）	48	10.3%
5	大阪防災アプリ等による通知	44	9.4%
6	どの合図も受け取っていない	52	11.1%
7	その他	6	1.3%

[10 その他]

【主な回答】

- 受け取ったかもしれないが、気づかなかった。
- 防災行政無線は声が割れて、内容が不明瞭であるため聞き取れなかった。

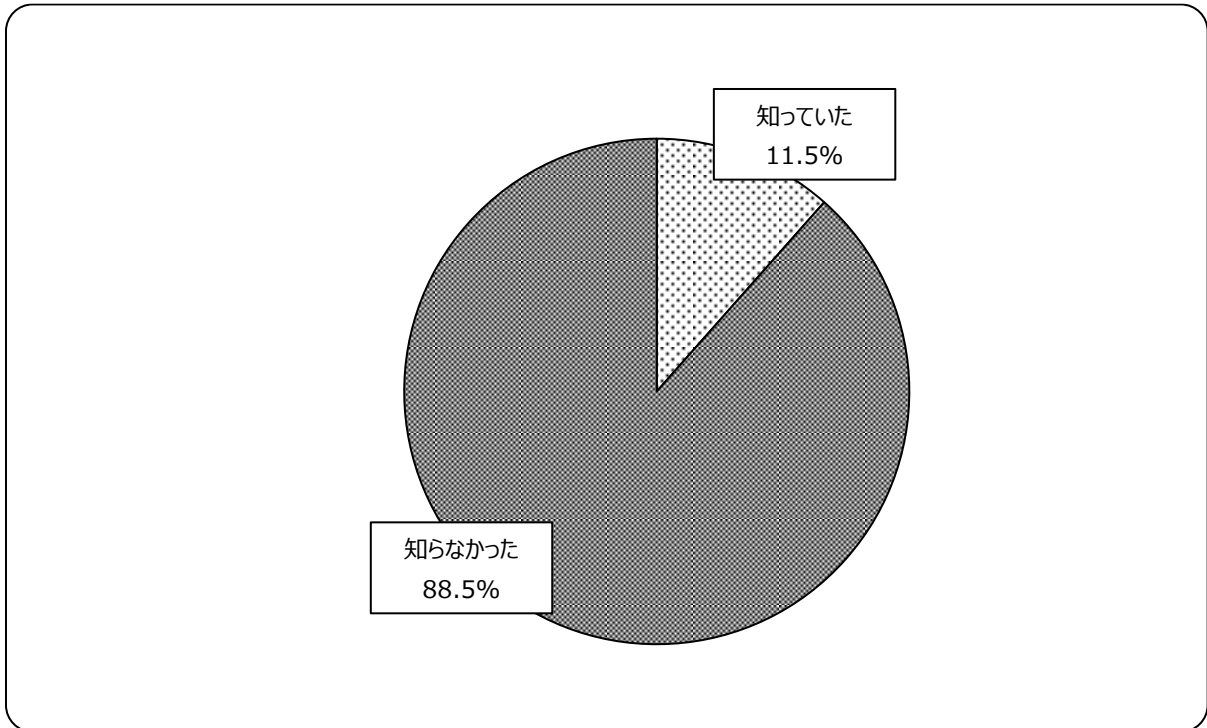


(4) 訓練参加促進のための取組

問63. 訓練参加を促進するための取組（参加認定証の進呈及び好事例集の配布）を知っていましたか。【1つ選択】

「知っていた」と回答した方は11.5%であり、令和6年度から5.2ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っていた	54	11.5%
2	知らなかった	414	88.5%
	計 (回答総数)	468	100.0%



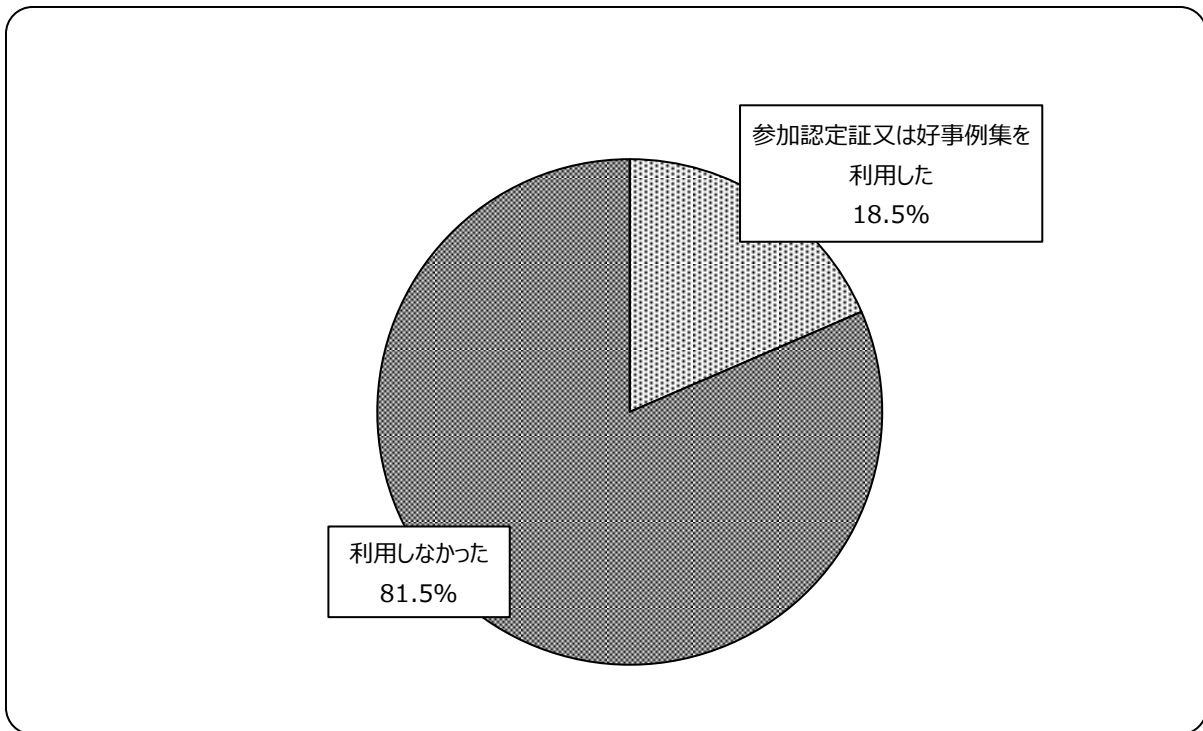
問64. 問63で「1 知っていた」と回答された方に伺います。

参加認定証又は好事例集を利用しましたか。

【1つ選択】

「利用しなかった」と回答した方は81.5%であった。

	選択項目 (n=54)	回答数	構成比
1	参加認定証又は好事例集を利用した	10	18.5%
2	利用しなかった	44	81.5%
3	その他	0	0.0%
	計 (回答総数)	54	100.0%



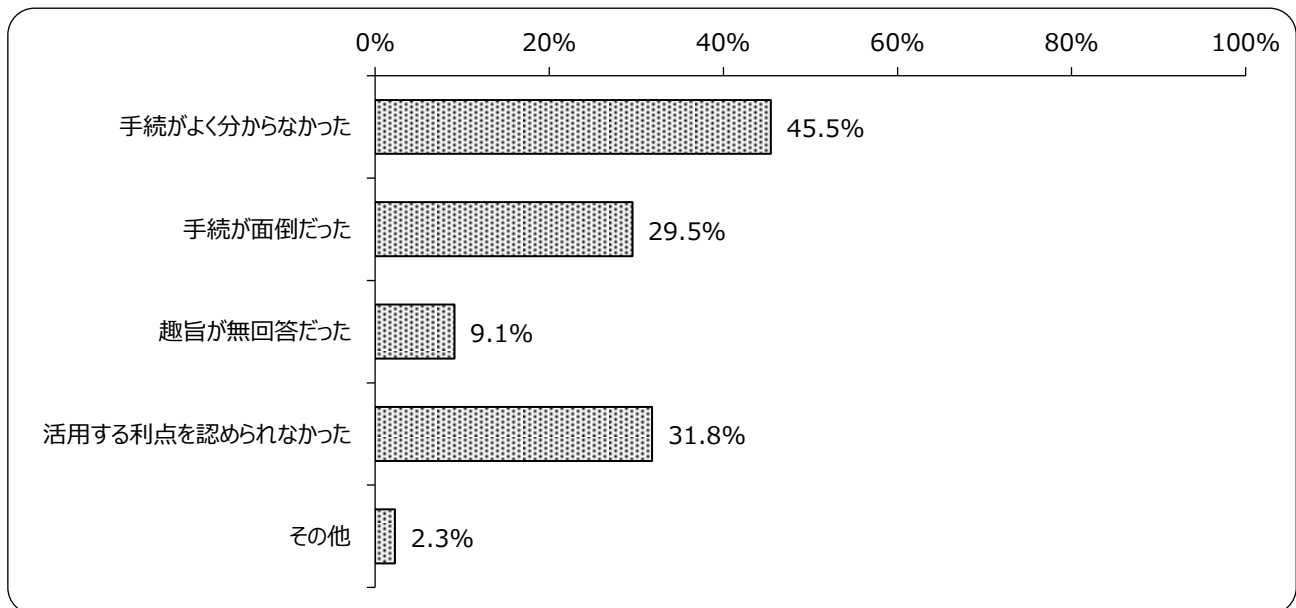
問65. 問64で「2 利用しなかった」と回答された方に伺います。

その理由を教えてください。

【複数選択可：いくつでも】

「手続きがよく分からなかった」と回答した方が45.5%と最も多かった。

	選択項目 (n=44)	回答数	回答数/n
1	手続きがよく分からなかった	20	45.5%
2	手続きが面倒だった	13	29.5%
3	趣旨が無回答だった	4	9.1%
4	活用する利点を認められなかった	14	31.8%
5	その他	1	2.3%



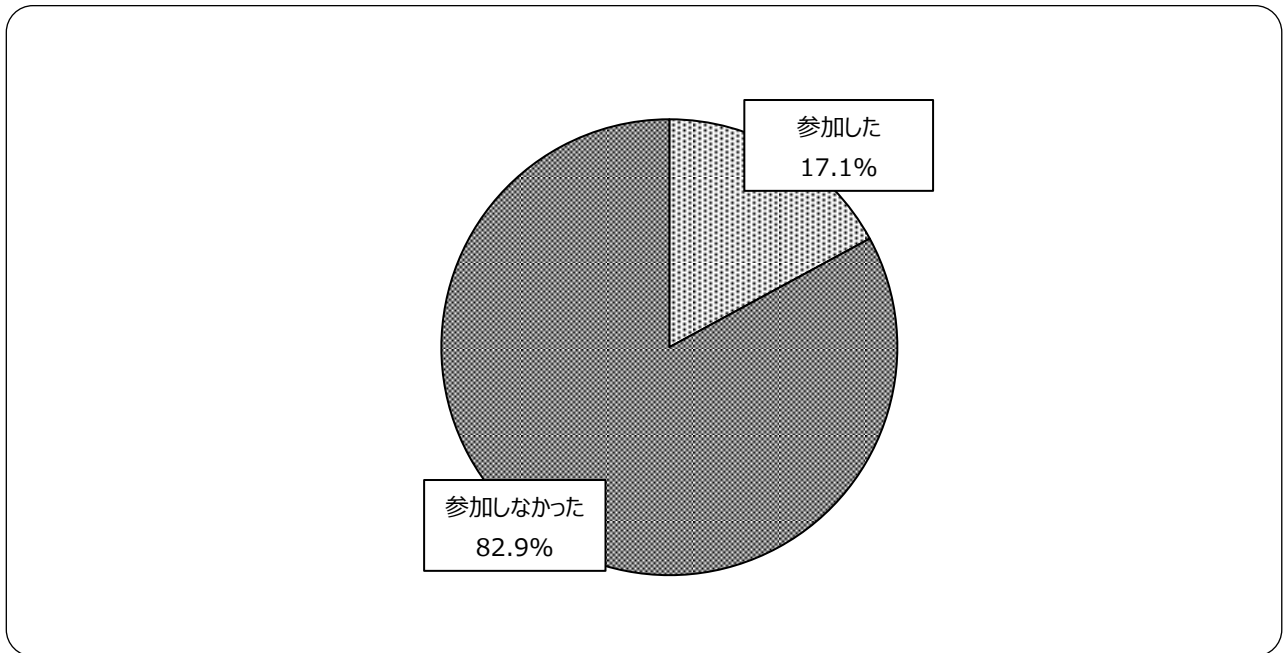
(5) 訓練参加

問66. 今回の訓練（11月5日実施）に参加しましたか。

【1つ選択】

「参加しなかった」と回答した方は82.9%であり、令和6年度から1.3ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	参加した	80	17.1%
2	参加しなかった	388	82.9%
	計 (回答総数)	468	100.0%



(6) 訓練内容

問67. 問66で「1 参加した」と回答された方に伺います。

どのような訓練を行いましたか。

【複数選択可：いくつでも】

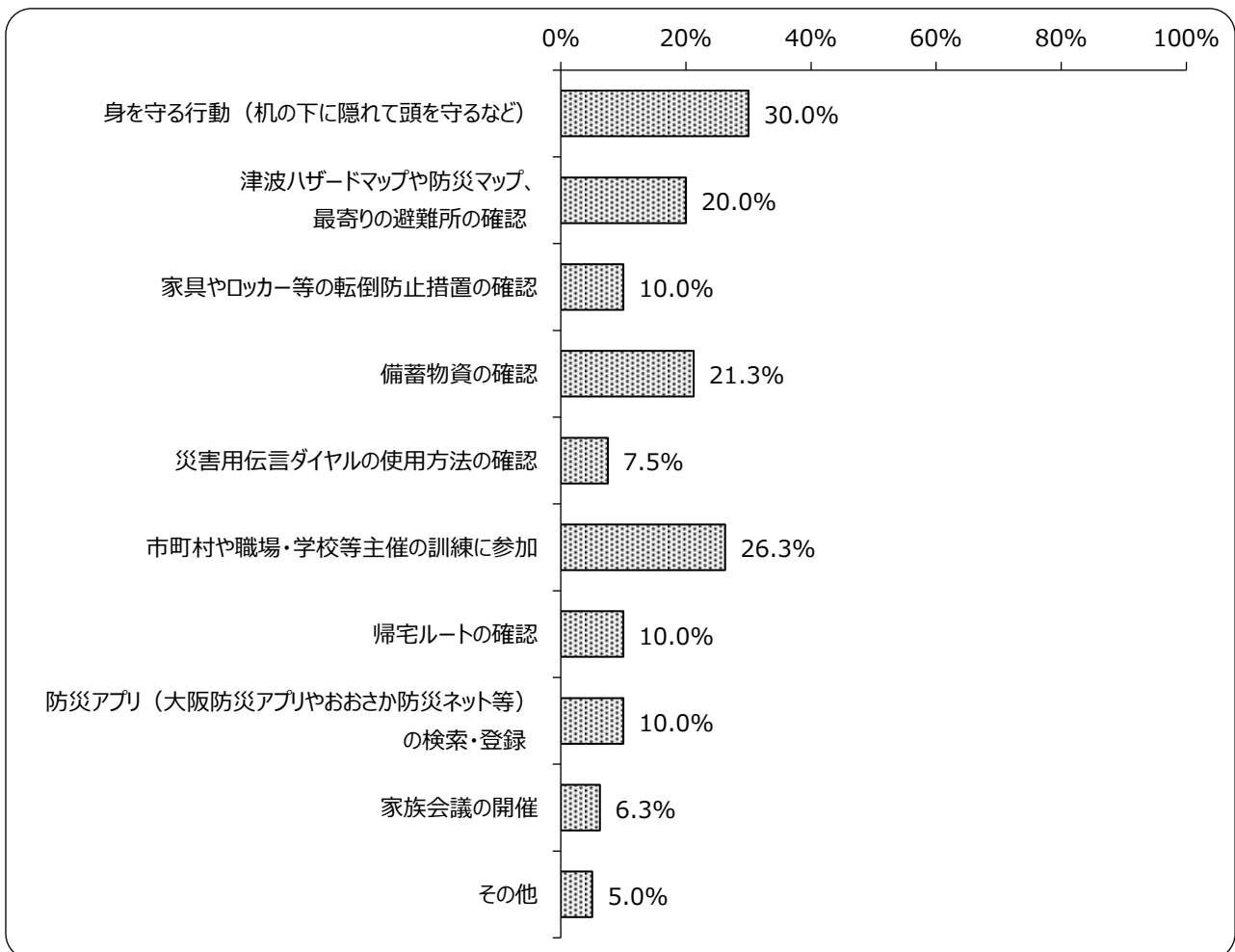
「身を守る行動（机の下に隠れて頭を守るなど）」と回答した方が30.0%と最も多く、令和6年度から3.7ポイント減少した。

	選択項目 (n=80)	回答数	回答数/n
1	身を守る行動（机の下に隠れて頭を守るなど）	24	30.0%
2	津波ハザードマップや防災マップ、最寄りの避難所の確認	16	20.0%
3	家具やロッカー等の転倒防止措置の確認	8	10.0%
4	備蓄物資の確認	17	21.3%
5	災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認	6	7.5%
6	市町村や職場・学校等主催の訓練に参加	21	26.3%
7	帰宅ルートの確認	8	10.0%
8	防災アプリ（大阪防災アプリやおおさか防災ネット等）の検索・登録	8	10.0%
9	家族会議の開催	5	6.3%
10	その他	4	5.0%

[10 その他]

【主な回答】

- 水害対策
- 区役所子育てひろばでの災害訓練



(7) 訓練不参加理由

問68. 問66で「2 参加しなかった」と回答された方に伺います。

訓練に参加しなかった理由を教えてください。

【複数選択可：いくつでも】

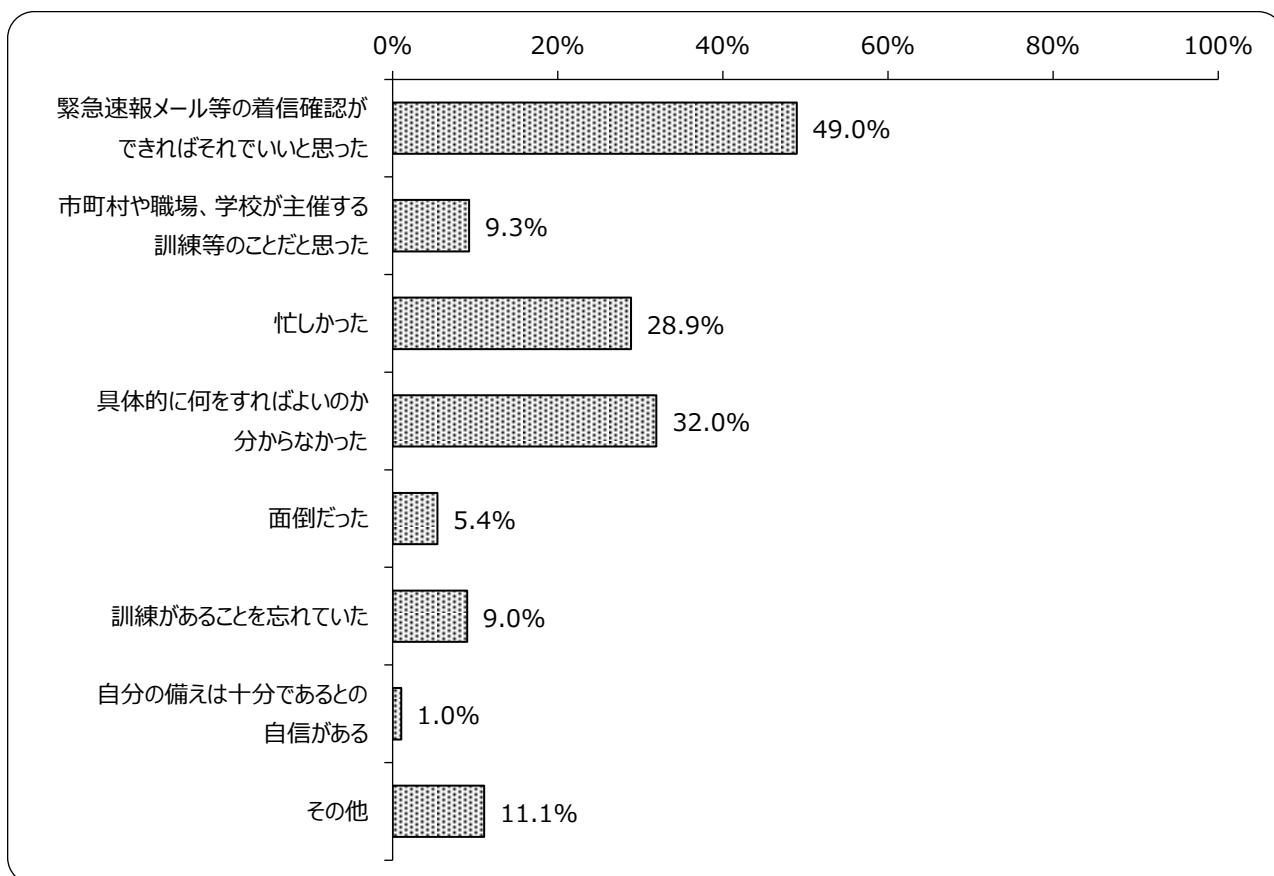
「緊急速報メール等の着信確認ができればそれでいいと思った」と回答した方が49.0%と最も多く、令和6年度から11.3ポイント増加した。

	選択項目 (n=388)	回答数	回答数/n
1	緊急速報メール等の着信確認ができればそれでいいと思った	190	49.0%
2	市町村や職場、学校が主催する訓練等のことだと思った	36	9.3%
3	忙しかった	112	28.9%
4	具体的に何をすればよいか分からなかった	124	32.0%
5	面倒だった	21	5.4%
6	訓練があることを忘れていた	35	9.0%
7	自分の備えは十分であるとの自信がある	4	1.0%
8	その他	43	11.1%

[8 その他]

【主な回答】

- 体調不良、怪我、歩行困難等のため。
- 介護のため。
- 仕事を中断できなかったため。
- 訓練があったことを知らなかったため。
- 訓練実施日が例年と異なることを知らなかったため
- 訓練に参加できることを知らなかったため。
- 毎年参加しており、もう十分と判断したため。



(8) 災害情報の取得方法

問69. 本市では、大雨や台風、地震等による災害発生時や、災害発生が予測されるような時に、警報発表等の気象情報や避難所の開設・避難指示等の避難情報の発信を様々な手法で行っています。これらの情報を取得するために利用しているものはどれですか。【複数選択可：いくつでも】

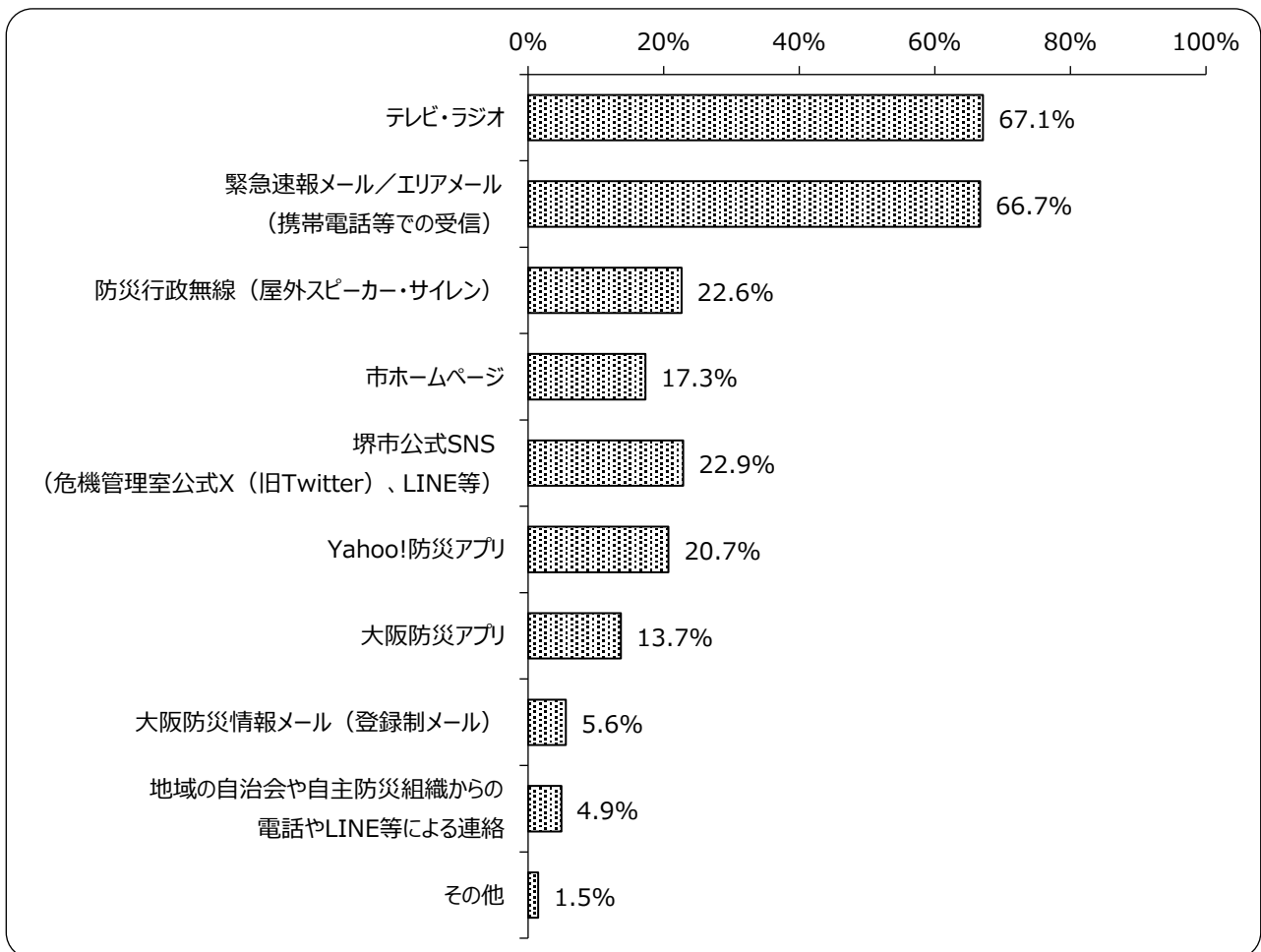
「テレビ・ラジオ」と回答した方が67.1%、「緊急速報メール／エリアメール（携帯電話等での受信）」と回答した方が66.7%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	テレビ・ラジオ	314	67.1%
2	緊急速報メール／エリアメール（携帯電話等での受信）	312	66.7%
3	防災行政無線（屋外スピーカー・サイレン）	106	22.6%
4	市ホームページ	81	17.3%
5	堺市公式SNS（危機管理室公式X（旧Twitter）、LINE等）	107	22.9%
6	Yahoo!防災アプリ	97	20.7%
7	大阪防災アプリ	64	13.7%
8	大阪防災情報メール（登録制メール）	26	5.6%
9	地域の自治会や自主防災組織からの電話やLINE等による連絡	23	4.9%
10	その他	7	1.5%

[10 その他]

【主な回答】

- どれも利用していない
- NHK 防災アプリ
- NERV 防災アプリ

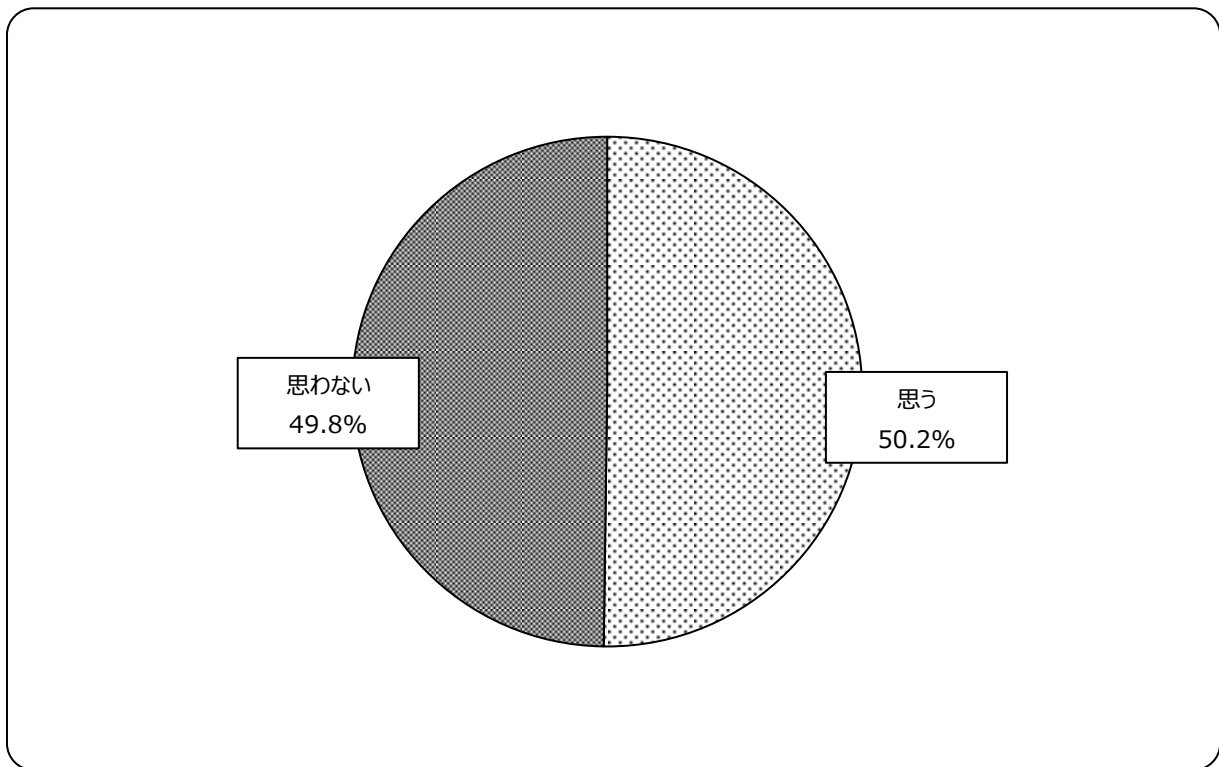


(9) 災害情報の取得方法の評価

問70. 現在、警報発表等の気象情報や避難所の開設や避難指示等の災害情報を十分に取得できていると思いますか。 【1つ選択】

「思わない」と回答した方は半数であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	思う	235	50.2%
2	思わない	233	49.8%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問71. 問70で「2 思わない」と回答された方に伺います。

取得できていないと思う理由を教えてください。

【複数選択可：いくつでも】

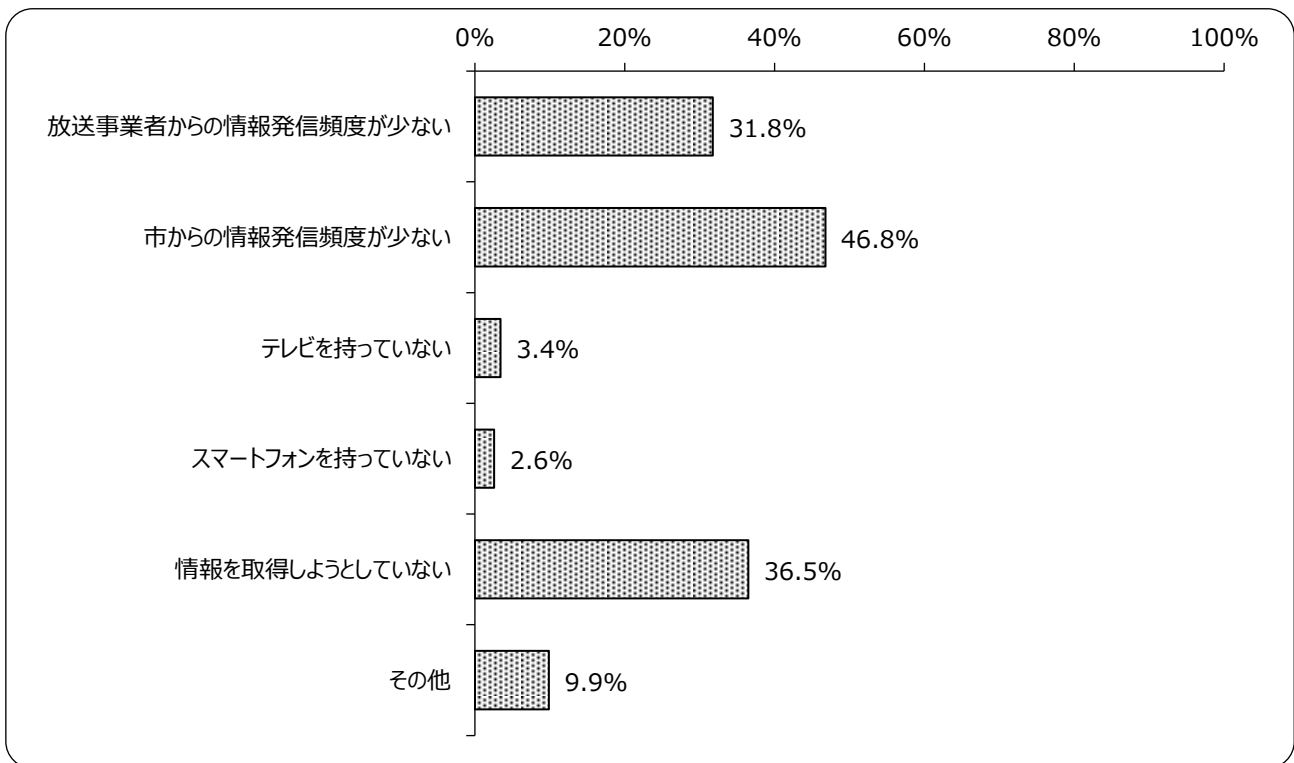
「市からの情報発信頻度が少ない」と回答した方が46.8%と最も多かった。

	選択項目 (n=233)	回答数	回答数/n
1	放送事業者からの情報発信頻度が少ない	74	31.8%
2	市からの情報発信頻度が少ない	109	46.8%
3	テレビを持っていない	8	3.4%
4	スマートフォンを持っていない	6	2.6%
5	情報を取得しようとしていない	85	36.5%
6	その他	23	9.9%

[6 その他]

【主な回答】

- まだほかにも手段はあると思うから。
- テレビやスマホが使える環境であればいいが、実際の災害時は使えない状況も想定されるため。
- 防災行政無線の内容が聞き取れないため。
- 情報発信媒体やその取得方法がよく分からないため。



8. 自転車の利用環境

調査結果の概要

テーマ	自転車の利用環境
担当課	建設局 サイクルシティ推進部 自転車企画推進課、自転車環境整備課
設問数	15 問
趣旨・目的	<p>本市では、本市が有する自転車の歴史文化を踏まえ、観光や健康、スポーツ等の施策と連携した事業展開や公共交通機関との連携等に取り組むことで、市民が自転車に愛着を持ち、本市を訪れる人にも自転車を活用した都市魅力を感じられる「サイクルシティ堺」を推進しています。</p> <p>調査結果は、堺における自転車との歴史文化の発信強化、自転車利用の利便性向上、広域的な通行環境の整備に向けて活用するものです。</p>
調査結果	各設問のページを御覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	<ul style="list-style-type: none"> ・問 72 では、本市の自転車産業のルーツが百舌鳥古墳群にあることを知っていると回答した方の割合が令和 6 年度から 11.1 ポイント増加しており、認知度が向上していることが分かりました。今後も「サイクルシティ堺」として、自転車の歴史文化を市ホームページや SNS、各種イベント等を通じた情報発信を強化します。 ・問 82 では、自転車を利用すると回答した方のうち、実際に車道を通行する方の割合は約 5 割にとどまっていることが分かりました。また、問 84 では、自転車通行空間の整備を「推進すべきである」と回答した方の割合が、令和 6 年度と同様に約 8 割と高い水準でした。これらの結果を踏まえ、自転車は原則車道通行であり歩道通行は例外であるという観点に基づき、引き続き自転車通行環境の整備を推進します。 ・問 85 では、最寄り駅周辺の駐輪場が充足していないと回答した方が充足していると回答した方より 2.3 ポイント多いことから、駐輪場の需給バランスを踏まえて適切な駐輪場環境を確保します。 ・問 86 では、利用料金等のキャッシュレス化を希望すると回答した方の割合が令和 6 年度に比べて 4.9 ポイント増加していることから、キャッシュレス化を拡大し、利用者サービスの向上を図ります。

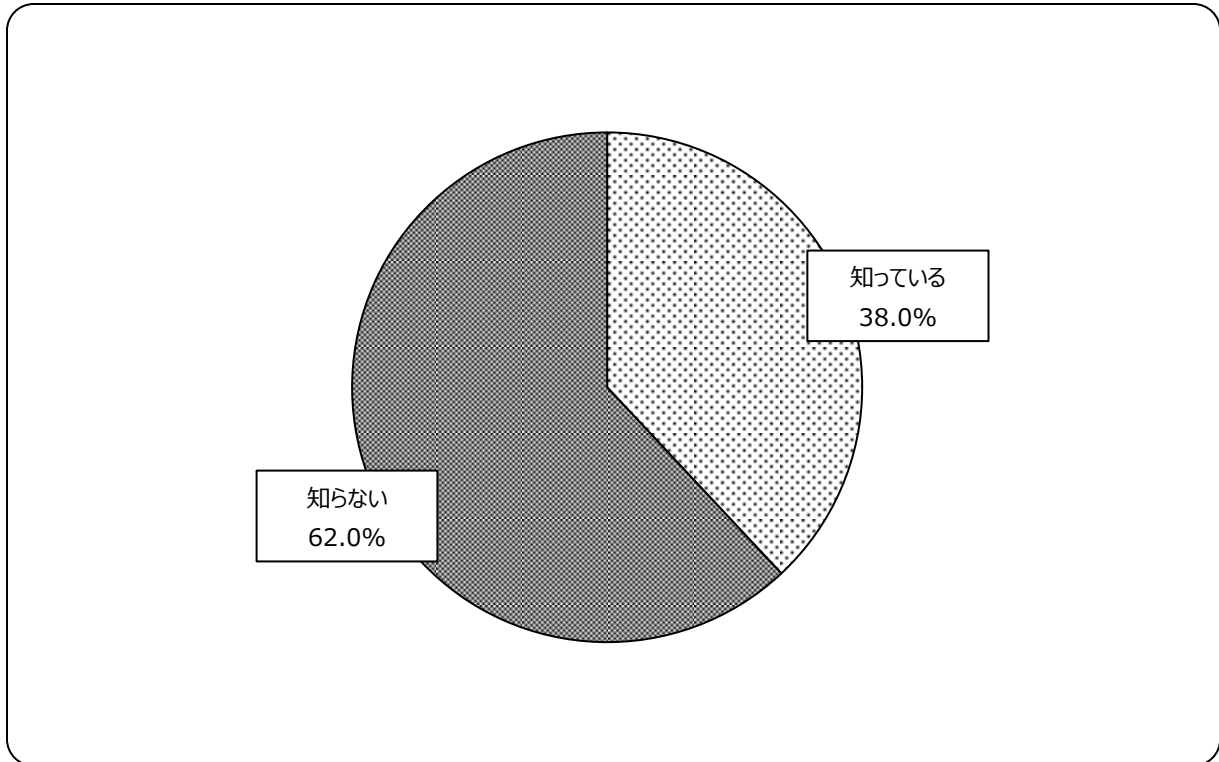
(1) 都市魅力

問72. 本市の自転車産業のルーツは古墳時代[※]にあることを知っていますか。

※百舌鳥古墳群の築造で培われた鉄の加工技術が鉄砲、刃物へと伝わり自転車産業へと受け継がれています。 【1つ選択】

「知っている」と回答した方は38.0%であり、令和6年度から11.1ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	178	38.0%
2	知らない	290	62.0%
	計 (回答総数)	468	100.0%



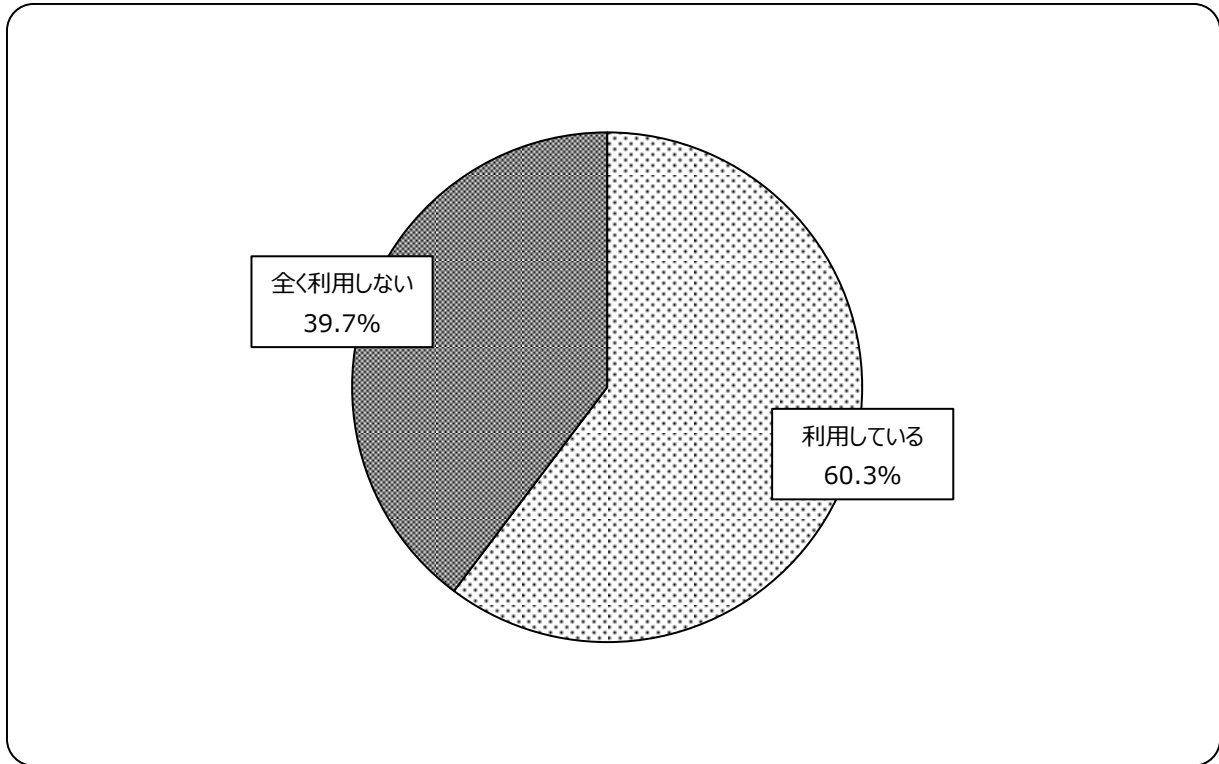
(2) 利用促進

問73. 普段から自転車を利用していますか。

【1つ選択】

「利用している」と回答した方は60.3%を占めた。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	利用している	282	60.3%
2	全く利用しない	186	39.7%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問74. 問73で「1 利用している」と回答された方に伺います。

自転車をどのような目的で利用していますか。

【複数選択可：いくつでも】

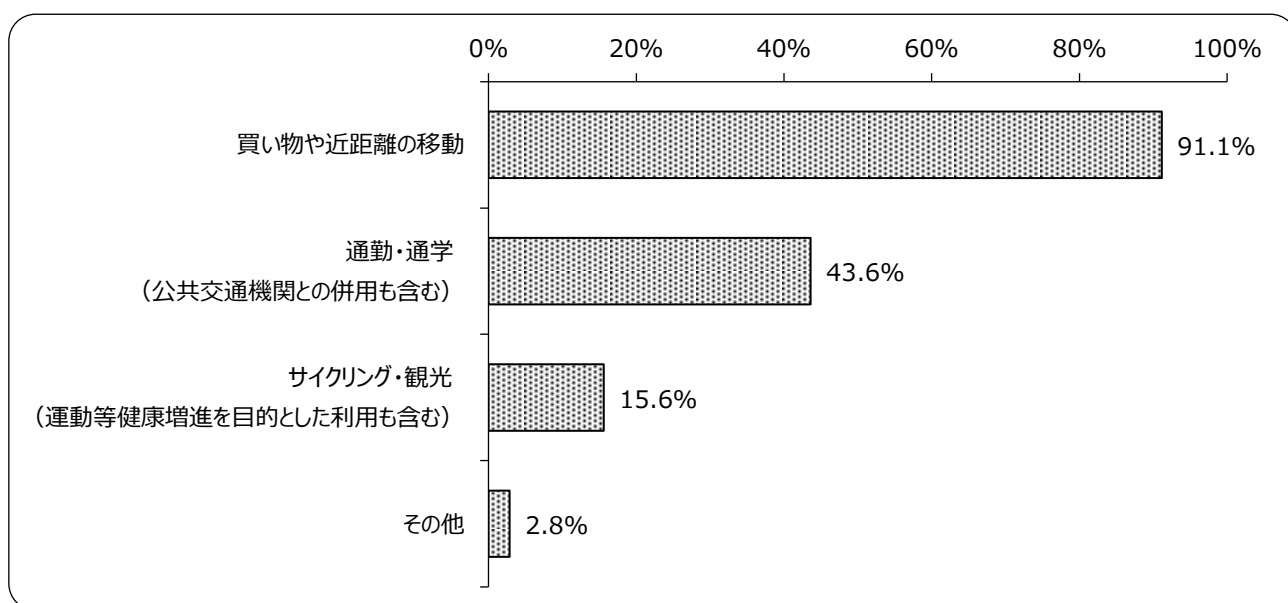
「サイクリング・観光」と回答した方は15.6%であり、令和6年度から2.6ポイント減少した。また「買い物や近距離の移動」と回答した方は91.1%と令和6年度と同様に最も多かった。

	選択項目 (n=282)	回答数	回答数/n
1	買い物や近距離の移動	257	91.1%
2	通勤・通学 (公共交通機関との併用も含む)	123	43.6%
3	サイクリング・観光 (運動等健康増進を目的とした利用も含む)	44	15.6%
4	その他	8	2.8%

[4 その他]

【主な回答】

- こどもの送迎
- 稽古事
- 通院



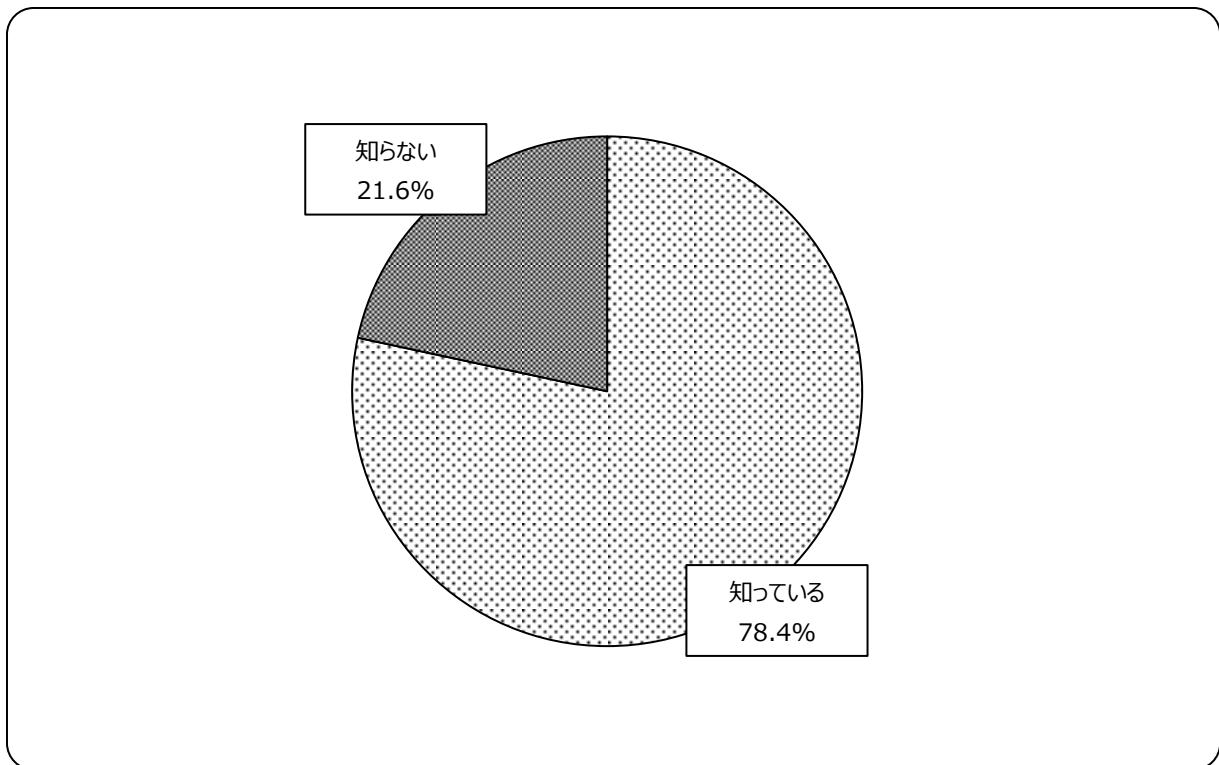
問75. 問73で「1 利用している」と回答された方に伺います。

大阪府内では、自転車利用者に自転車損害賠償保険の加入が義務化されていることを知っていますか。

【1つ選択】

「知っている」と回答した方は78.4%であり、令和6年度から4.8ポイント増加した。

	選択項目 (n=282)	回答数	構成比
1	知っている	221	78.4%
2	知らない	61	21.6%
	計 (回答総数)	282	100.0%



問76. 問73で「2 全く利用しない」と回答された方に伺います。

自転車を利用しない理由は何ですか。

【1つ選択】

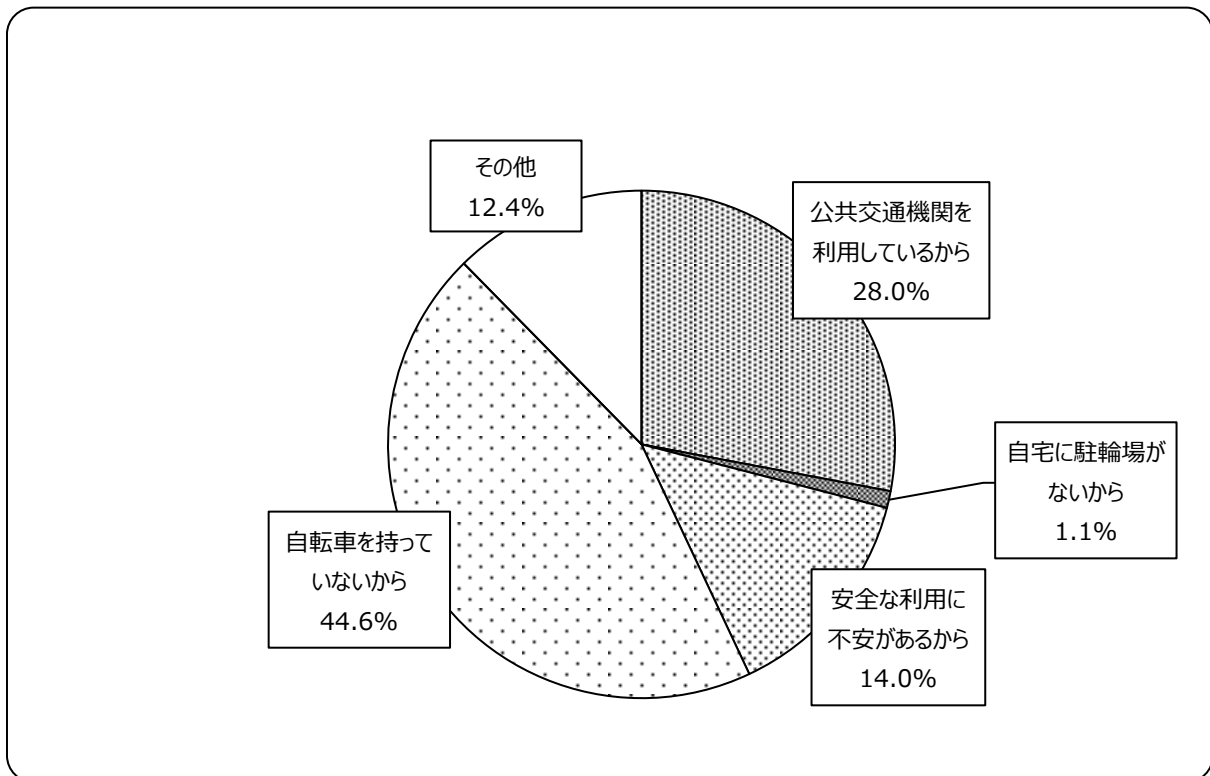
「自転車を持っていないから」と回答した方は44.6%であり、最も多かった。

	選択項目 (n=186)	回答数	構成比
1	公共交通機関を利用しているから	52	28.0%
2	自宅に駐輪場がないから	2	1.1%
3	安全な利用に不安があるから	26	14.0%
4	自転車を持っていないから	83	44.6%
5	その他	23	12.4%
	計 (回答総数)	186	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 車を利用するため。
- 自転車に乗れないため。



問77. 堺市シェアサイクル[※]を利用したことがありますか。

※スマートフォンを活用し、利用者がどここのポート（自転車の貸出・返却拠点）でも貸出・返却できる便利な自転車シェアシステムです。



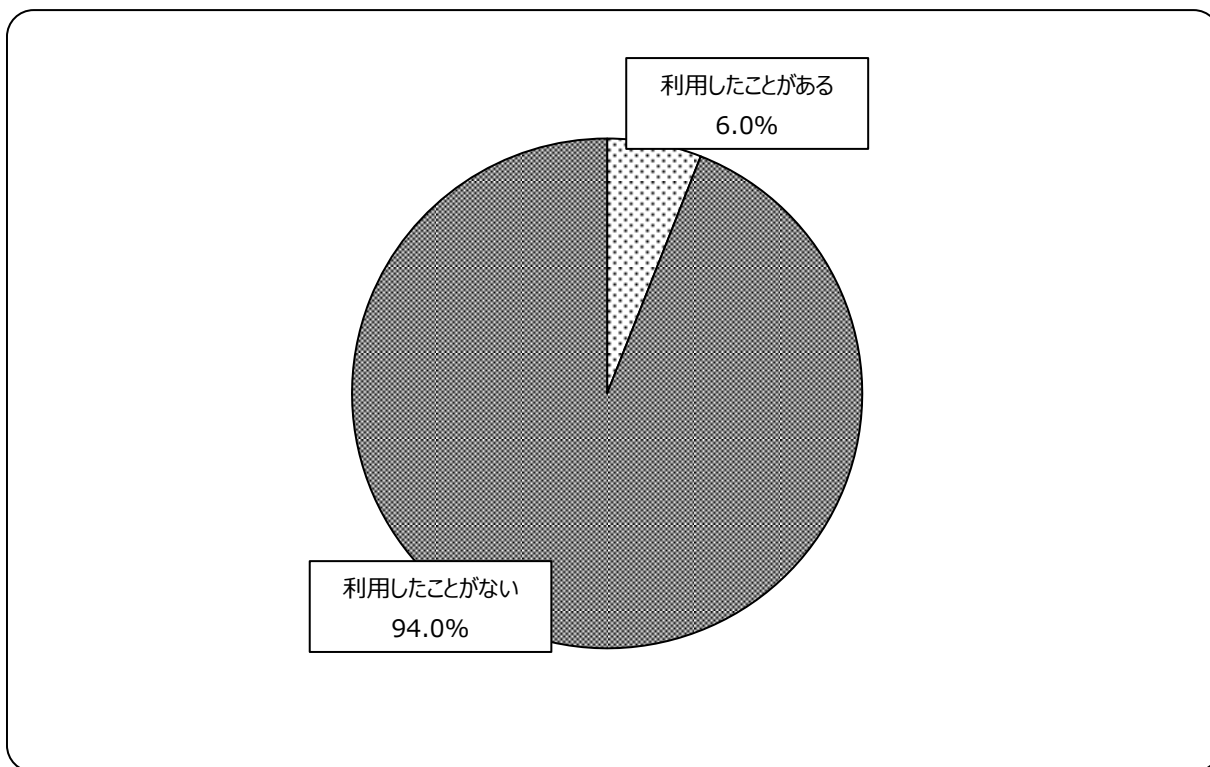
詳しくは、堺市シェアサイクル事業のホームページをご覧ください。

<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/doro/jitensha/80926120210323152408854.html>

【1つ選択】

「利用したことがある」と回答した方は6.0%であり、令和6年度から0.4ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	利用したことがある	28	6.0%
2	利用したことがない	440	94.0%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問78. 問77で「1 利用したことがある」と回答された方に伺います。

シェアサイクルをどのような目的で利用していますか。

【複数選択可：いくつでも】

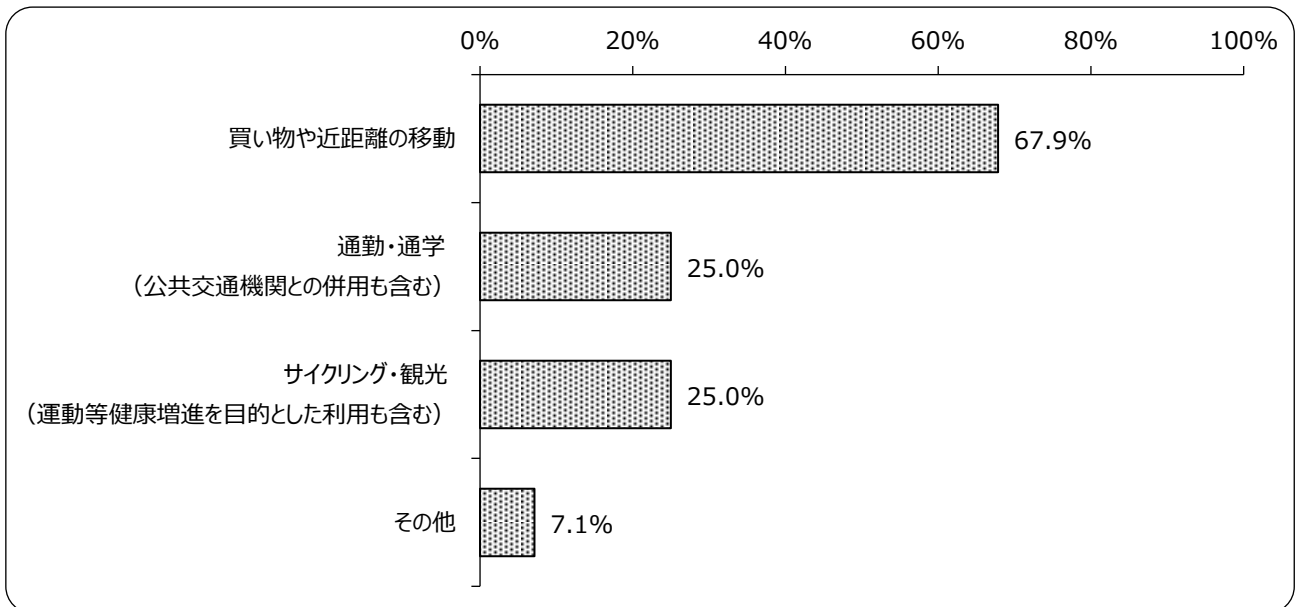
「買い物や近距離の移動」と回答した方は67.9%であり、令和6年度から14.1ポイント増加した。

	選択項目 (n=28)	回答数	回答数/n
1	買い物や近距離の移動	19	67.9%
2	通勤・通学 (公共交通機関との併用も含む)	7	25.0%
3	サイクリング・観光 (運動等健康増進を目的とした利用も含む)	7	25.0%
4	その他	2	7.1%

[4 その他]

【主な回答】

- 電車が事故で止まった際に利用した



問79. 問77で「2 利用したことがない」と回答された方に伺います。

どのようにすればシェアサイクルを利用したいと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

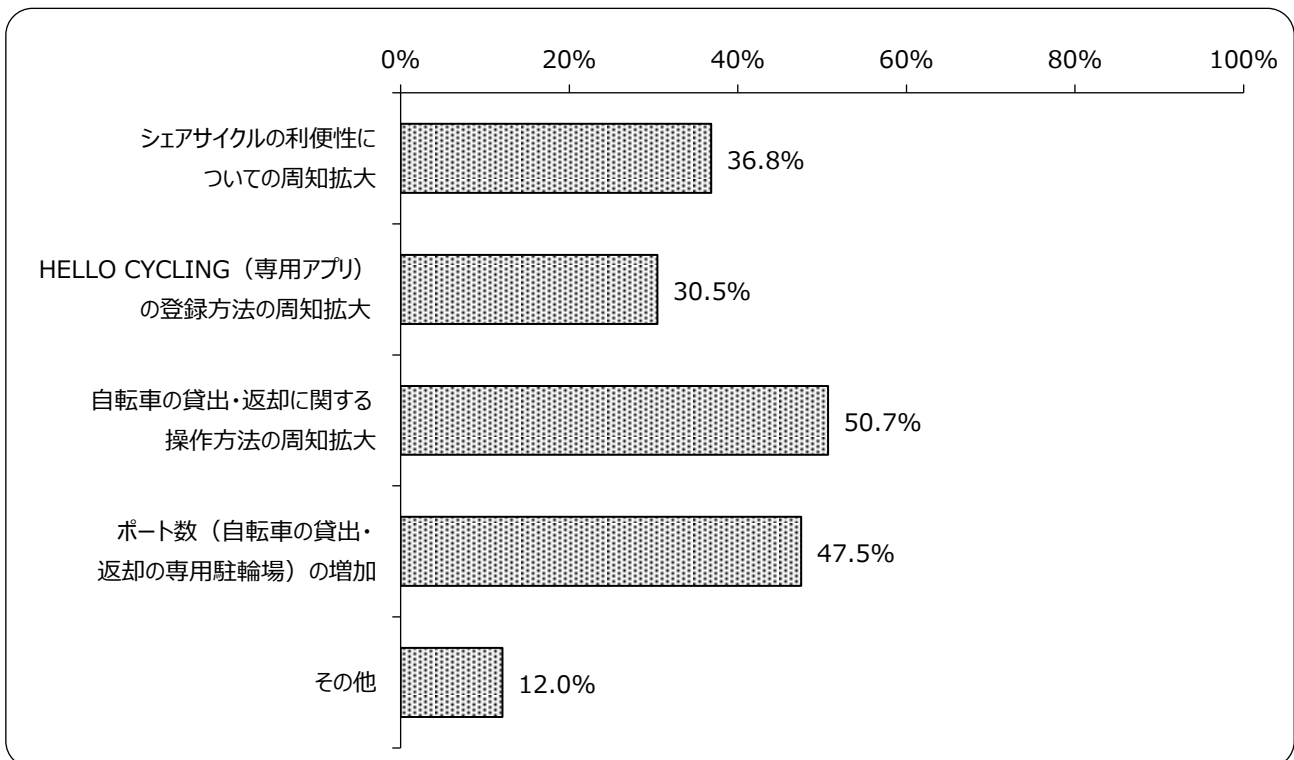
「自転車の貸出・返却に関する操作方法の周知拡大」と回答した方は50.7%であり、令和6年度から6.8ポイント増加した。

	選択項目 (n=440)	回答数	回答数/n
1	シェアサイクルの利便性についての周知拡大	162	36.8%
2	HELLO CYCLING (専用アプリ) の登録方法の周知拡大	134	30.5%
3	自転車の貸出・返却に関する操作方法の周知拡大	223	50.7%
4	ポート数 (自転車の貸出・返却の専用駐輪場) の増加	209	47.5%
5	その他	53	12.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 利用料の低額化
- 簡単に利用できる仕組みの整備
- 子乗せ自転車の用意
- 自宅近くにポートを整備



(3) 安全利用

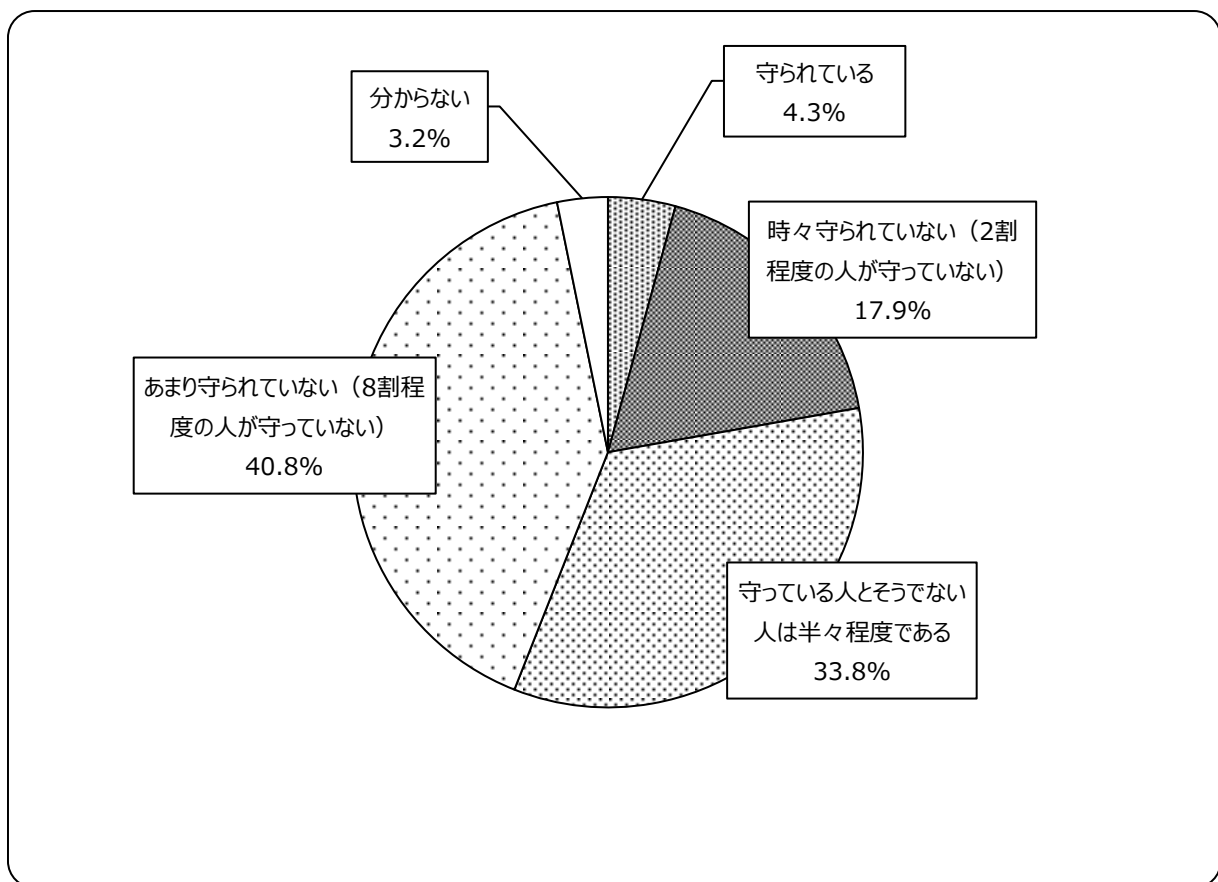
問80. 自転車の交通ルールについて、日常生活の中であなたが見て感じていることを伺います。

自転車乗車中の交通ルールが守られていると思いますか。

【1つ選択】

「守られている」「時々守られていない（2割程度の人が守っていない）」と回答した方の合計は22.2%であり、令和6年度から4.3ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	守られている	20	4.3%
2	時々守られていない（2割程度の人が守っていない）	84	17.9%
3	守っている人とそうでない人は半々程度である	158	33.8%
4	あまり守られていない（8割程度の人が守っていない）	191	40.8%
5	分からない	15	3.2%
	計（回答総数）	468	100.0%



問81. 問80で2から4のいずれかを回答された方に伺います。

自転車乗車中に守られていない交通ルールは具体的にどのようなものですか。 【複数選択可：いくつでも】

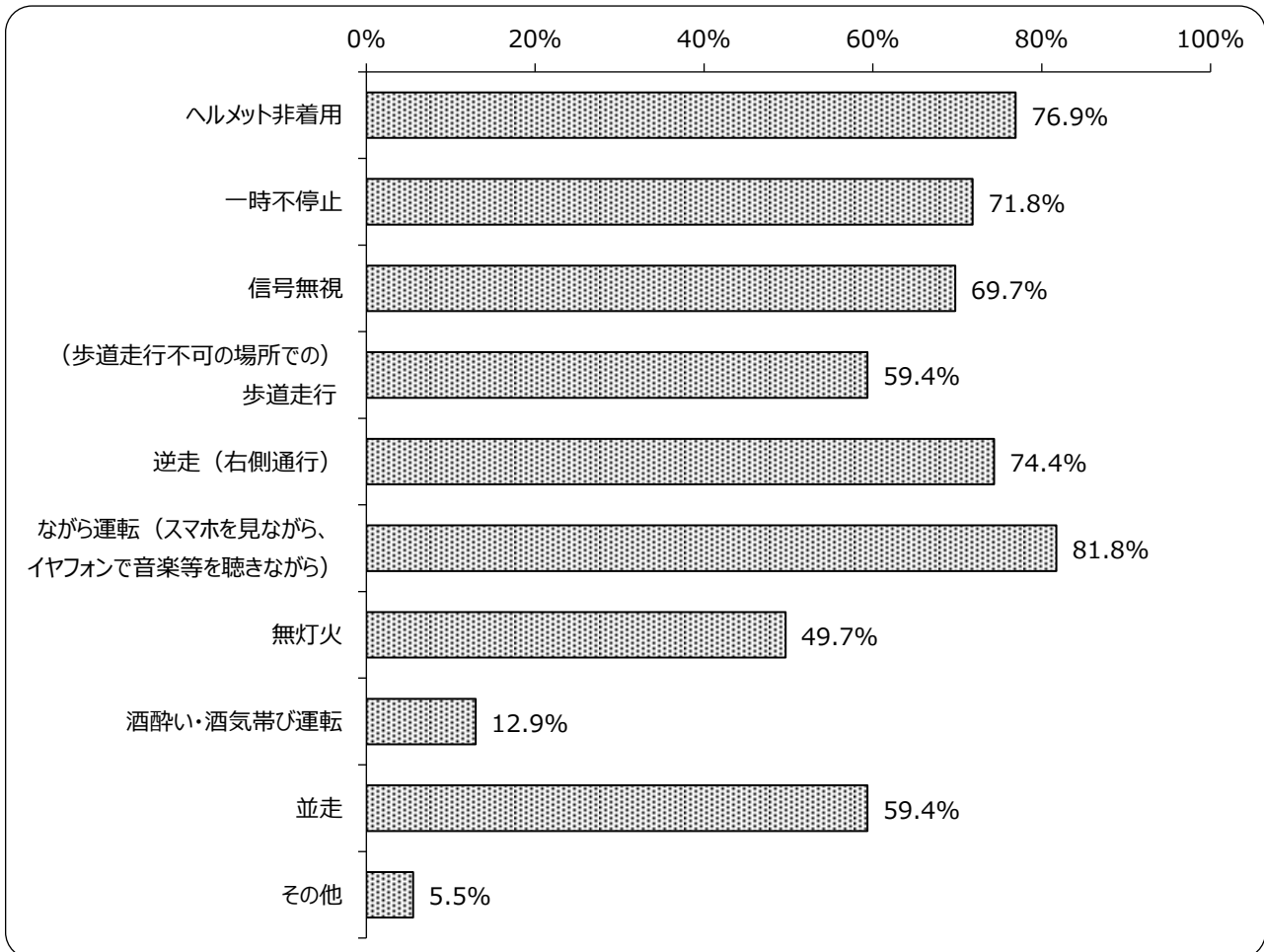
「ながら運転」と回答した方は81.8%で最も多く、令和6年度から0.4ポイント増加した。

	選択項目 (n=433)	回答数	回答数/n
1	ヘルメット非着用	333	76.9%
2	一時不停止	311	71.8%
3	信号無視	302	69.7%
4	(歩道走行不可の場所での) 歩道走行	257	59.4%
5	逆走 (右側通行)	322	74.4%
6	ながら運転 (スマホを見ながら、イヤフォンで音楽等を聴きながら)	354	81.8%
7	無灯火	215	49.7%
8	酒酔い・酒気帯び運転	56	12.9%
9	並走	257	59.4%
10	その他	24	5.5%

[10 その他]

【主な回答】

- 歩道でのスピード超過
- 傘さし運転
- 歩道で歩行者に対してベルを鳴らす



(4) 通行環境

本市では、歩行者及び自転車利用者の安全確保のために、自転車は原則車道通行であり歩道通行は例外であるという観点に基づき、次のような形態で自転車通行空間の整備を進めています。

自転車通行空間の主な整備形態

整備形態	①自転車道	②自転車レーン	③自転車ピクト
		 	
整備内容	植樹帯等の整備により歩行者・自転車・自動車を構造的に分離	車道の両端に自転車の通行位置を示す路面標示（青色の矢羽根型路面標示・带状路面標示等）を設置	歩道のない道路に自転車の通行位置を示すピクトグラム※を設置
自転車の通行ルール	相互通行 又は一方通行	一方通行	左側端を通行

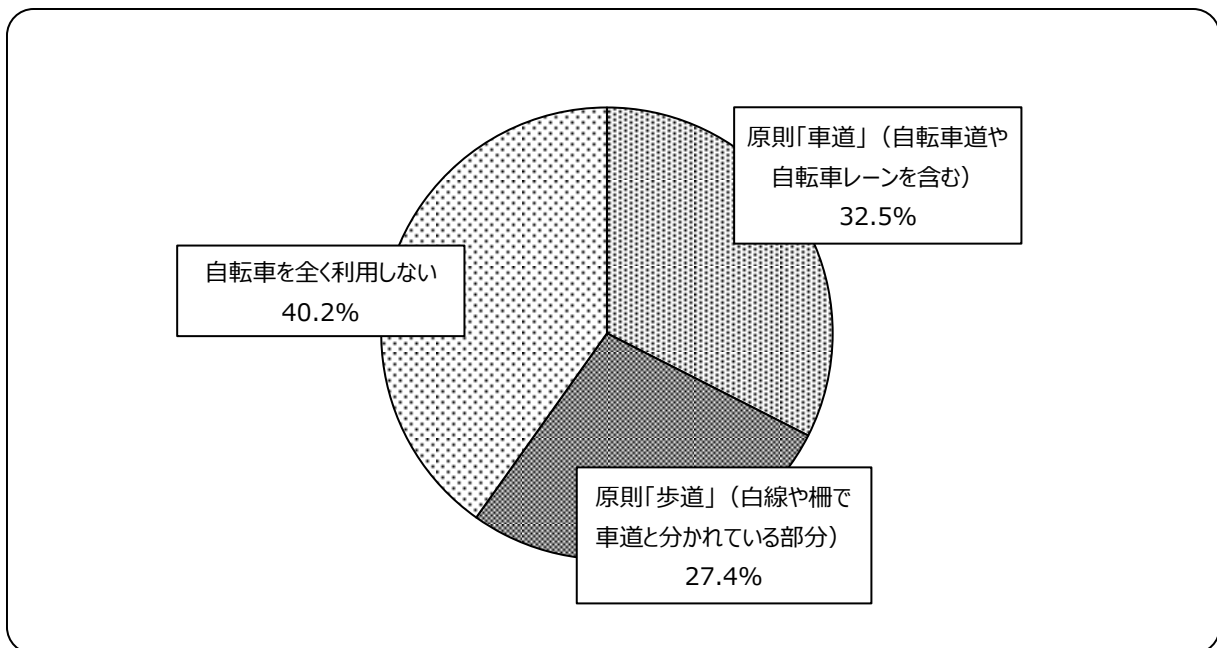
※ピクトグラム：矢印や自転車マーク等の路面標示

問82. 自転車で主にどこを通行していますか。

【1つ選択】

自転車を利用すると回答した方のうち、「原則「車道」と回答した方の割合は5割以上であり、令和6年度と同程度であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	原則「車道」(自転車道や自転車レーンを含む)	152	32.5%
2	原則「歩道」(白線や柵で車道と分かれている部分)	128	27.4%
3	自転車を全く利用しない	188	40.2%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問83. 問82で「1 原則「車道」」「2 原則「歩道」」と回答された方に伺います。

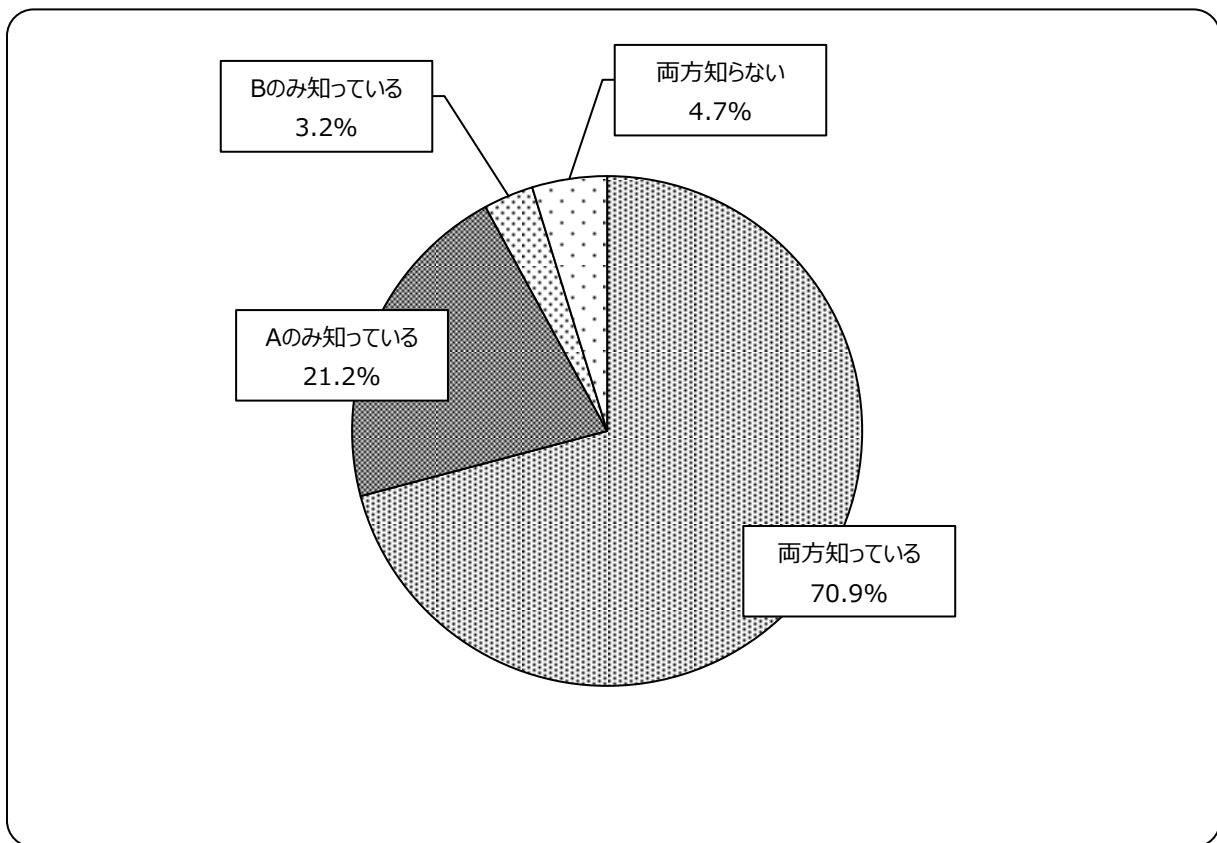
次の2つのルールを知っていますか。

A.自転車は、原則、車道を通行しなければならない。

B.自転車は、例外的に歩道を通行する際は、車道寄りを徐行し、歩行者の通行を妨げることになる場合は、一時停止をしなければならない。 【1つ選択】

原則車道通行であることを知っている（「両方知っている」、「Aのみ知っている」、「Bのみ知っている」）と回答した方は95.3%であり、令和6年度と同程度であった。

	選択項目 (n=316)	回答数	構成比
1	両方知っている	224	70.9%
2	Aのみ知っている	67	21.2%
3	Bのみ知っている	10	3.2%
4	両方知らない	15	4.7%
	計 (回答総数)	316	100.0%

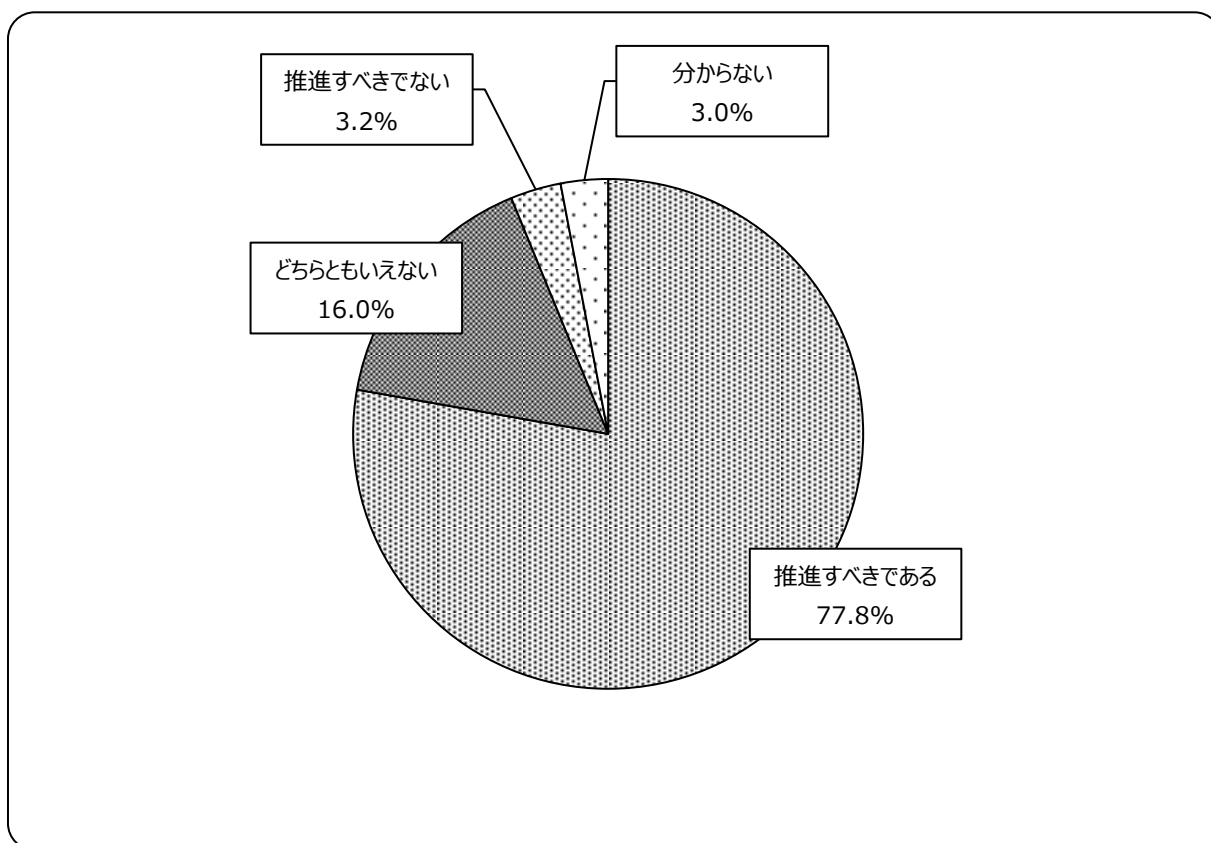


問84. 自転車道や自転車レーン等の自転車通行空間の整備をすることについてどう考えますか。

【1つ選択】

「推進すべきである」と回答した方は77.8%であり、令和6年度と同程度であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	推進すべきである	364	77.8%
2	どちらともいえない	75	16.0%
3	推進すべきでない	15	3.2%
4	分からない	14	3.0%
	計 (回答総数)	468	100.0%



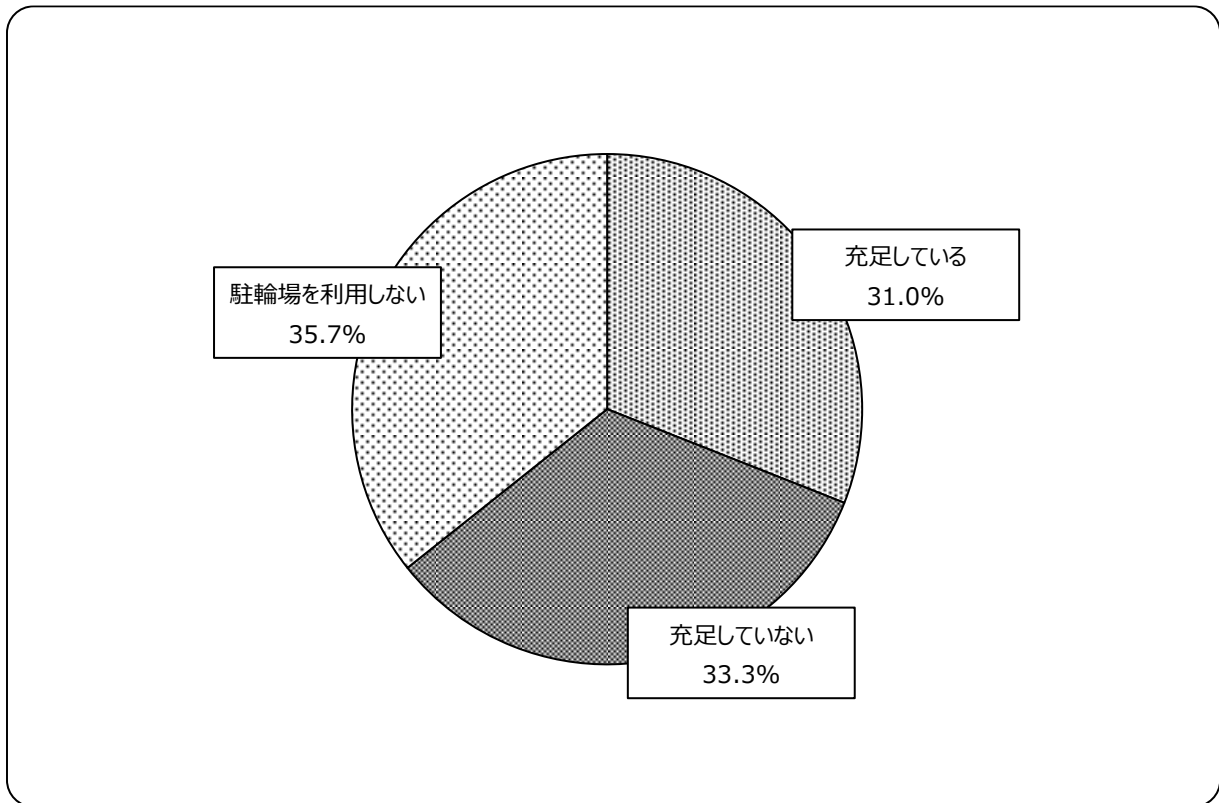
(5) 駐輪環境

問85. 普段利用している市内の最寄り駅周辺の駐輪台数は充足していると感じますか。

【1つ選択】

「充足していない」と回答した方は33.3%であり、令和6年度から1.5ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	充足している	145	31.0%
2	充足していない	156	33.3%
3	駐輪場を利用しない	167	35.7%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問86. 市内の駐輪場で希望するサービスはありますか。

【複数選択可：いくつでも】

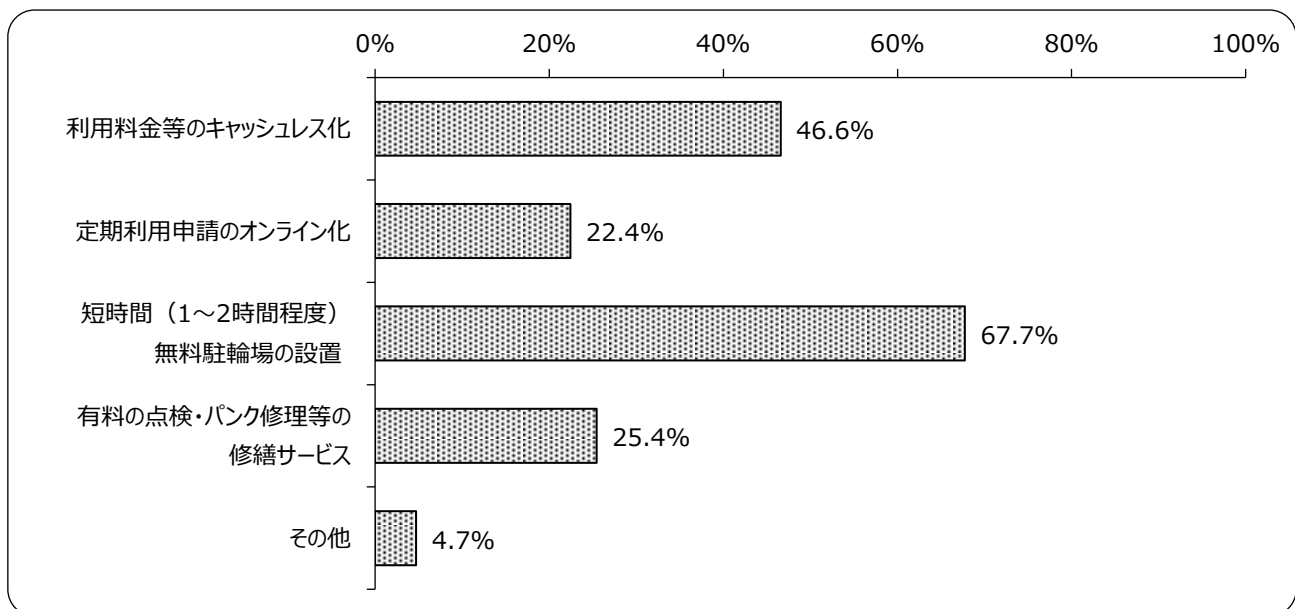
「短時間無料駐輪場の設置」と回答した方が67.7%と最も多く、令和6年度から3.7ポイント減少した。次いで「利用料金等のキャッシュレス化」は46.6%であり、令和6年度から4.9ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	利用料金等のキャッシュレス化	218	46.6%
2	定期利用申請のオンライン化	105	22.4%
3	短時間（1～2時間程度）無料駐輪場の設置	317	67.7%
4	有料の点検・パンク修理等の修繕サービス	119	25.4%
5	その他	22	4.7%

[5 その他]

【主な回答】

- 駐輪場の増設
- 低価格な利用料金
- 自動販売機の設置
- レンタサイクルの拡充



令和 7 年度 第 2 回 市政モニターアンケート報告書

1. 本市の緑と公園
2. 女性相談
3. 里親制度及び広報啓発活動
4. 上下水道局の取組
5. 広聴活動
6. 防災マップ閲覧方法・配架
7. 大阪 880 万人訓練
8. 自転車の利用環境

発行月 令和 8 年 4 月

編集・発行 堺市 政策局 広報戦略部 市政情報課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL 072-228-7475

FAX 072-228-7444

URL <https://www.city.sakai.lg.jp/>

配架資料番号 1 - C3 - 25 - 0225